

第3次総合計画に関する市民アンケート
報告書

令和3年3月

糸魚川市

目 次

1	調査概要	
(1)	調査の設計	1
(2)	調査の項目	1
(3)	回収結果	2
(4)	注意事項	2
(5)	前回調査との比較	2
2	回答者属性	
1	性別	3
2	年齢	3
3	配偶者の有無	3
4	18歳以下の子どもとの同居	3
5	居住地	4
6	職業	5
7	出身地	5
3	調査結果	
1	糸魚川市のイメージ	7
2	糸魚川市の住みやすさ	8
3	糸魚川市に住み続けたいか否か	9
4	ジオパークについての認知の程度	10
5	住宅地整備についての考え	11
6	特に推進してほしい施策	12
7	分野別の現状満足度・今後の重要度	13
8	移住・定住者を増やすための施策	25
9	行政サービスと市民の負担のあり方	26
11	行政と市民の役割分担についての考え方	27
4	平均スコア	
1	全項目比較	29
2	分野別満足度・重要度	33
3	分野別満足度 前回調査との比較	34
4	分野別重要度 前回調査との比較	35
5	項目別平均スコア	36
6	ニーズ度による分析	54

分析1 重要度と満足度の相関図による分析

1 子育て支援・教育分野	57
2 健康福祉分野.....	58
3 産業分野	59
4 土地利用・公共インフラ分野.....	60
5 環境・防災・防犯分野	61
6 地域づくり・市民活動・移住定住分野.....	62
7 行財政分野	63

分析2 子育て世代における施策の満足度・重要度

1 健康福祉分野.....	65
2 教育分野	66
3 生活基盤分野.....	67
4 産業分野	68
5 生活環境分野.....	69
6 地域づくり・自治分野	70

分析3 子育て世代におけるニーズ度の分析.....71

分析4 年代別ニーズ度の分析.....73

分析5 テキストマイニングによる自由意見の分析

行政サービスの効率化に向けた意見や評価について	79
人口減少社会での取組について.....	81
これからのまちづくりについて.....	84

参考 糸魚川市のイメージに関するクロス集計.....88

1 調査概要

(1) 調査の設計

- ① 調査地域：糸魚川市全域
- ② 調査対象：糸魚川市在住の18歳以上の男女
- ③ 抽出方法：令和2年10月1日現在の住民基本台帳から地域ごとに年齢階層別、男女別の抽出率が等しくなるよう無作為に抽出した（地域ごとの抽出数は人口比で案分した。）。
- ④ 調査方法：調査票の配付・回収とも郵送による自記式アンケート
- ⑤ 調査期間：令和2年10月12日(月)～10月30日(金)

(2) 調査の項目

①回答者の属性

- ・性別
- ・年齢（令和2年10月1日現在）
- ・配偶者の有無
- ・18歳以下の子どもとの同居
- ・居住地
- ・職業
- ・出身地

②設問分野

- 問1 糸魚川市のイメージ
- 問2 糸魚川市の住みやすさ
- 問3 糸魚川市に住み続けたいか否か
- 問4 ジオパークについての認知の程度
- 問5 住宅地整備についての考え
- 問6 特に推進してほしい施策
- 問7 分野別の現状満足度・今後の重要度
 - 健康福祉分野
 - 教育分野
 - 生活基盤分野
 - 産業分野
 - 生活環境分野
 - 地域づくり・自治分野
- 問8 移住・定住者を増やすための施策
- 問9 行政サービスと市民の負担のあり方
- 問10 行政サービス効率化に向けた意見・評価（自由記述）
- 問11 行政と市民の役割分担についての考え方
- 問12 人口減少に対する施策（自由記述）
- 問13 まちづくりについての意見・提案（自由記述）

※なお、自由記述については未掲載

(3) 回収結果

発送数	3,000 件
回収数	1,366 件
回収率	45.5 %

(4) 注意事項

①調査結果の数値は、原則として「%」で表した。%値の分母は原則として、その質問に対する回答者数であり、図表では、「n」と表示している。図表に「n」の表示がない場合は、複数回答にて回答者数と総計が一致しないものである。

②本報告書では、マイナス値についての標記に「-」を用いている。

③%値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも100%ではない場合(99.9%または100.1%など)がある。また、「0.0」は±0.05未満の数値を示している。

また、複数項目においては分母を全体値とし、平均スコアにおいて未回答は計算に含めず分母からも除外した。

④図の一部において、構成比の少ない項目はその値を省略している場合がある。

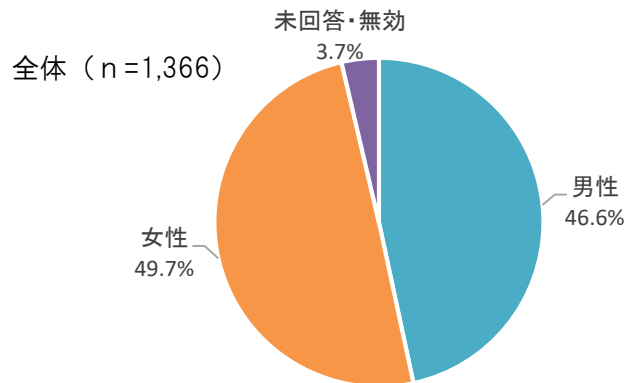
(5) 前回調査との比較

①調査地域	糸魚川市全域
②調査対象	糸魚川市在住の15歳以上の男女(平成27年4月1日現在)
③発送数	3,000人
④調査方法	今回同様
⑤調査期間	平成27年9月10日(木)～9月30日(水)
⑥有効回答数	1,412件
⑦有効回答率	47.1%

2 回答者属性

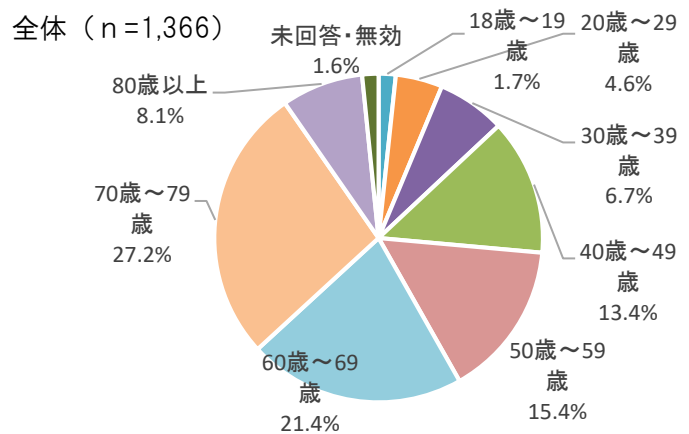
1 性別

		度数	%
1	男性	637	46.6%
2	女性	679	49.7%
3	未回答・無効	50	3.7%
合計		1366	100%



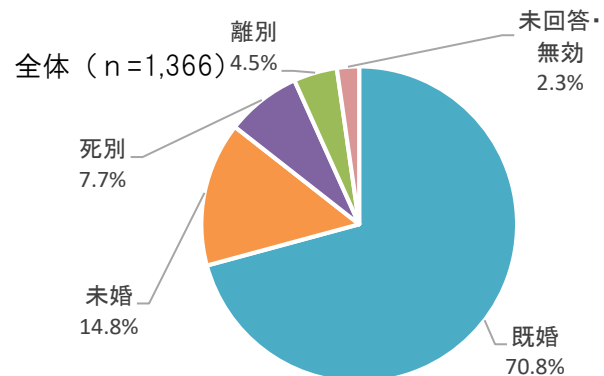
2 年齢

		度数	%
1	18歳～19歳	23	1.7%
2	20歳～29歳	63	4.6%
3	30歳～39歳	92	6.7%
4	40歳～49歳	183	13.4%
5	50歳～59歳	210	15.4%
6	60歳～69歳	292	21.4%
7	70歳～79歳	371	27.2%
8	80歳以上	110	8.1%
9	未回答・無効	22	1.6%
合計		1366	100%



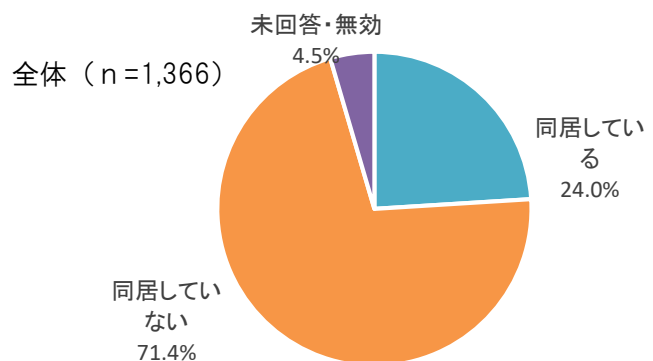
3 配偶者の有無

		度数	%
1	既婚	967	70.8%
2	未婚	202	14.8%
3	死別	105	7.7%
4	離別	61	4.5%
5	未回答・無効	31	2.3%
合計		1366	100%



4 18歳以下の子どもとの同居

		度数	%
1	同居している	328	24.0%
2	同居していない	976	71.4%
3	未回答・無効	62	4.5%
合計		1366	100%

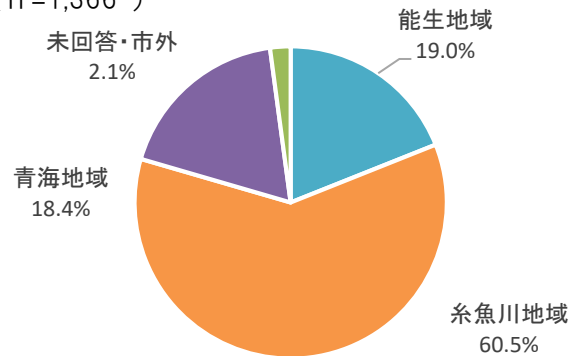


5 居住地

全体

	度数	%
1 能生地域	259	19.0%
2 糸魚川地域	827	60.5%
3 青海地域	251	18.4%
4 未回答・市外	29	2.1%
合計	1366	100%

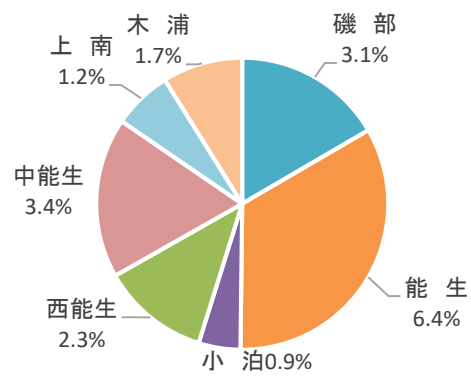
全体 (n=1,366)



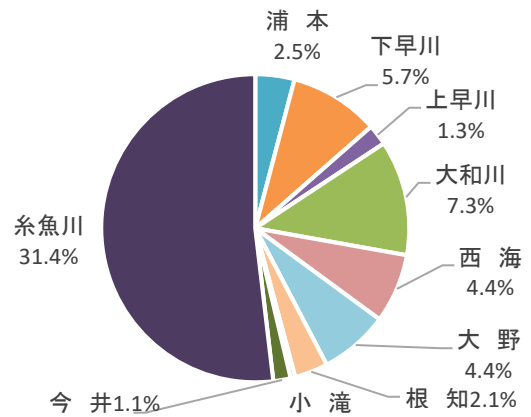
地域別

	度数	%
能生地域	259	19.0%
1 磯部	43	3.1%
2 能生	87	6.4%
3 小泊	12	0.9%
4 西能生	31	2.3%
5 中能生	46	3.4%
6 上南	17	1.2%
7 木浦	23	1.7%
糸魚川地域	827	60.5%
1 浦本	34	2.5%
2 下早川	78	5.7%
3 上早川	18	1.3%
4 大和川	100	7.3%
5 西海	60	4.4%
6 大野	60	4.4%
7 根知	29	2.1%
8 小滝	4	0.3%
9 今井	15	1.1%
10 糸魚川	429	31.4%
青海地域	251	18.4%
1 田沢	152	11.1%
2 青海	72	5.3%
3 歌外波	11	0.8%
4 市振	16	1.2%
不明	29	2.1%
合計	1366	100%

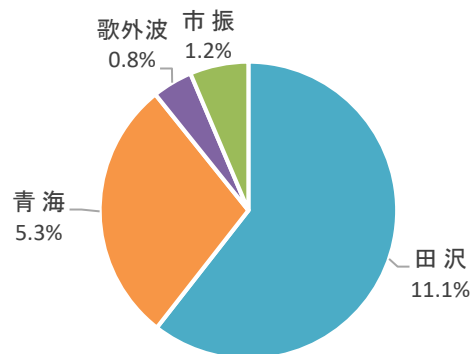
能生地域
<n=259>



糸魚川地域
<n=827>



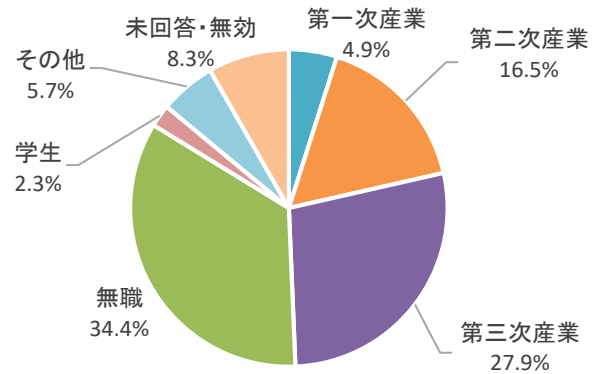
青海地域
<n=251>



6 職業

		度数	%
1	第一次産業	67	4.9%
2	第二次産業	226	16.5%
3	第三次産業	381	27.9%
4	無職	470	34.4%
5	学生	31	2.3%
6	その他	78	5.7%
7	未回答・無効	113	8.3%
合計		1366	100%

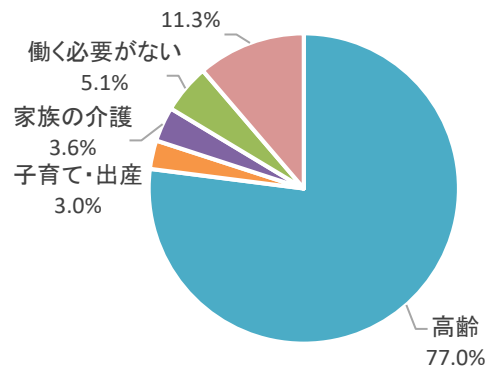
< n=1,366 >



「4 無職」内訳

		度数	%
(1)	高齢	362	26.5%
(2)	子育て・出産	14	1.0%
(3)	家族の介護	17	1.2%
(4)	働く必要がない	24	1.8%
(5)	その他	53	3.9%
合計		470	34%

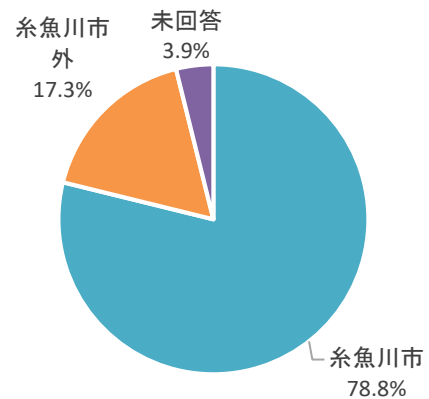
< n=470 >



7 出身地

		度数	%
1	糸魚川市	1077	78.8%
2	糸魚川市外	236	17.3%
3	未回答	53	3.9%
合計		1366	100%

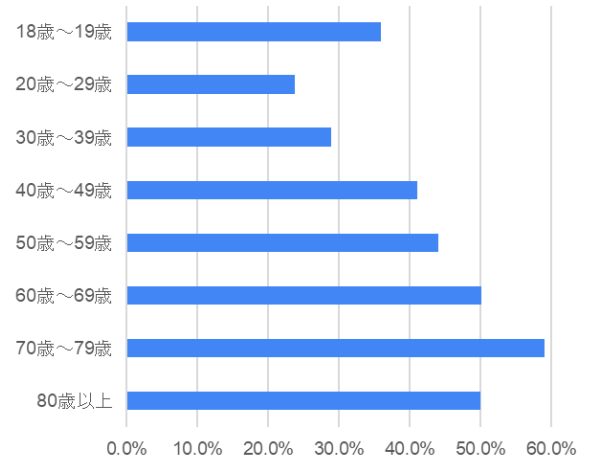
< n=1,366 >



参考

年齢別回答率

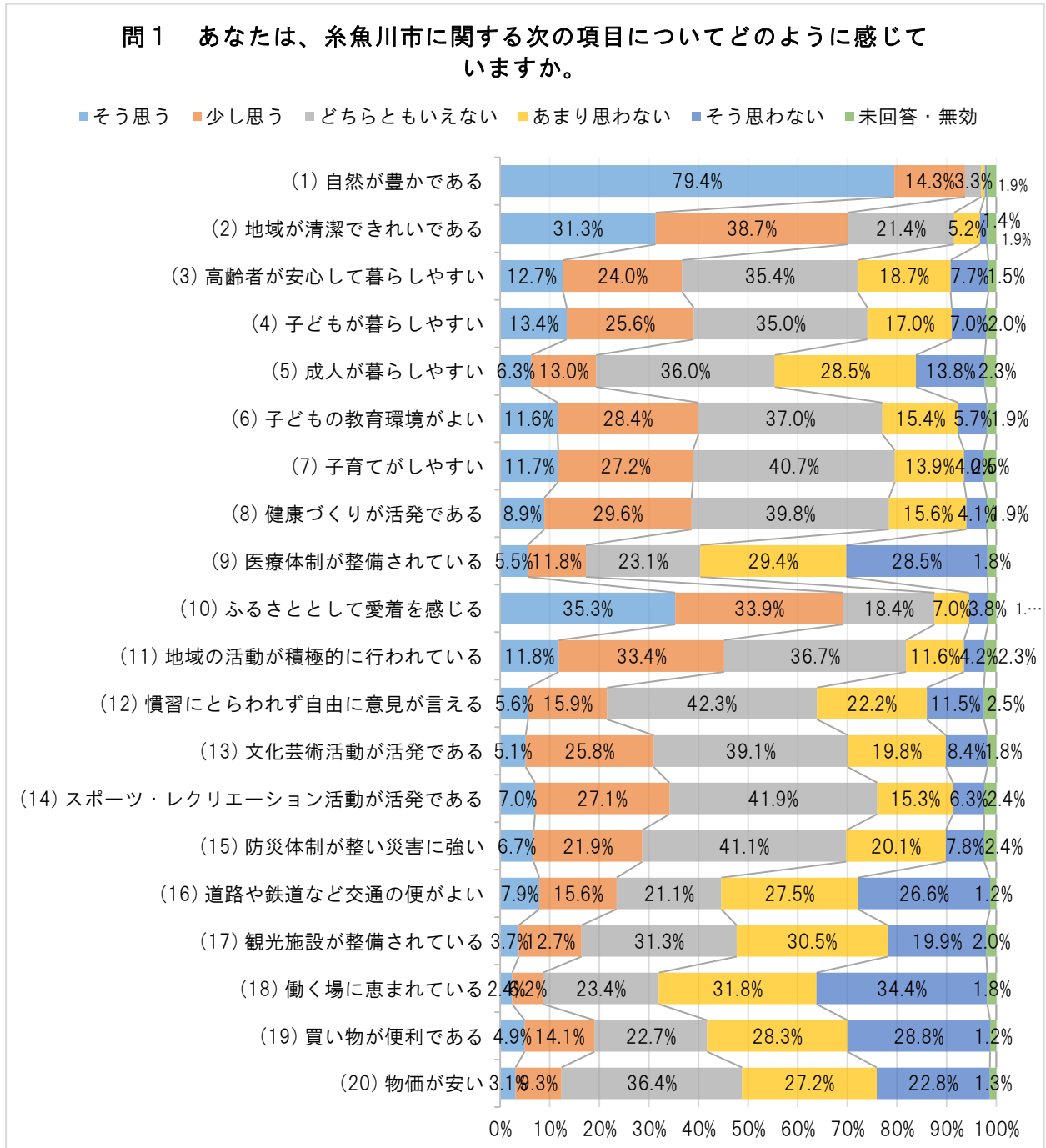
		発送数	回答数	回答率
1	18歳～19歳	64	23	35.9%
2	20歳～29歳	265	63	23.8%
3	30歳～39歳	318	92	28.9%
4	40歳～49歳	446	183	41.0%
5	50歳～59歳	477	210	44.0%
6	60歳～69歳	582	292	50.2%
7	70歳～79歳	628	371	59.1%
8	80歳以上	220	110	50.0%
9	未回答・無効		22	
合計		3000	1366	45.5%



3 調査結果

◆調査結果

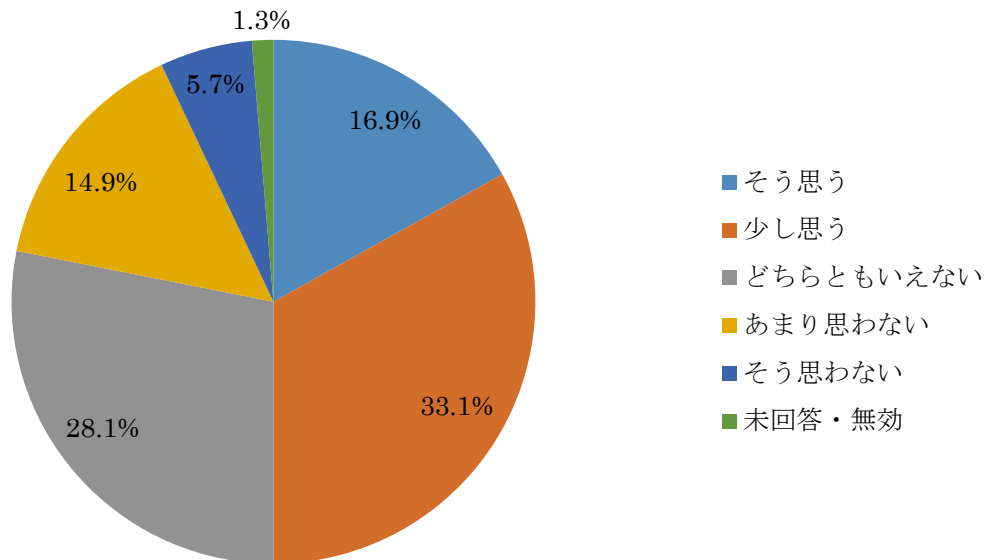
1 糸魚川市のイメージ



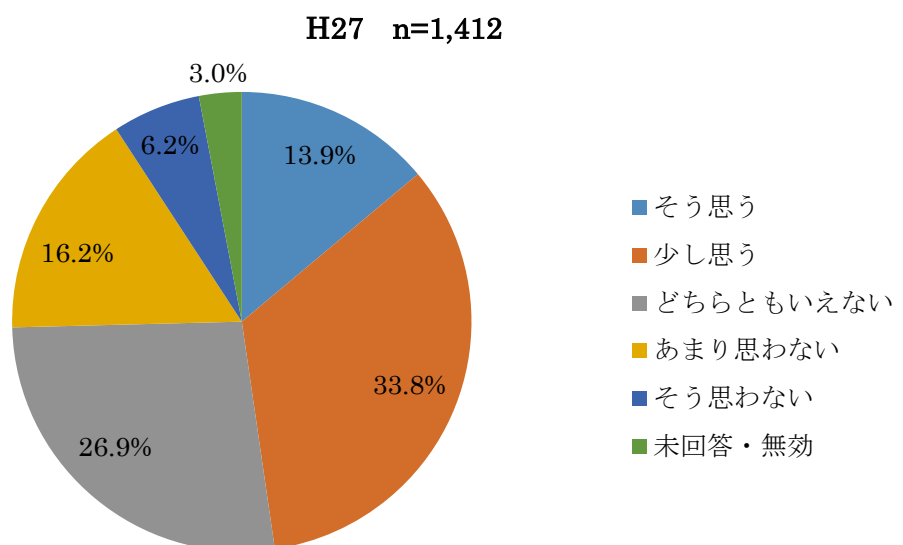
- 「(1)自然が豊かである」、「(10)ふるさととして愛着を感じる」、「(2)地域が清潔できれいである」について「そう思う」、「少し思う」と回答した人の割合が高かった。
- 「(18)働く場に恵まれている」、「(9)医療体制が整備されている」、「(19)買い物が便利である」、「(20)物価が安い」について「そう思わない」、「あまり思わない」と回答した人の割合が5割を超え、高くなっている。
- それ以外の項目については、「そう思う」と「少し思う」と回答した人と、「あまり思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が、それぞれ30%ほどであった。

2 糸魚川市の住みやすさ

問2 糸魚川市は住みやすいまちだと思いますか。

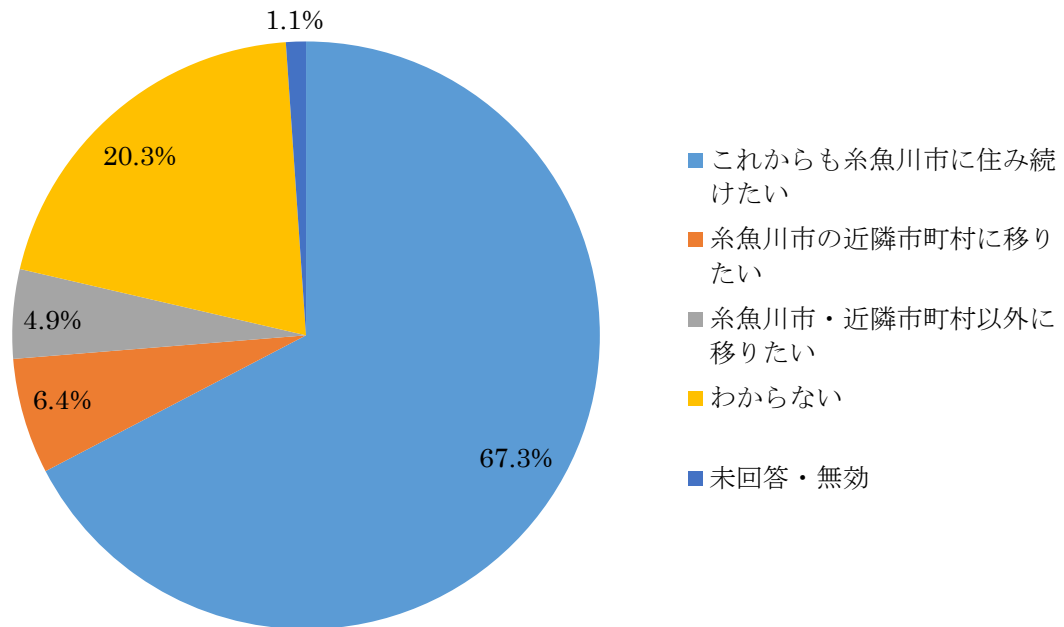


- 「そう思う」と「少し思う」と回答した人を合わせて、約 50%の人が住みやすいと回答した。
- 「そう思わない」と「あまり思わない」と回答した人は、合わせて約 20%であった。

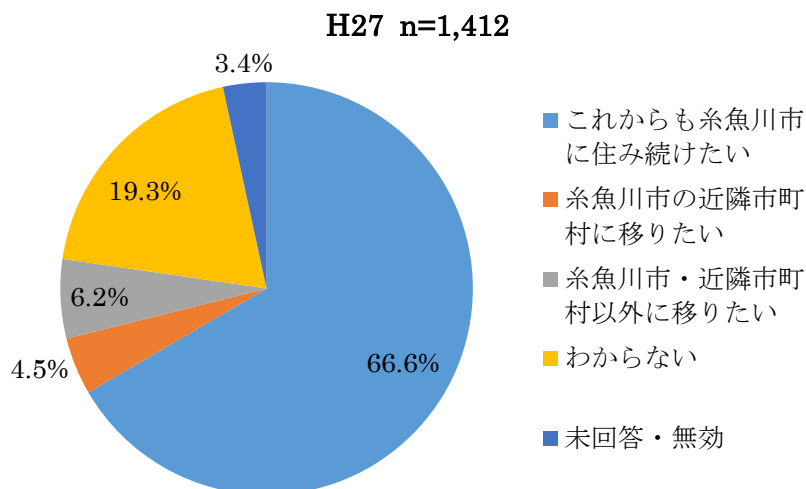


3 糸魚川市に住み続けたいか否か

問3 これからも糸魚川市に住み続けたいと思いますか。

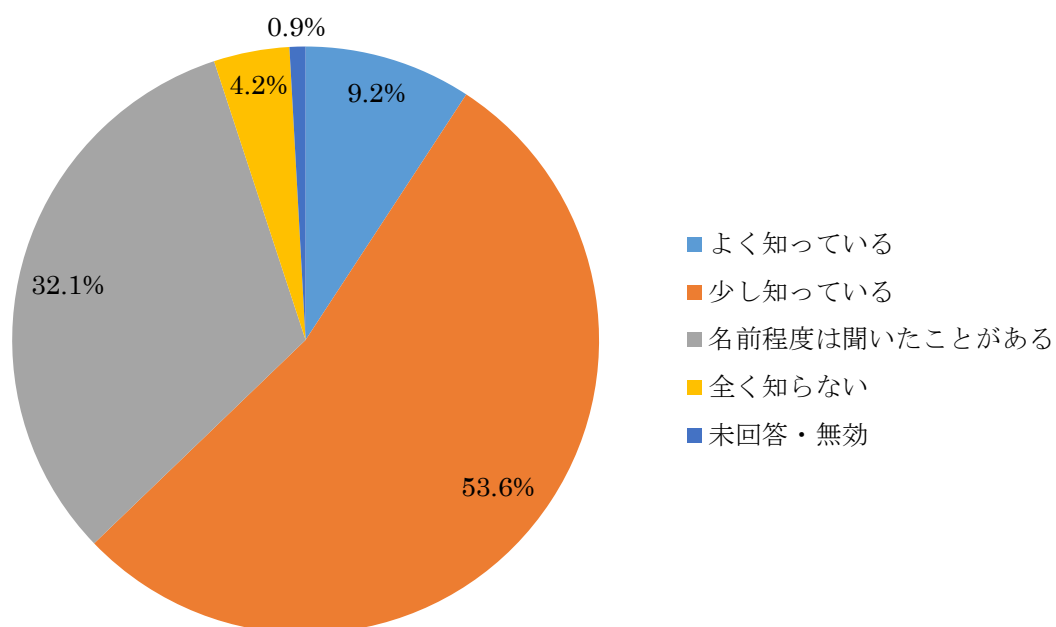


- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と回答した人の割合は約 67%であった。
- 「近隣市町村に移りたい」、「近隣市町村以外に移りたい」と回答した人の割合は、合わせて約 11%であった。
- 「わからない」と回答した人の割合が約 20%となっており、住み続けるか移住するかが明確になっていない人も一定の割合でいた。

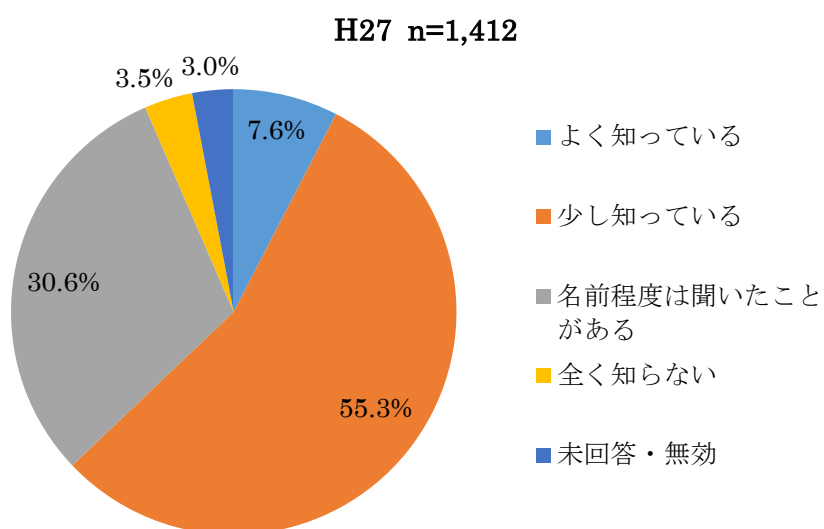


4 ジオパークについての認知の程度

問4 ジオパークについて、どの程度知っていますか。

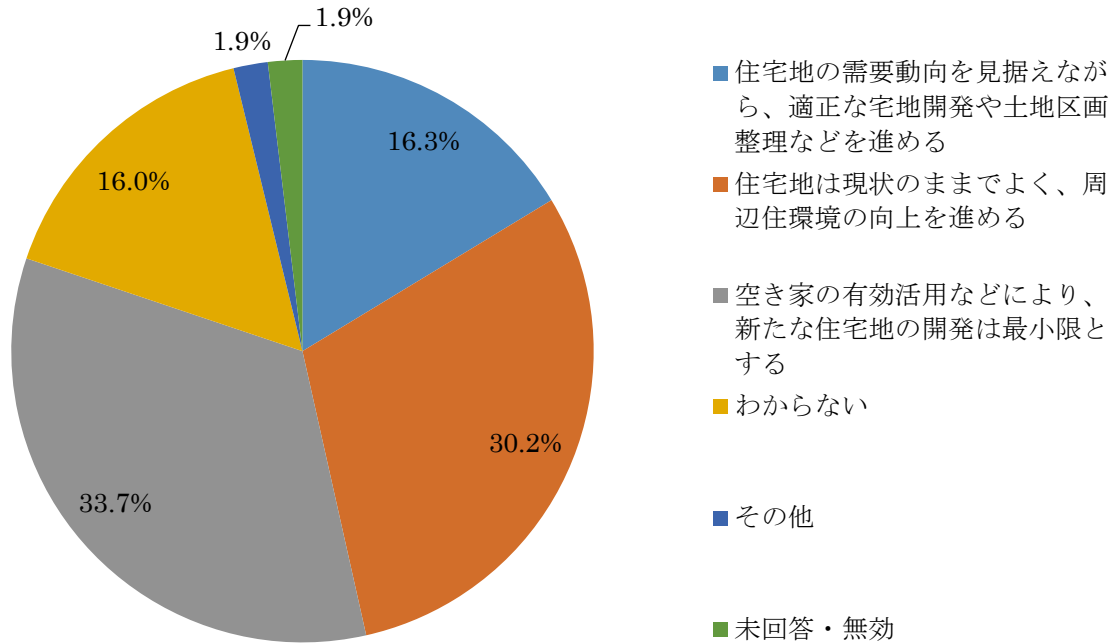


- 「よく知っている」、「少し知っている」と回答した人の割合は、合わせて約 63%であった。
- 「名前程度は聞いたことがある」、「全く知らない」と回答した人の割合は、合わせて 36%であった。



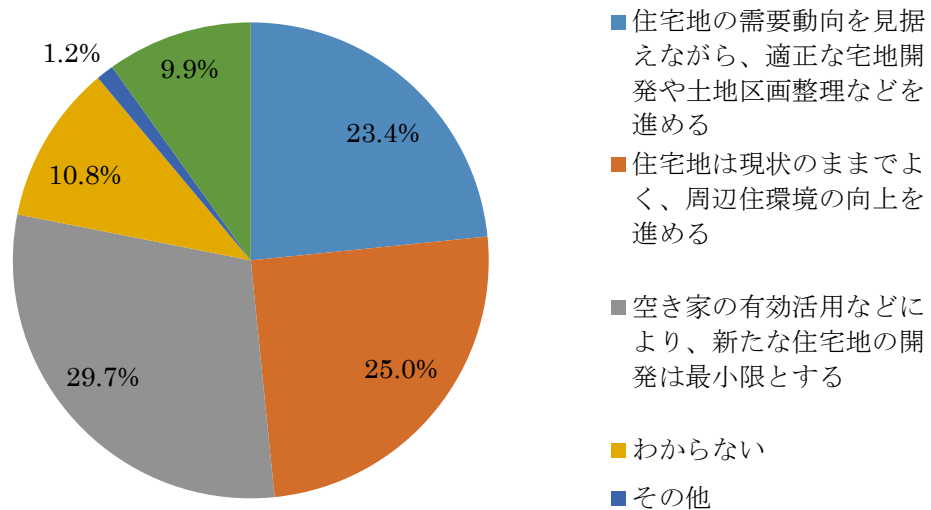
5 住宅地整備についての考え

問5 これからの住宅地整備についてどう思いますか。



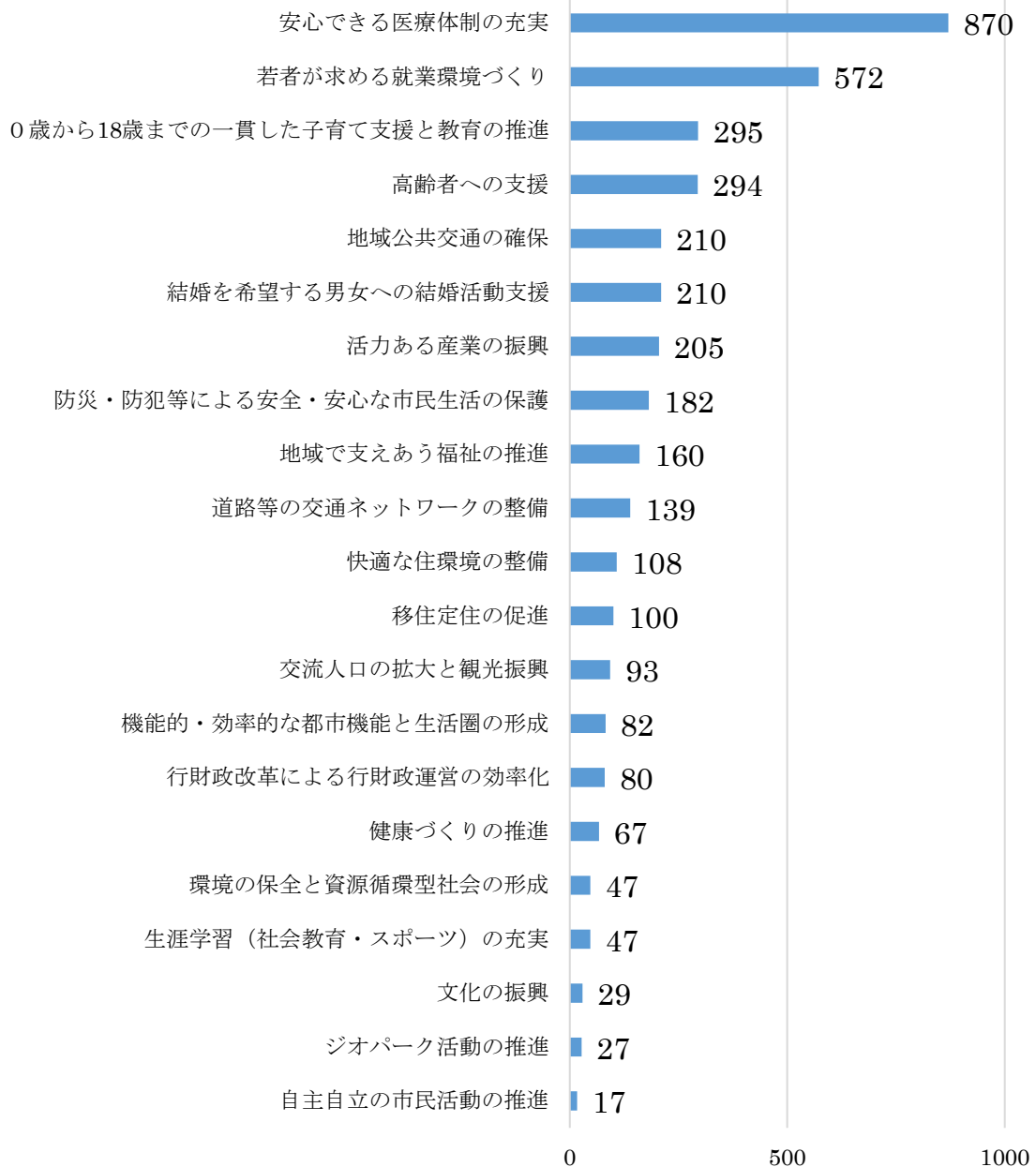
- 「適正な宅地開発や土地区画整理を進める」と回答した人の割合は、約 16%であった。
- 「住宅地は現状のままでよく、周辺住環境の向上を進める」と回答した人の割合は、約 30%であった。
- 「空き家の有効活用などにより、新たな住宅地の開発は最小限とする」と回答した人の割合は、約 34%であった。

H27 n=1,412



6 特に推進してほしい施策

問6 市に特に推進してほしいと思う取組は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

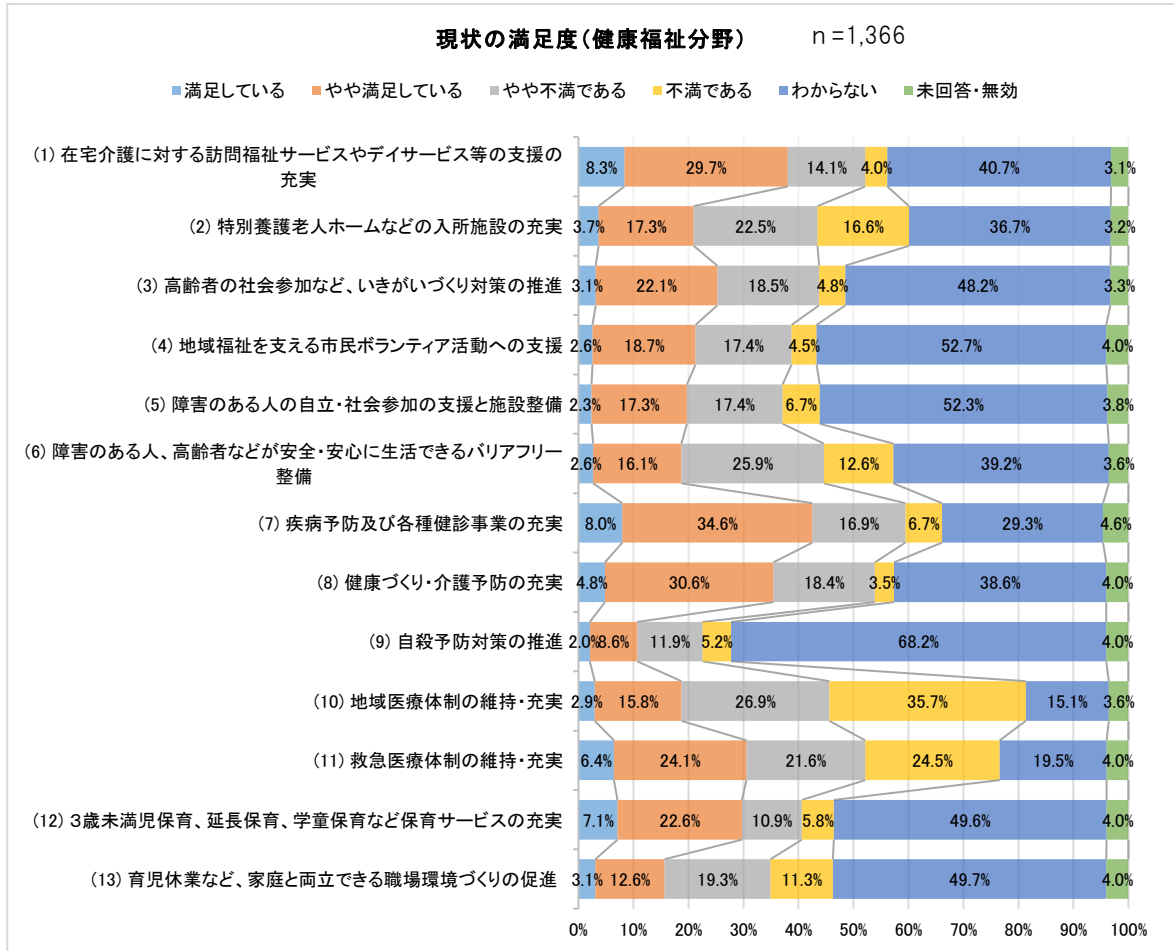


- 回答が多い順に整理した。
- 回答者数 1,366 人のうち、「安心できる医療体制の充実」が最も多く 870 人が特に推進してほしいと回答した。次いで、「若者が求める就業環境づくり」が 572 人、「0歳から18歳までの一貫した子育て支援と教育の推進」が 295 人、「高齢者への支援」が 294 人であった。

7 分野別の現状満足度・今後の重要度

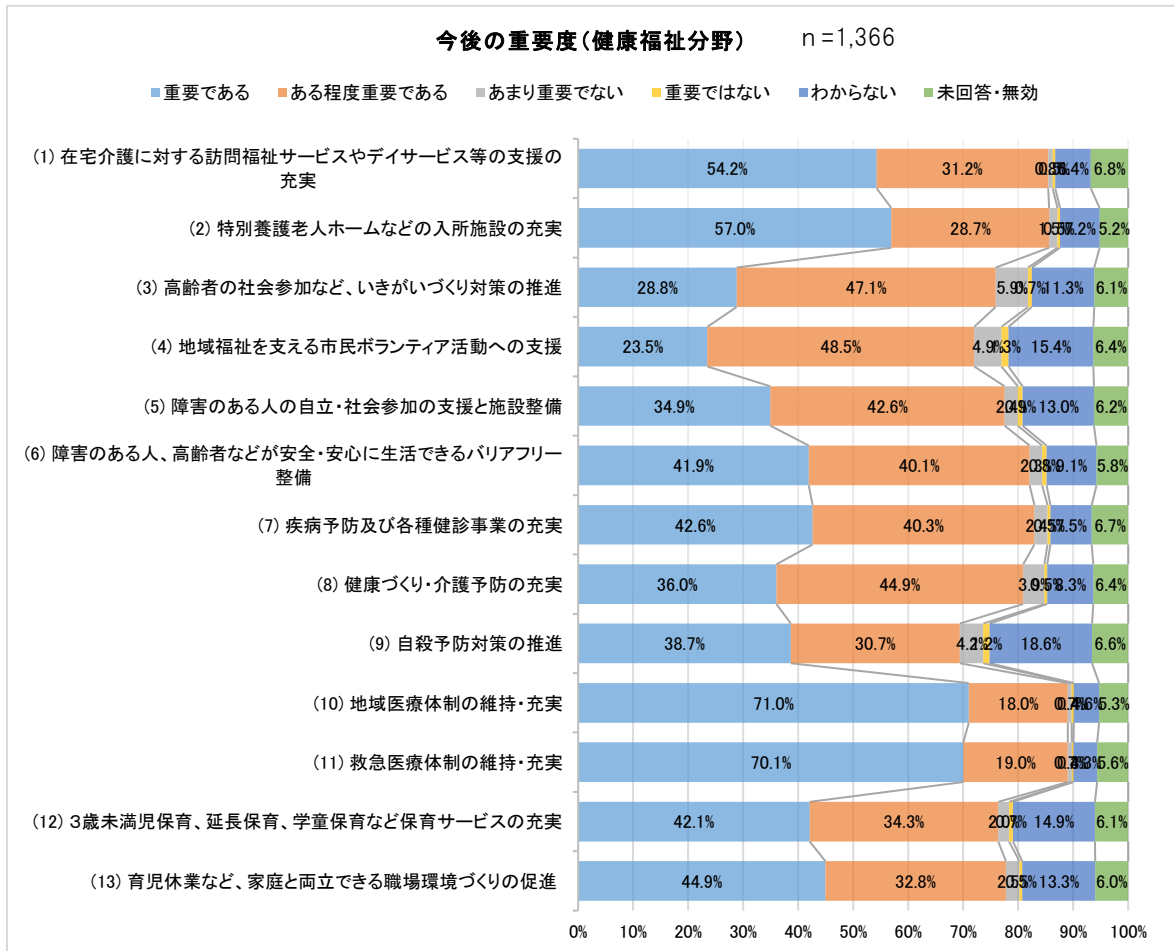
(1) 健康福祉分野

①現状の満足度



- 多くの項目で「わからない」の割合が高かった。
- 『(7)疾病予防及び各種健診事業の充実』は、「満足している」、「やや満足している」が合わせて40%を超え、満足している人の割合が高かった。
- 一方で、『(10)地域医療体制の維持・充実』は、「不満である」、「やや不満である」が合わせて60%を超え、不満を持っている人の割合が高かった。
- 不満を持つ人が多い項目は、(10)に次いで、『(11)救急医療体制の維持・充実』、『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』であった。

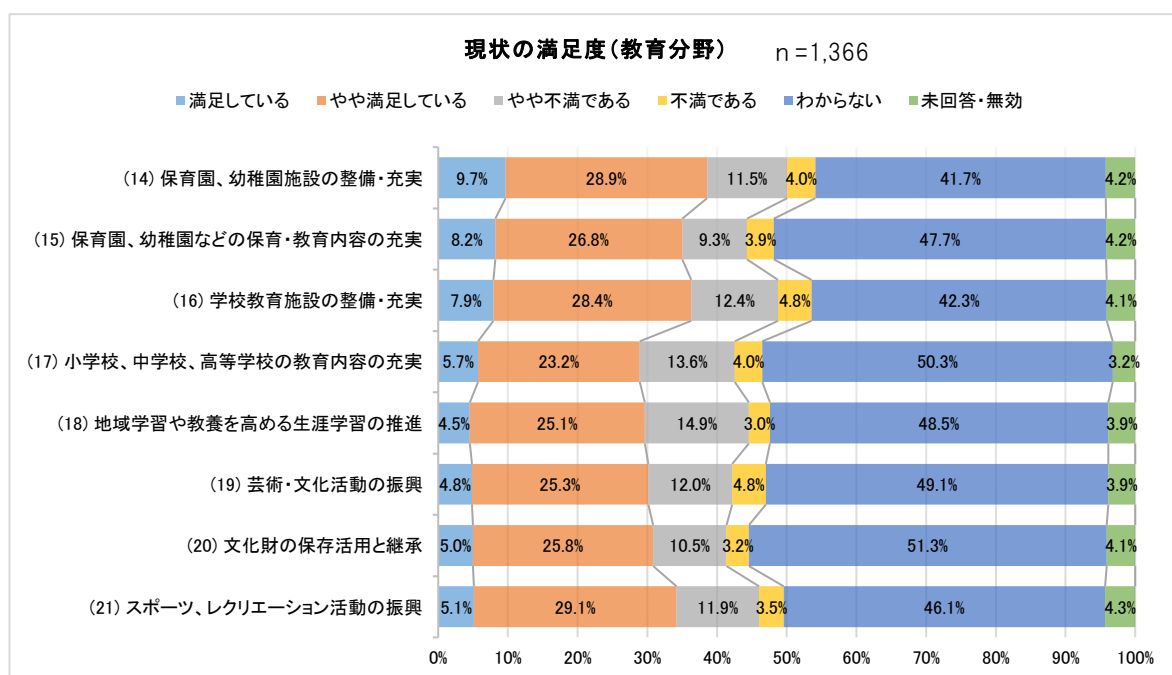
②今後の重要度



- ほとんどの項目で、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が70%を超え、いずれも重要であると考えられていることがうかがわれた。
- とくに『(10)地域医療体制の維持・充実』と『(11)救急医療体制の維持・充実』は、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が約90%に上り、施策が注目されている。
- そのほか『(1)在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』や『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』も、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が80%を超えた。

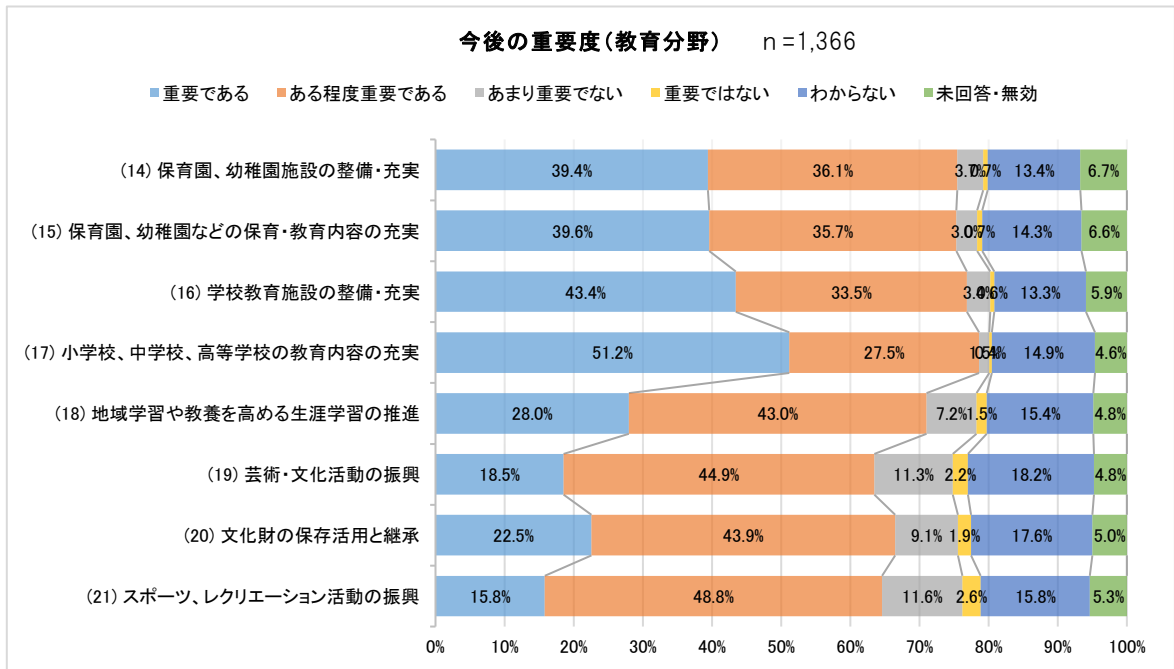
(2) 教育分野

①現状の満足度



- ほとんどの項目について、「わからない」と回答した人の割合が40～50%となっており、子ども・孫と同居していないなど、教育と関わりのない回答者が多いことがうかがわれた。
- ほとんどの項目について、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が合わせておよそ30～40%いた。一方で、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合は合わせて15～20%ほどであった。

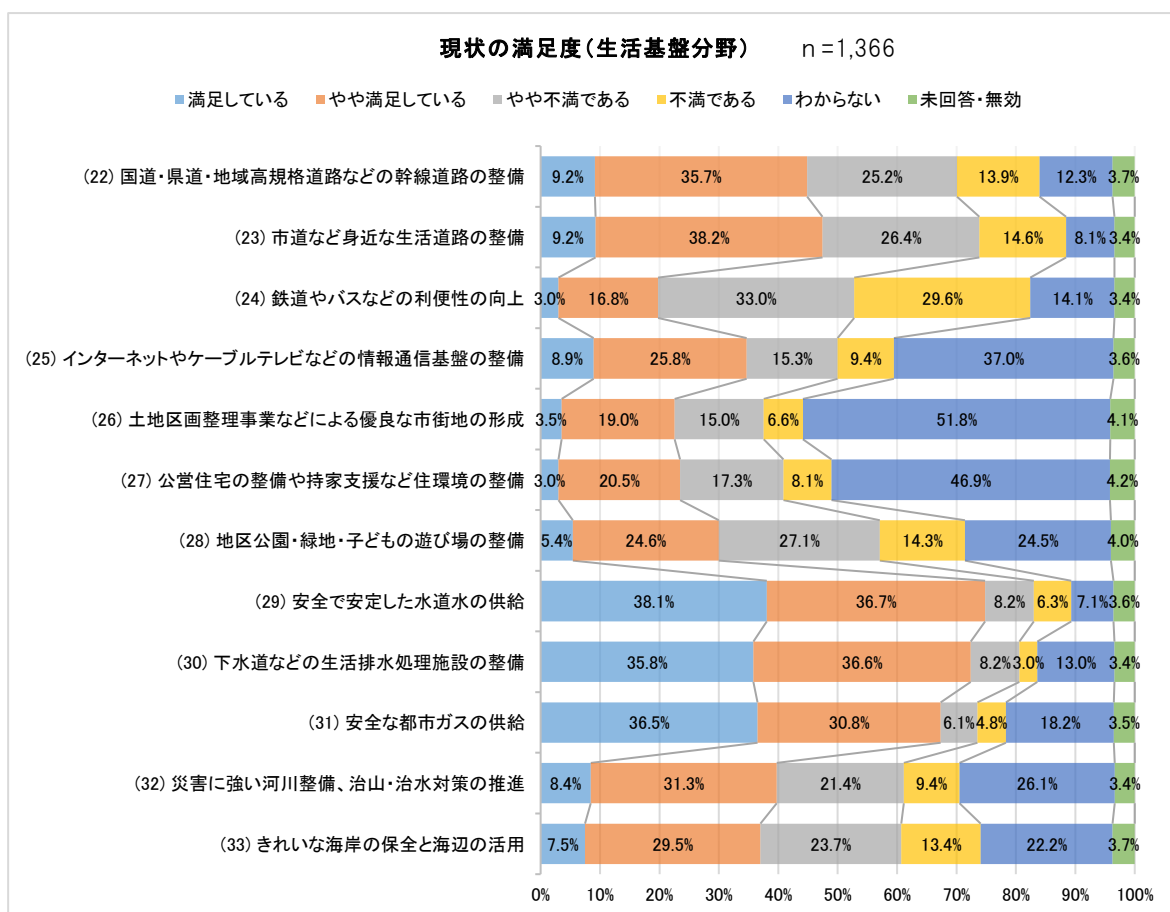
②今後の重要度



- ほとんどの項目で、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ65～80%であった。
- その中で、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』について「重要である」と回答した人の割合が51.2%であり、重要であると考えている人が最も多かった。
- 『(14)保育園、幼稚園施設の整備・充実』、『(15)保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実』、『(16)学校教育施設の整備・充実』、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』については、「重要ではない」または「あまり重要でない」と回答した人の割合が合わせておよそ5%以下であり、重要ではないと考える人はほとんどいなかった。

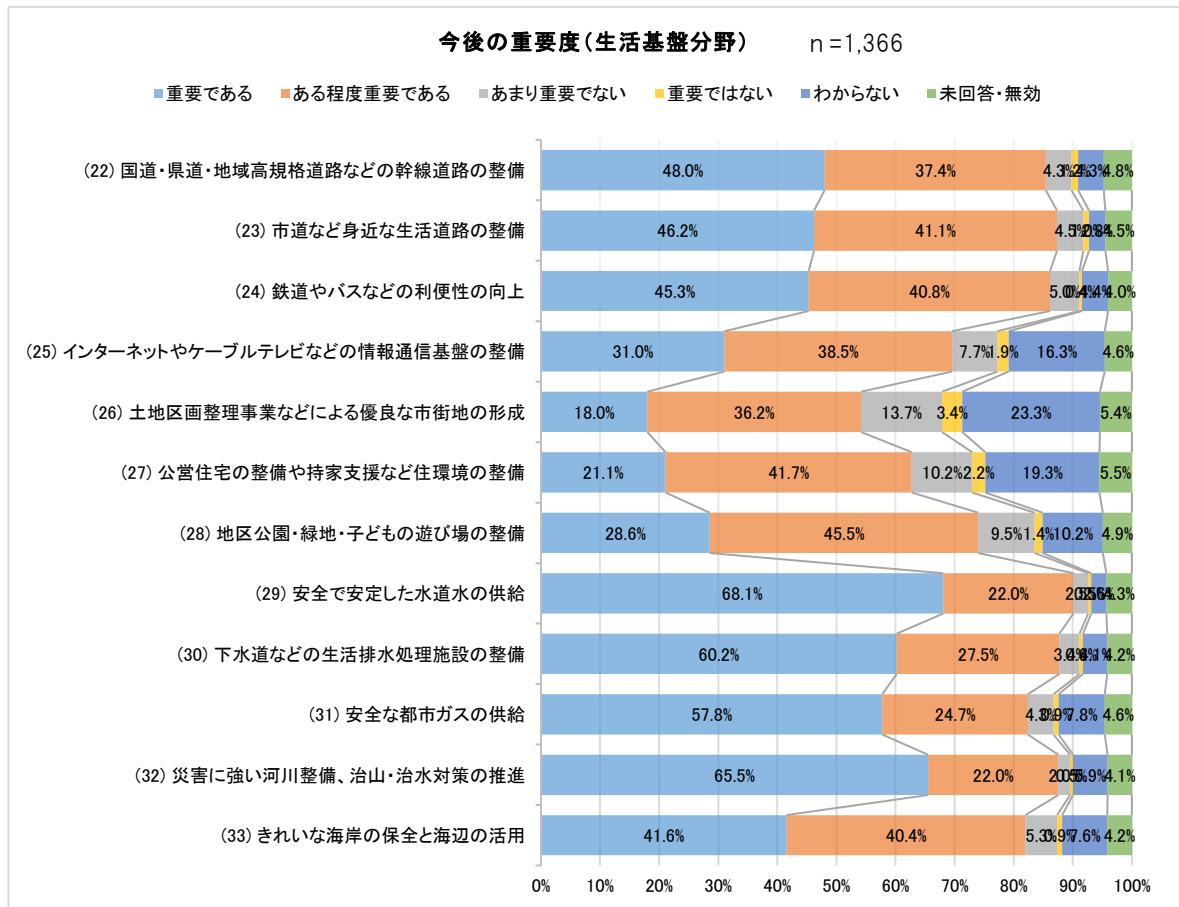
(3) 生活基盤分野

①現状の満足度



- 『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおおよそ 63%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおおよそ 65~75%と高く、満足している人が多かった。

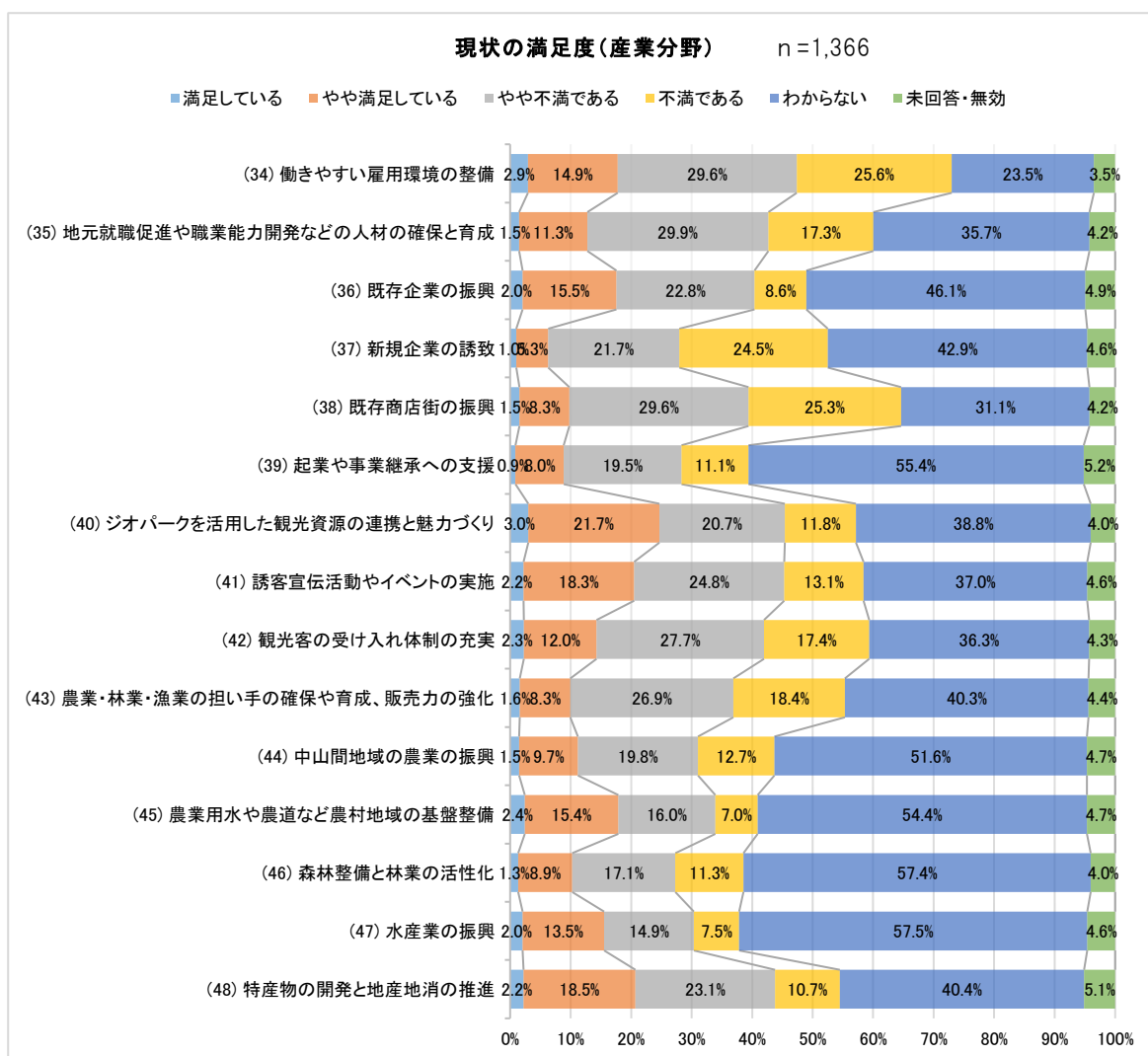
②今後の重要度



- 『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(32)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』については、「重要である」と回答した人の割合がおよそ58～68%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(23)市道など身近な生活道路の整備』、『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(22)国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備』、『(33)きれいな海岸の保全と海辺の活用』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ80%と高く、重要であると考えた人が多かった。

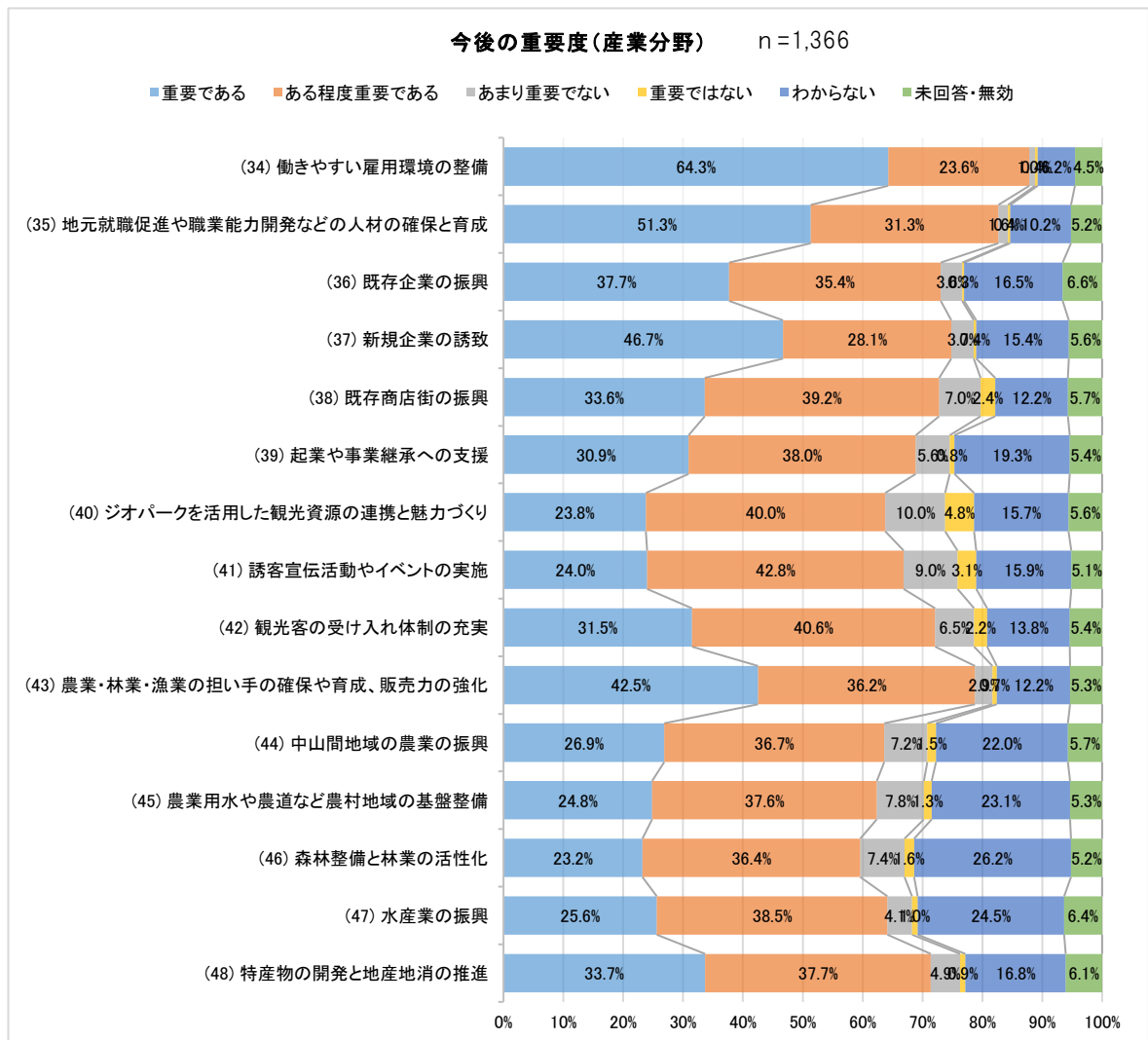
(4) 産業分野

①現状の満足度



- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ40～60%と高かった。
- 『(34)働きやすい雇用環境の整備』、『(38)既存商店街の振興』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合が50%を超え、不満を持っている人が多かった。

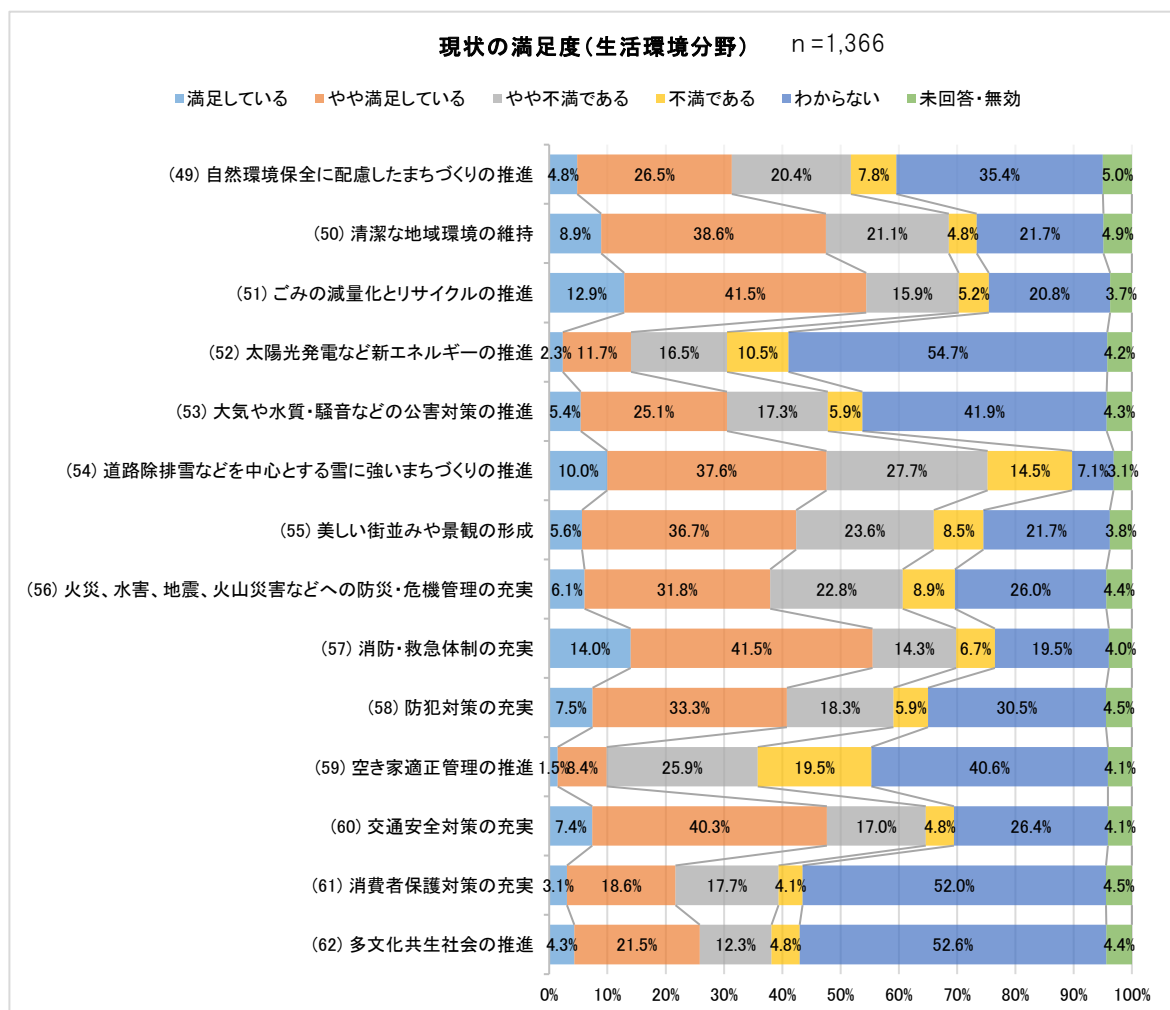
②今後の重要度



- 『(34)働きやすい雇用環境の整備』については、「重要である」と回答した人の割合が64.3%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- また、『(35)地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』、『(43)農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせて75%を超え、重要であると考えた人が多かった。

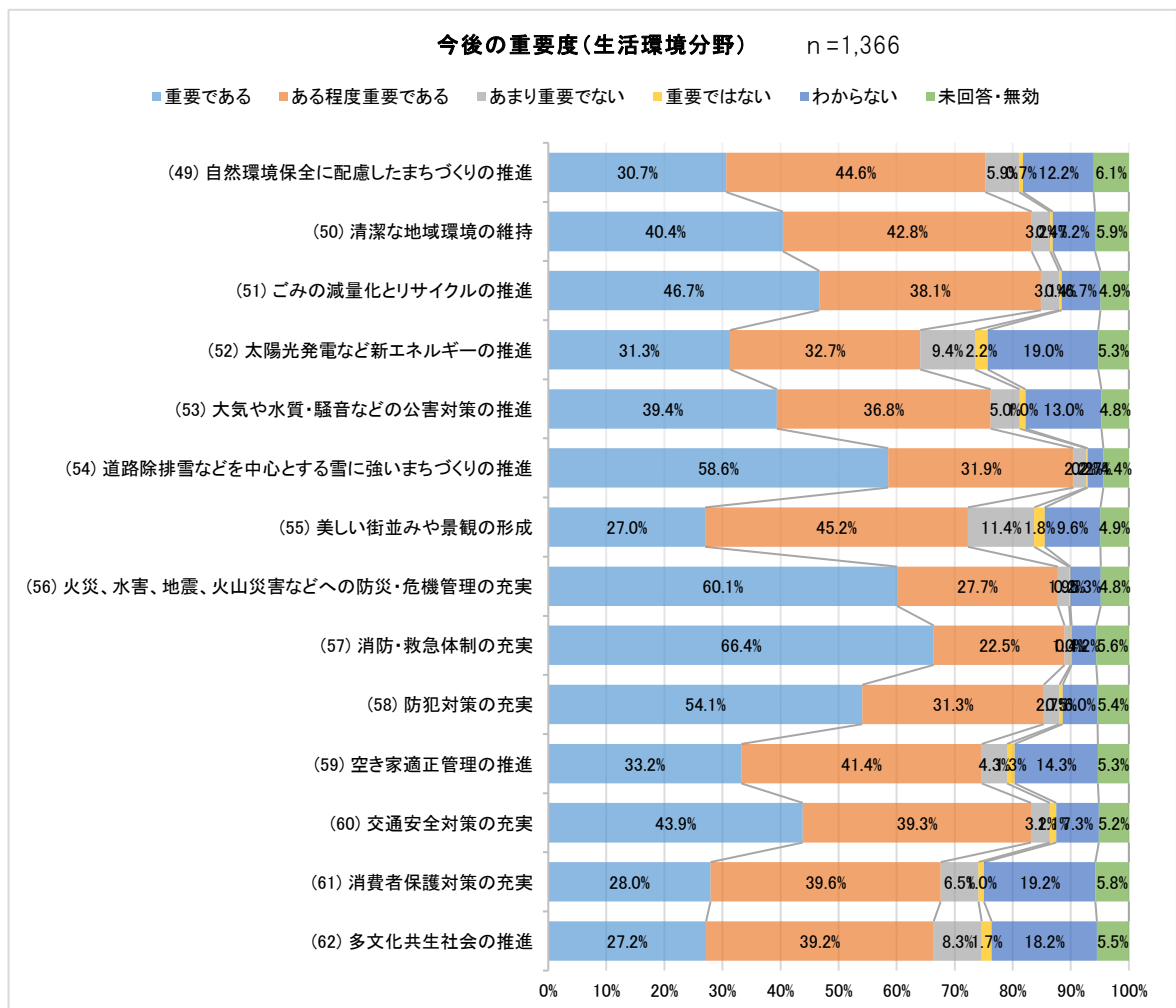
(5) 生活環境分野

①現状の満足度



- 『(59)空き家適正管理の推進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合が合わせておよそ 45%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(57)消防・救急体制の充実』、『(51)ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(50)清潔な地域環境の維持』、『(60)交通安全対策の充実』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が合わせておよそ 48~55%と高く、満足している人が比較的多かった。
- 『(52)太陽光発電など新エネルギーの推進』、『(62)多文化共生社会の推進』、『(61)消費者保護対策の充実』については、「わからない」と回答した人の割合が50%を超えた。

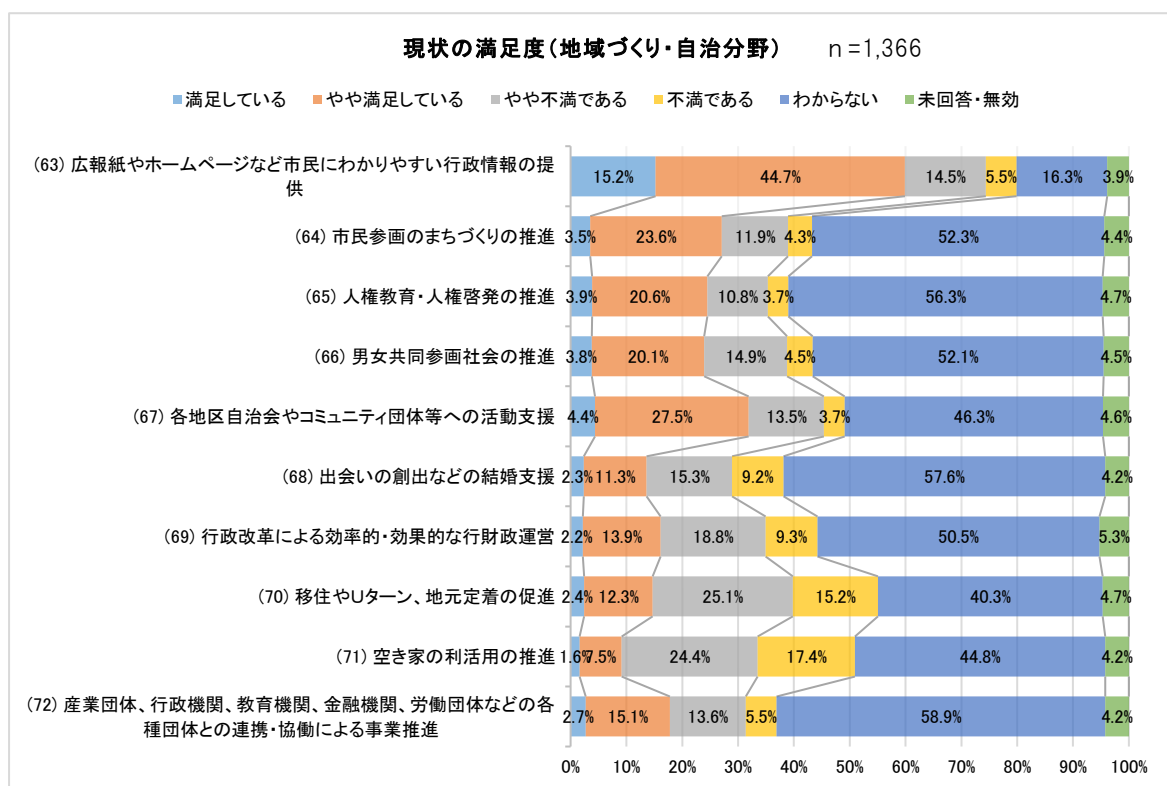
②今後の重要度



- 『(57) 消防・救急体制の充実』、『(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実』、『(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(58) 防犯対策の充実』については、「重要である」と回答した人の割合がおよそ54～66%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(51) ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(60) 交通安全対策の充実』、『(50) 清潔な地域環境の維持』についても、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合があわせて80%を超え、重要であると考えた人が多かった。

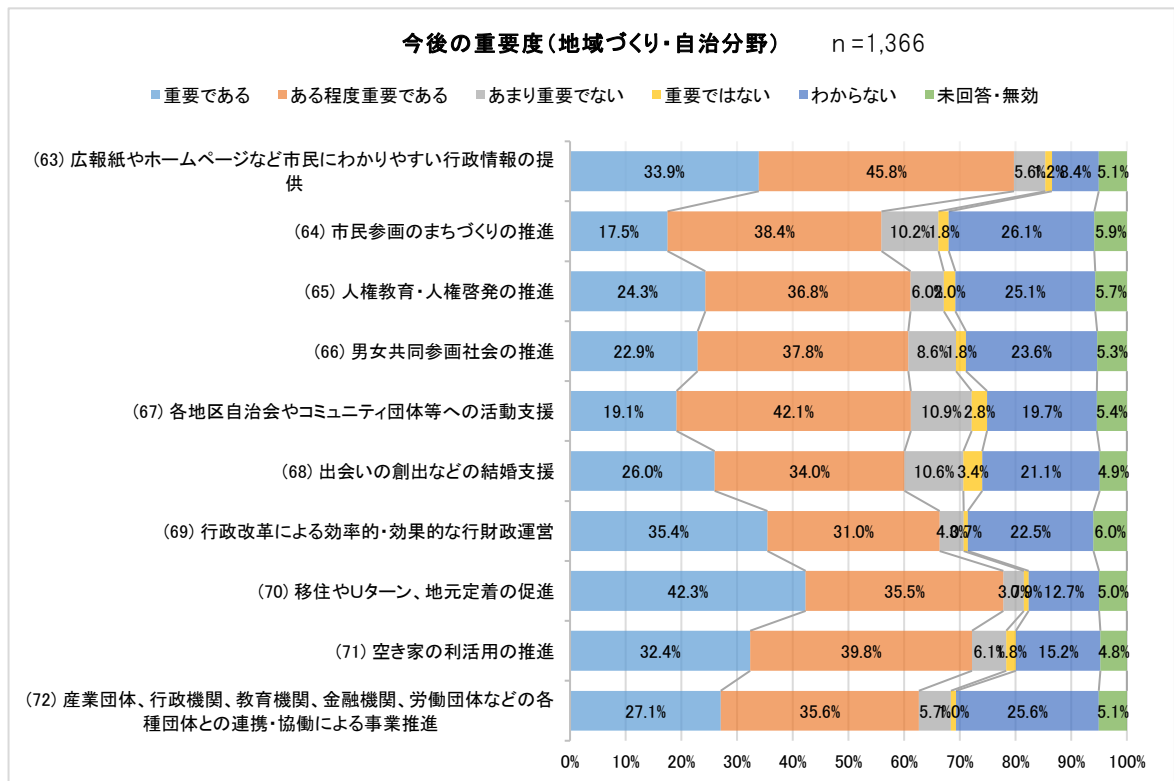
(6) 地域づくり・自治分野

①現状の満足度



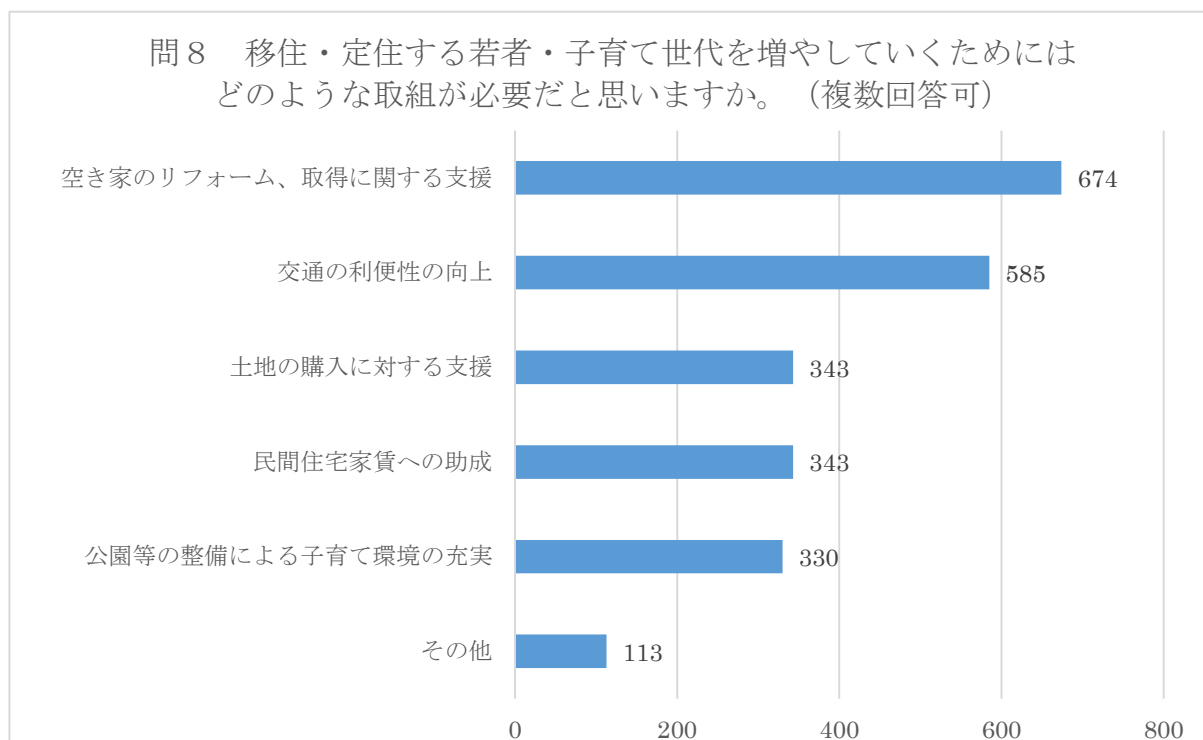
- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ40～58%であり、施策が浸透していないことがうかがわれた。
- 『(71)空き家の利活用の推進』、『(70)移住やUターン、地元定着の促進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおよそ40%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(63)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ60%と高く、満足している人が多かった。

②今後の重要度



- 『(70)移住やUターン、地元定着の促進』、『(63)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』については、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ 80%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(71)空き家の利活用の推進』、『(69)行政改革による効率的・効果的な行財政運営』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ 66~73%と高く、重要であると考えた人が多かった。

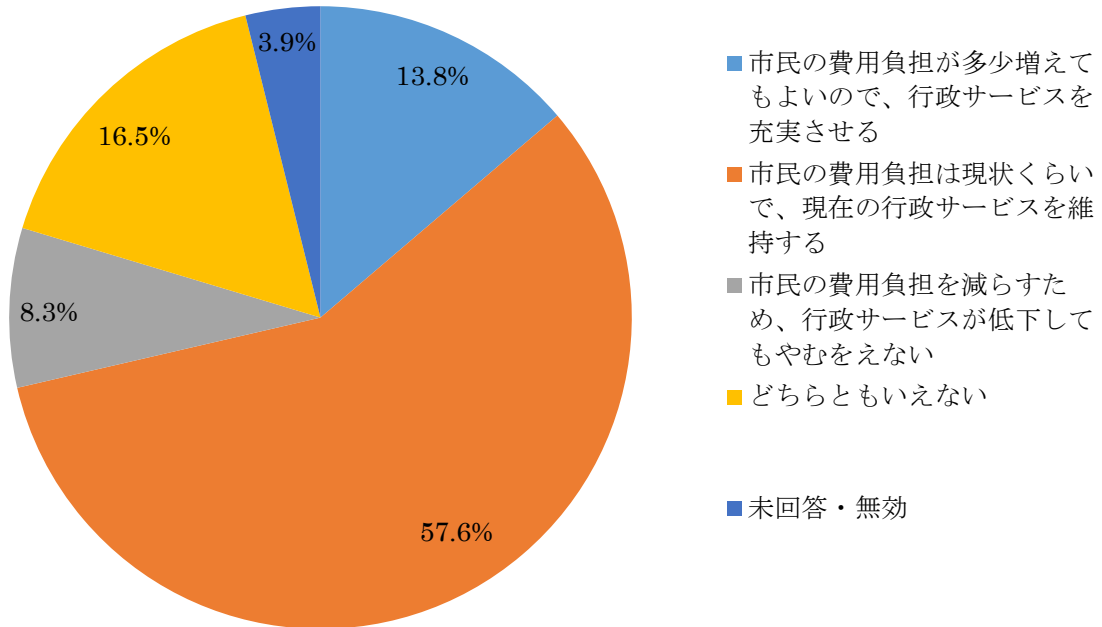
8 移住・定住者を増やすための施策



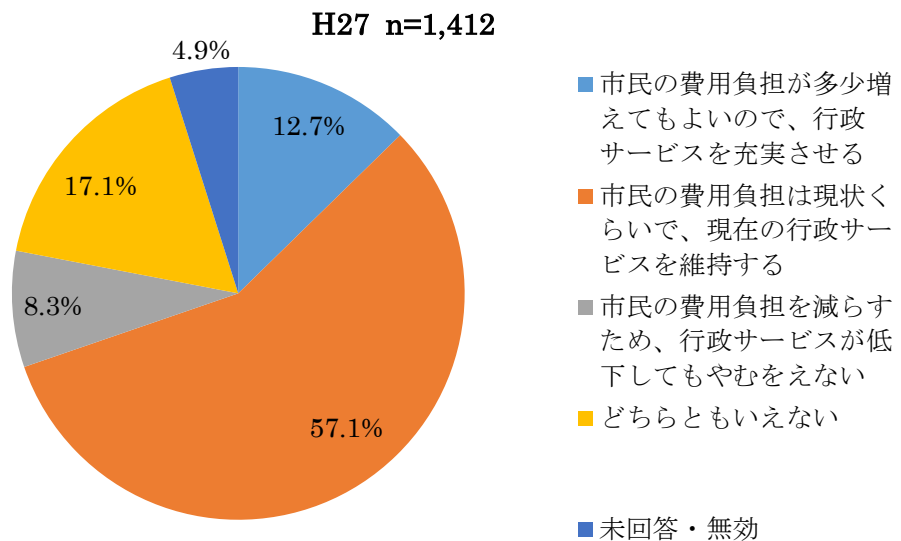
- 回答が多い順に整理した。
- 回答者数 1,366 人のうち、「空き家のリフォーム、取得に関する支援」が最も多く半数近い 674 人が取組が必要だと回答した。次いで、「交通の利便性の向上」が 585 人であった。

9 行政サービスと市民の負担のあり方

問9 行政サービスと市民の負担のあり方

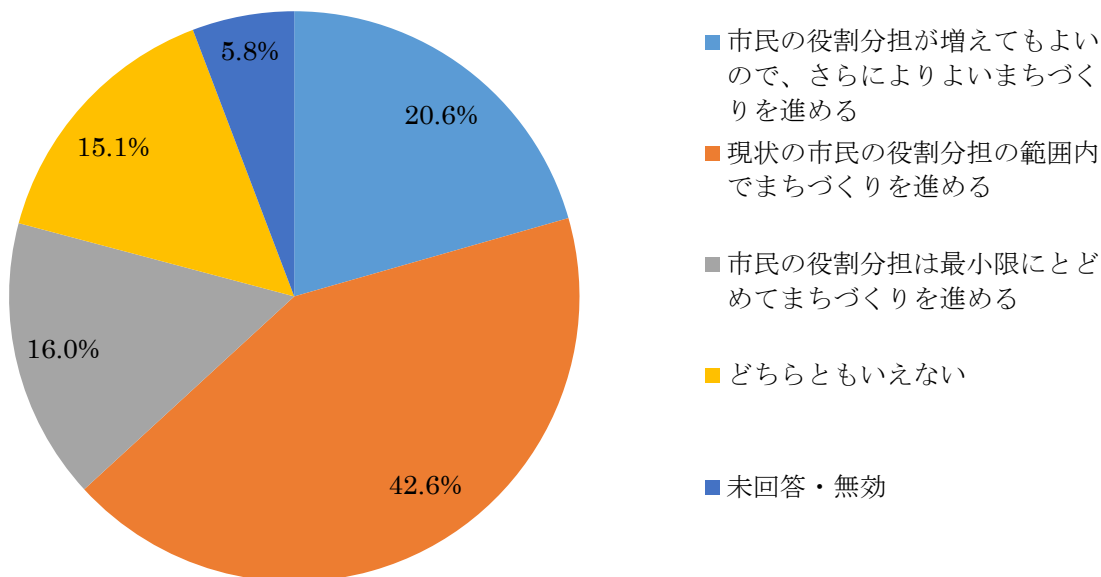


- 「市民の費用負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持する」と回答した人が最も多く、その割合は約58%であった。
- 前回調査とほぼ同じ割合の回答となった。

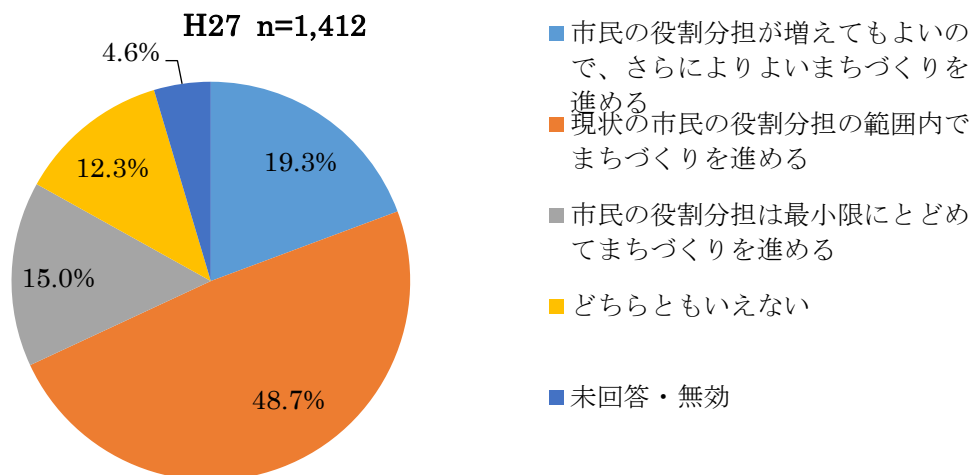


11 行政と市民の役割分担についての考え方

問 1 1 行政と市民の役割分担のあり方



- 「現状の市民の役割分担の範囲内でまちづくりを進める」と回答した人の割合が最も多く、42.6%であった。
- 「市民の役割分担が増えてもよいので、さらによりよいまちづくりを進める」と回答した人の割合は20.6%であった。
- 一方で、「市民の役割分担は最小限にとどめてまちづくりを進める」と回答した人の割合は16.0%であり、市民の役割分担を増やしてもよいと考える人と最小限にとどめるべきであると考える人の割合はほとんど拮抗していた。



4 平均スコア

満足度・重要度の評価を点数化した「平均スコア」により各項目の比較を行った。

点数は以下の通りとし、その平均点の小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを表示している。

「満足している」	… + 2
「やや満足している」	… + 1
「わからない」	… 0
「やや不満である」	… - 1
「不満である」	… - 2

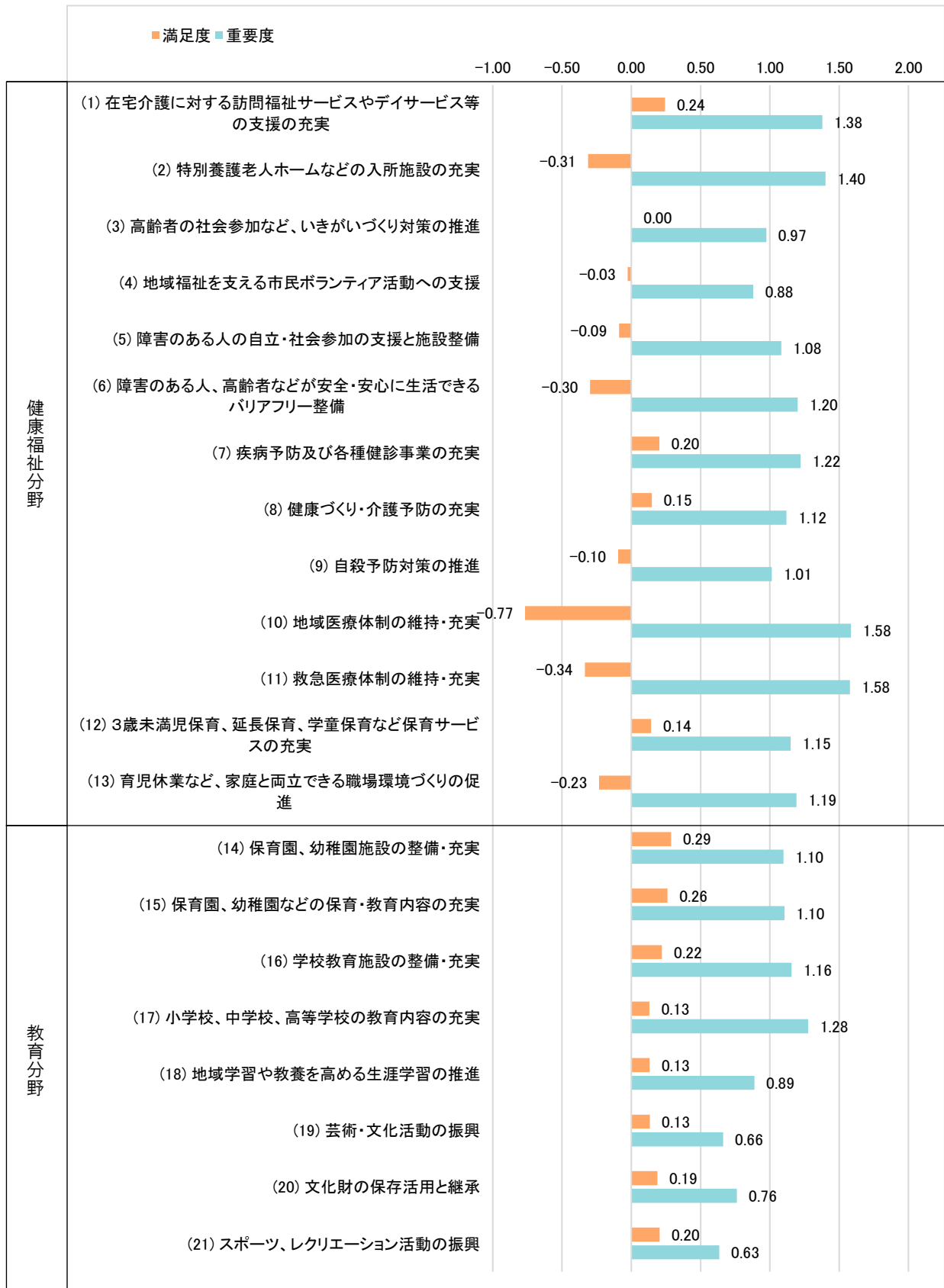
また、前回調査（平成27年）の調査との比較も行った。

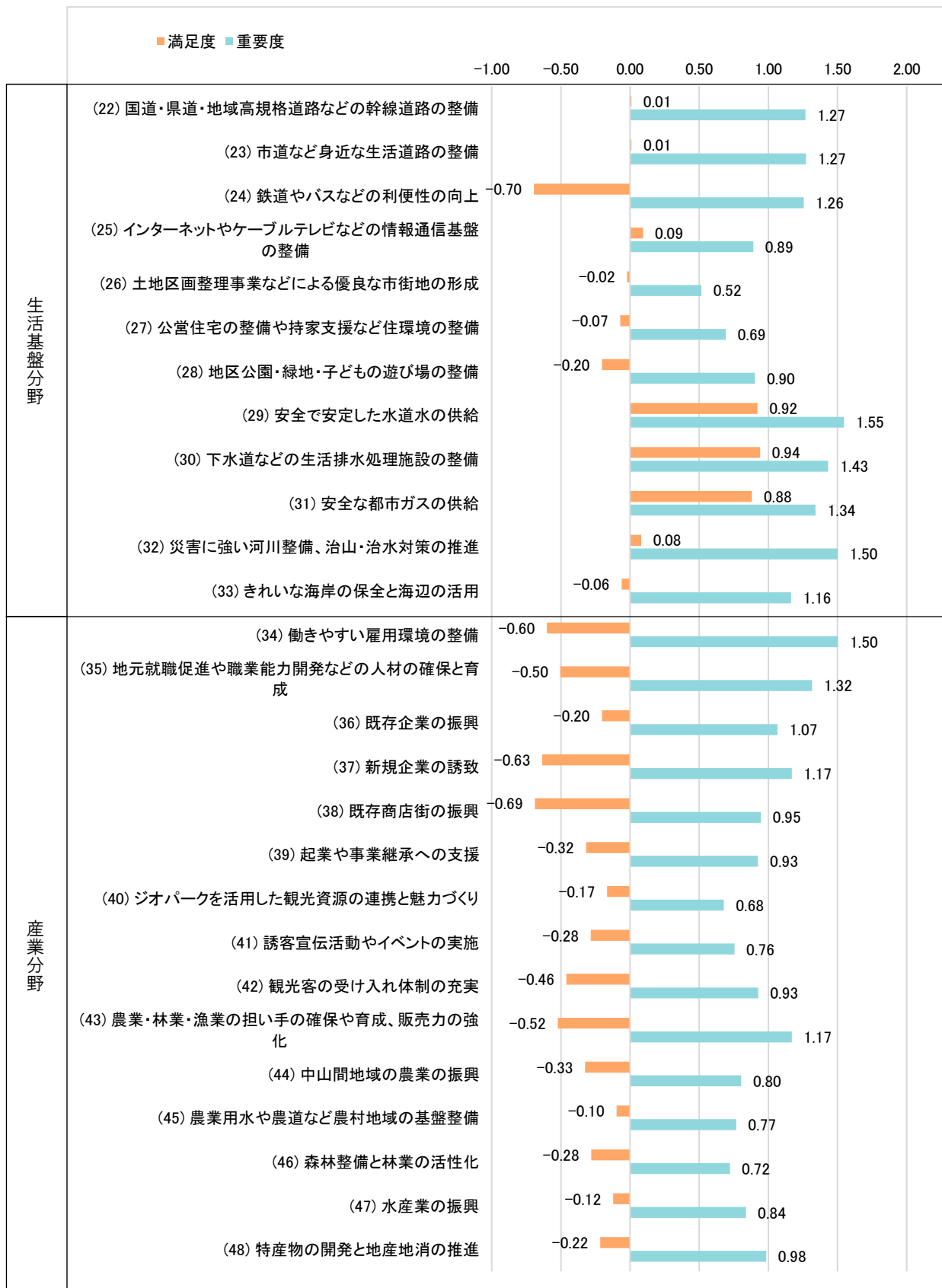
前回と今回の調査では、同じ設問項目でも該当分野が異なっているものがある。そのため、前回の平均値については、今回の分野にあわせて集計をし直し比較を行った。

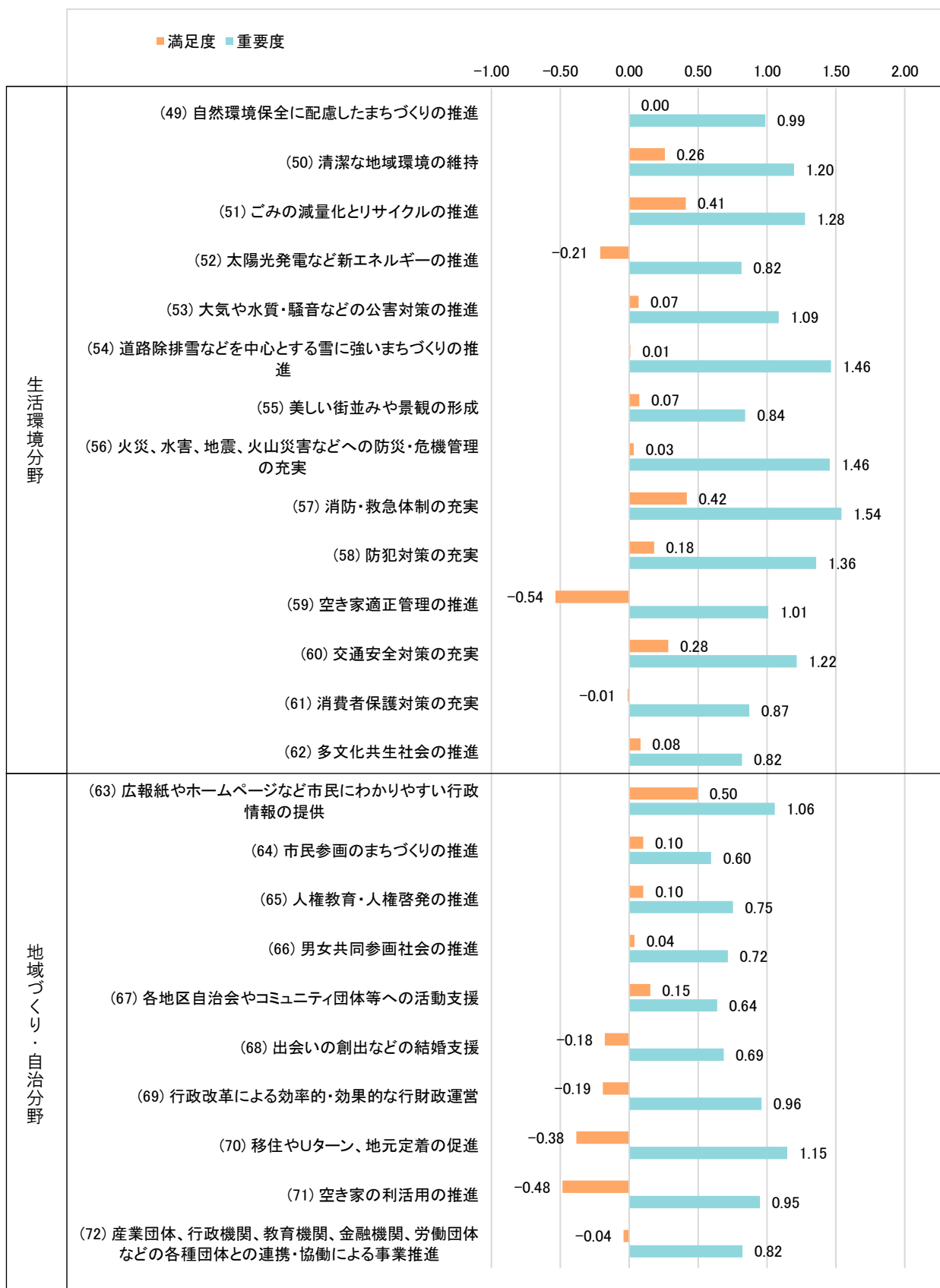
母数は以下のとおり

令和2年度調査	1,366
平成30年度調査	403
平成27年度調査	1,412

1 全項目比較







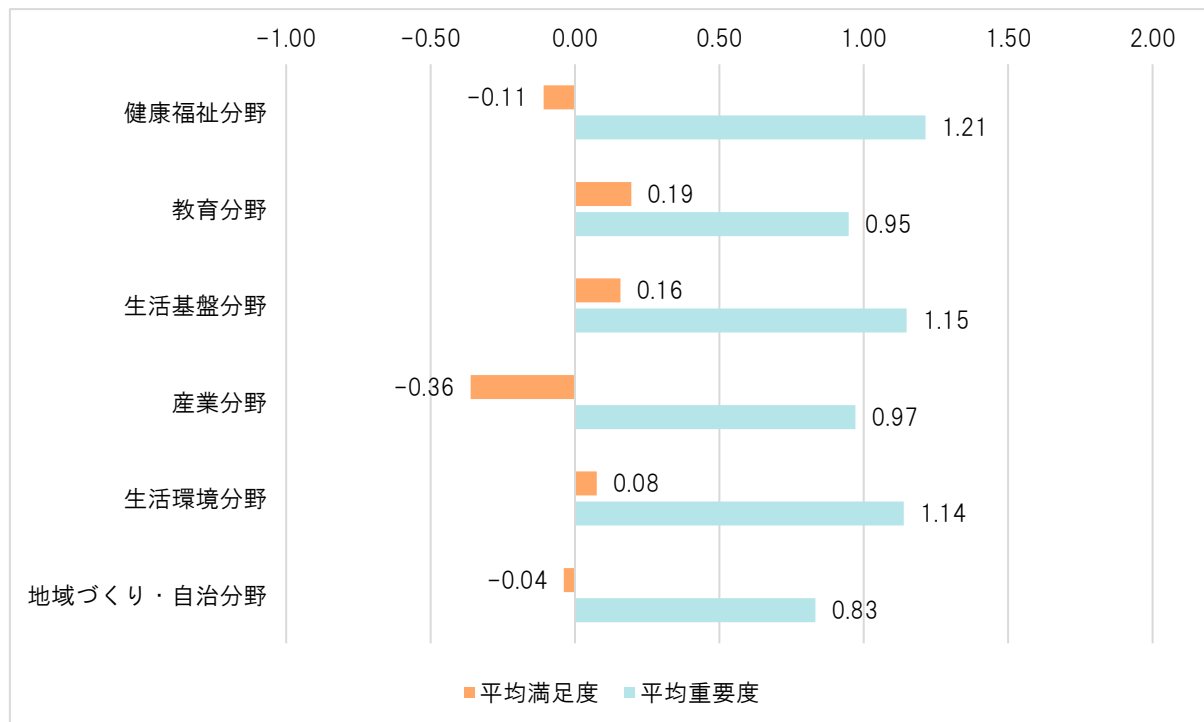
■満足度の低い項目上位 10 項目

1	地域医療体制の維持・充実	-0.77Pt
2	鉄道やバスなどの利便性の向上	-0.70Pt
3	起業や事業継承への支援	-0.69Pt
4	新規企業の誘致	-0.63Pt
5	働きやすい雇用環境の整備	-0.60Pt
6	空き家適正管理の推進	-0.54Pt
7	農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	-0.52Pt
8	地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	-0.50Pt
9	空き家の利活用の推進	-0.48Pt
10	観光客の受入態勢の充実	-0.46Pt

■重要度の高い項目上位 10 項目

1	地域医療体制の維持・充実	1.58Pt
1	救急医療体制の維持・充実	1.58Pt
3	安全で安定した水道水の供給	1.55Pt
4	消防・救急体制の充実	1.54Pt
5	災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.50Pt
5	働きやすい雇用環境の整備	1.50Pt
7	道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.46Pt
7	火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.46Pt
9	下水道などの生活排水処理施設の整備	1.43Pt
10	特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.40Pt

2 分野別満足度・重要度



① 健康福祉分野

- 平均満足度は-0.11、平均重要度は1.21だった。
- 現状にやや不満感があり、今後の重要度は**最も高い1番目**だった。

② 教育分野

- 平均満足度は0.19、平均重要度は0.95だった。
- 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**5番目**に高かった。

③ 生活基盤分野

- 平均満足度は0.16、平均重要度は1.15だった。
- 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**2番目**に高かった。

④ 産業分野

- 平均満足度は-0.36、平均重要度は0.97だった。
- 現状に**最も不満感**があり、今後の重要度は**4番目**に高かった。

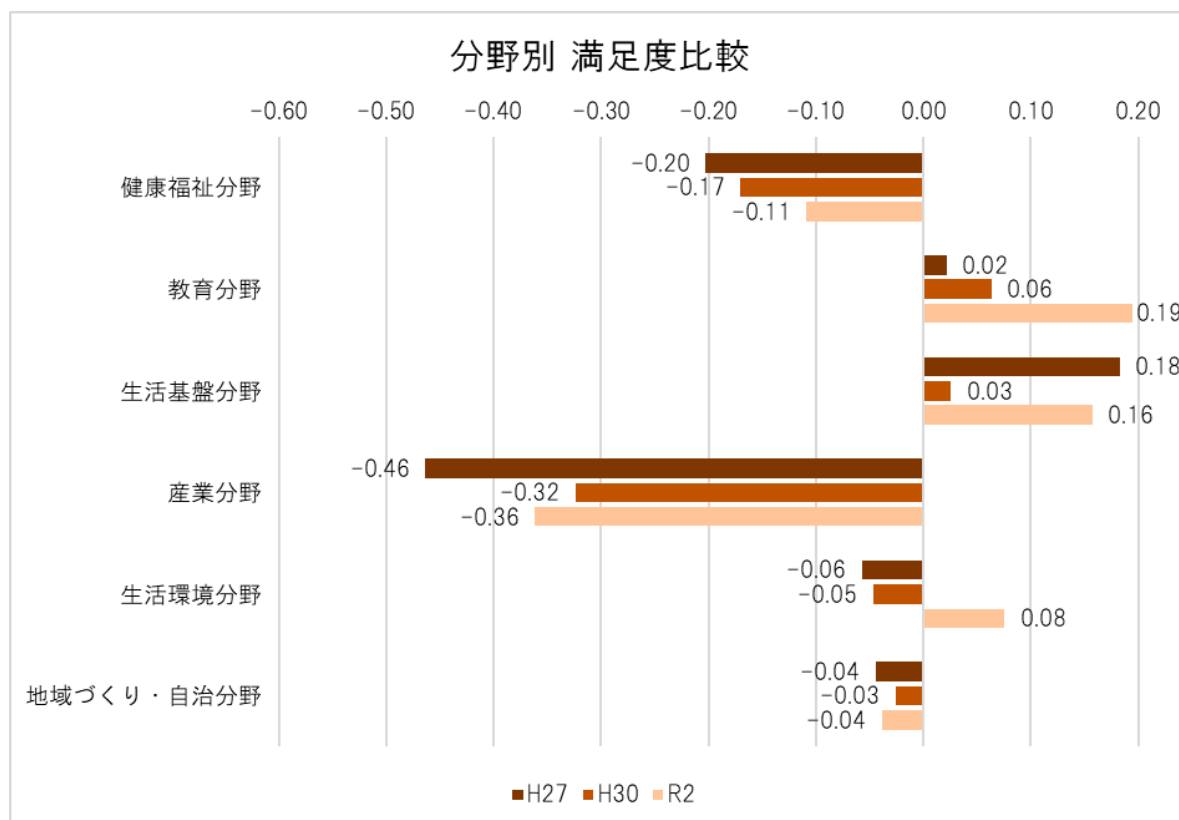
⑤ 生活環境分野

- 平均満足度は0.08、平均重要度は1.14だった。
- 現状はやや満足感があり、今後の重要度は**3番目**に高かった。

⑥ 地域づくり・自治分野

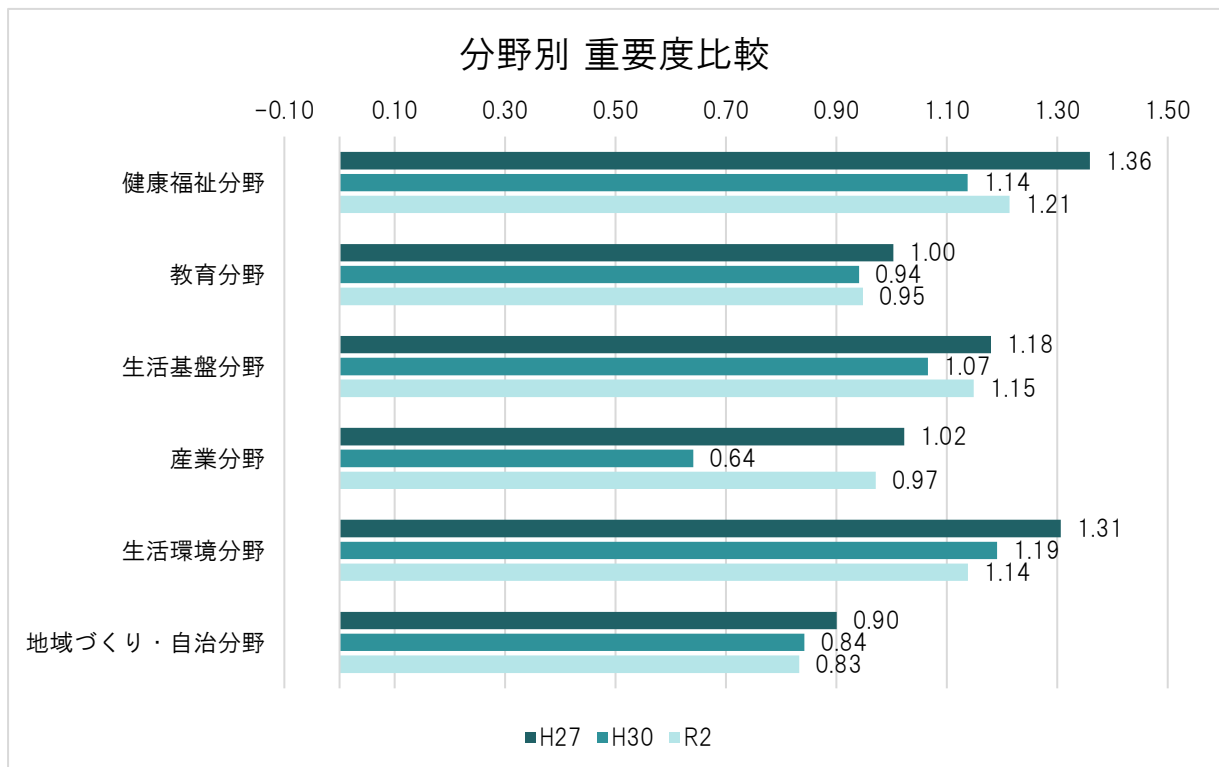
- 平均満足度は-0.04、平均重要度は0.83だった。
- 現状はやや不満があり、今後の重要度は**最も低い6番目**だった。

3 分野別満足度 前回調査との比較



- ① 健康福祉分野
 - H27 調査-0.20、H30 調査-0.17 に対し、R2 調査-0.11 と前回より 0.06 ポイント上昇した。
- ② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）
 - H27 調査 0.02、H30 調査 0.06 に対し、R2 調査-0.19 と前回より 0.13 ポイント上昇した。
- ③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）
 - H27 調査 0.18、H30 調査 0.03 に対し、R2 調査 0.16 と前回より 0.13 ポイント上昇した。 前々回の水準までは回復していない。
- ④ 産業分野
 - H27 調査-0.46、H30 調査-0.32 に対し、R2 調査-0.36 と前回より 0.04 ポイント低下した。
- ⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）
 - H27 調査-0.06、H30 調査-0.05 に対し、R2 調査 0.08 と前回より 0.13 ポイント上昇した。 これにより平均値はプラスに転じた。
- ⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）
 - H27 調査-0.04、H30 調査-0.03 に対し、R2 調査-0.04 と前回より 0.01 ポイント低下した。

4 分野別重要度 前回調査との比較



① 健康福祉分野

- H27 調査 1.36、H30 調査 1.14 に対し、R2 調査 1.21 と前回より 0.07 ポイント上昇した。

② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）

- H27 調査 1.00、H30 調査 0.94 に対し、R2 調査 0.95 と前回より 0.01 ポイント上昇した。

③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）

- H27 調査 1.18、H30 調査 1.07 に対し、R2 調査 1.15 と前回より 0.08 ポイント上昇した。

④ 産業分野

- H27 調査 1.02、H30 調査 0.64 に対し、R2 調査 0.97 と前回より 0.33 ポイント上昇した。

⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）

- H27 調査 1.31、H30 調査 1.19 に対し、R2 調査 1.14 と前回より 0.05 ポイント低下した。

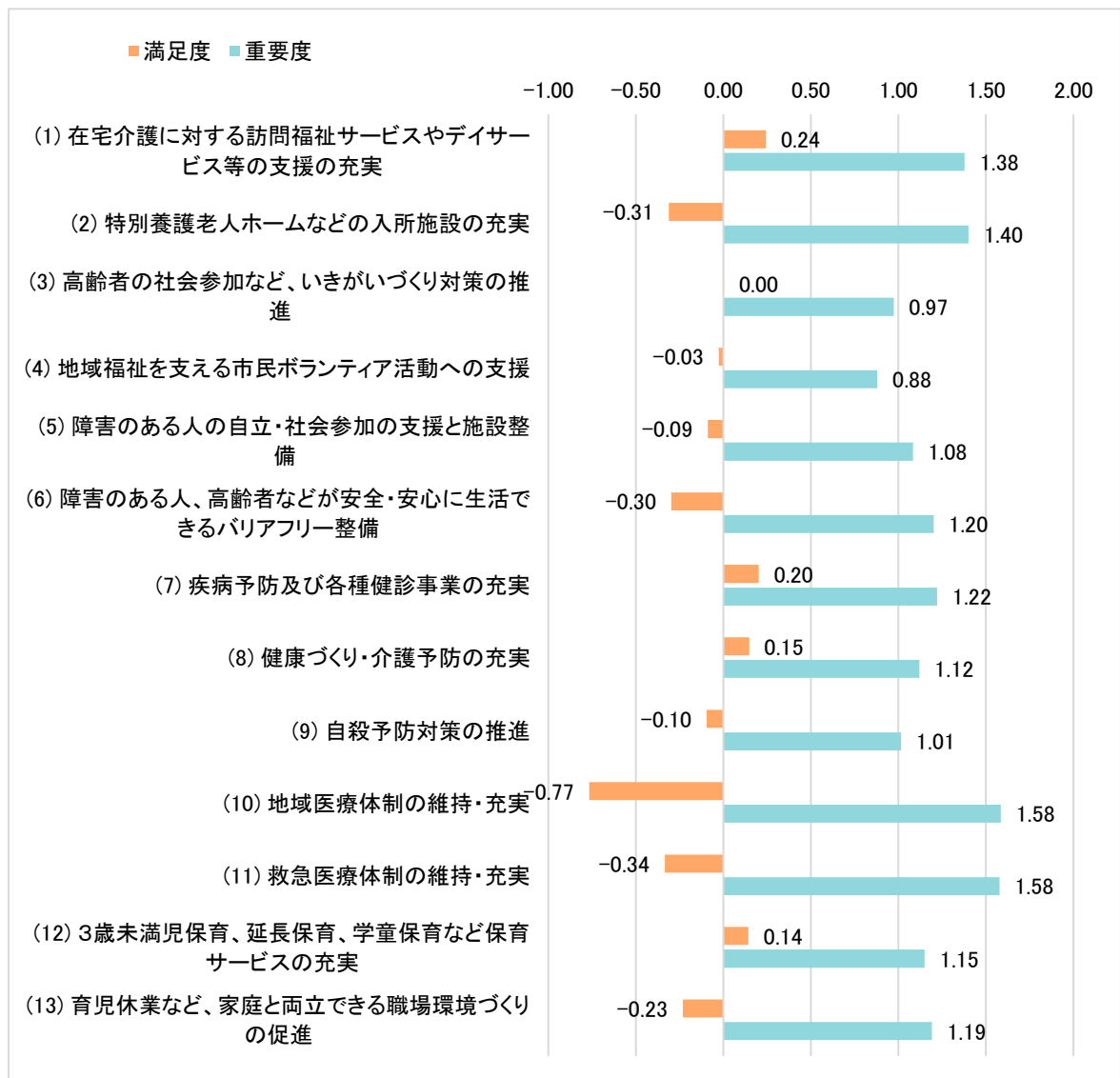
⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）

- H27 調査 0.90、H30 調査 0.84 に対し、R2 調査 0.83 と前回より 0.01 ポイント低下した。

5 項目別平均スコア

(1) 健康福祉分野

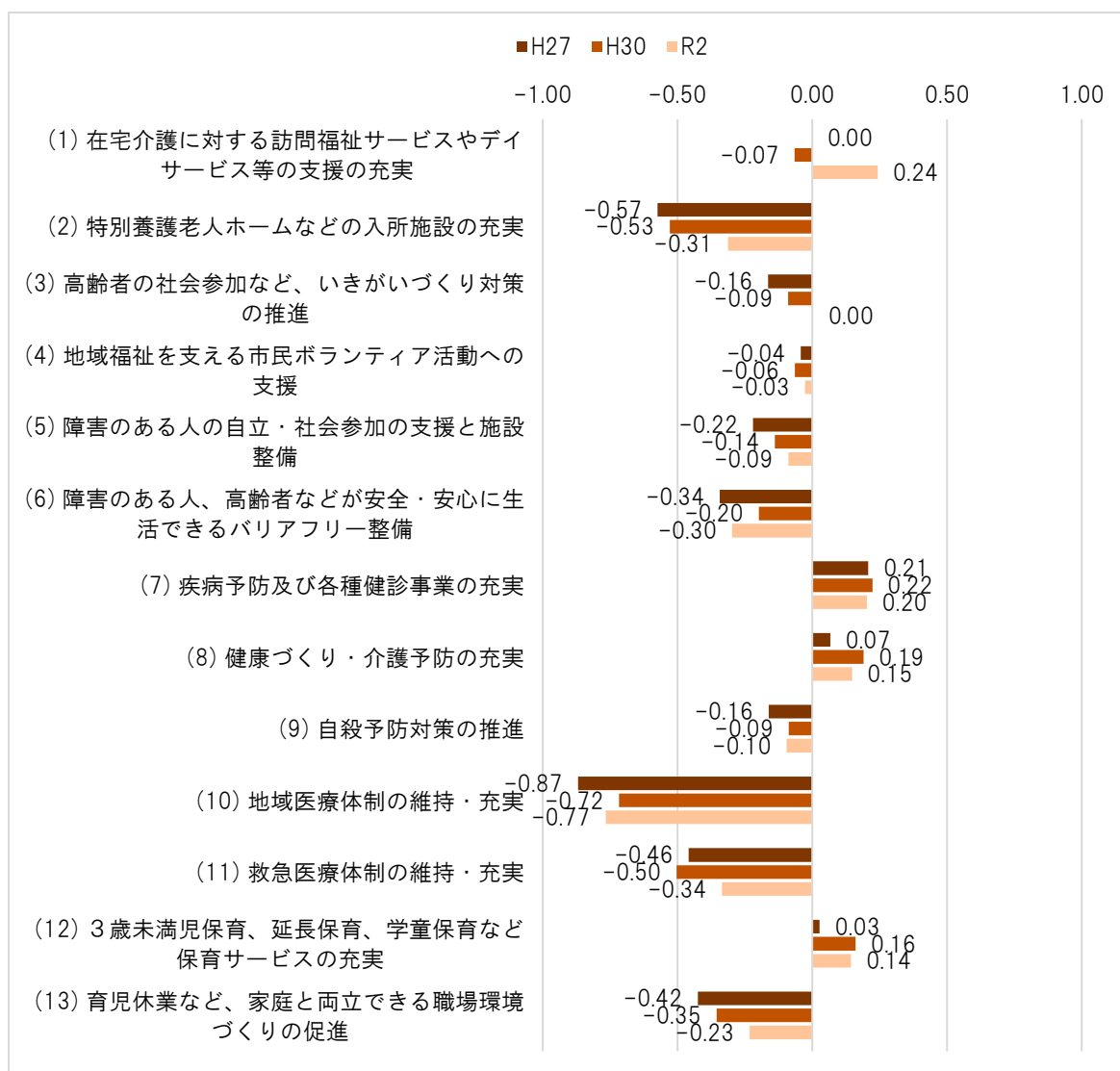
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』、『(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』、『(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(1) 在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』などだった。
- とくに満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』だった。

健康福祉分野

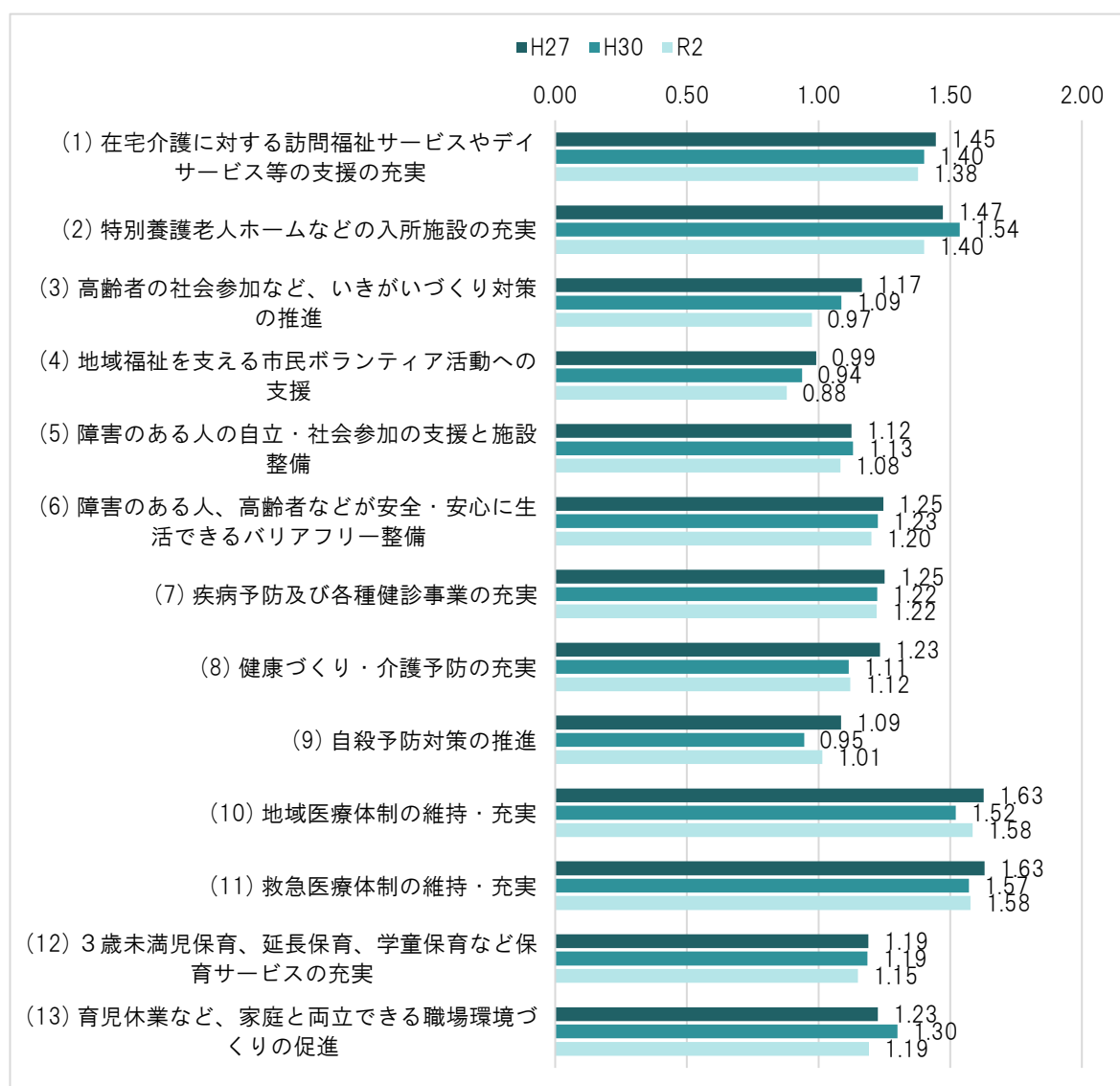
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(1)在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』、『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(11)救急医療体制の維持・充実』、『(13)育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』などは、満足度が上昇・改善した。
- 『(7)疾病予防及び各種健診事業の充実』、『(8)健康づくり・介護予防の充実』、『(12)3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実』は、満足度が概ね横ばいだった。

健康福祉分野

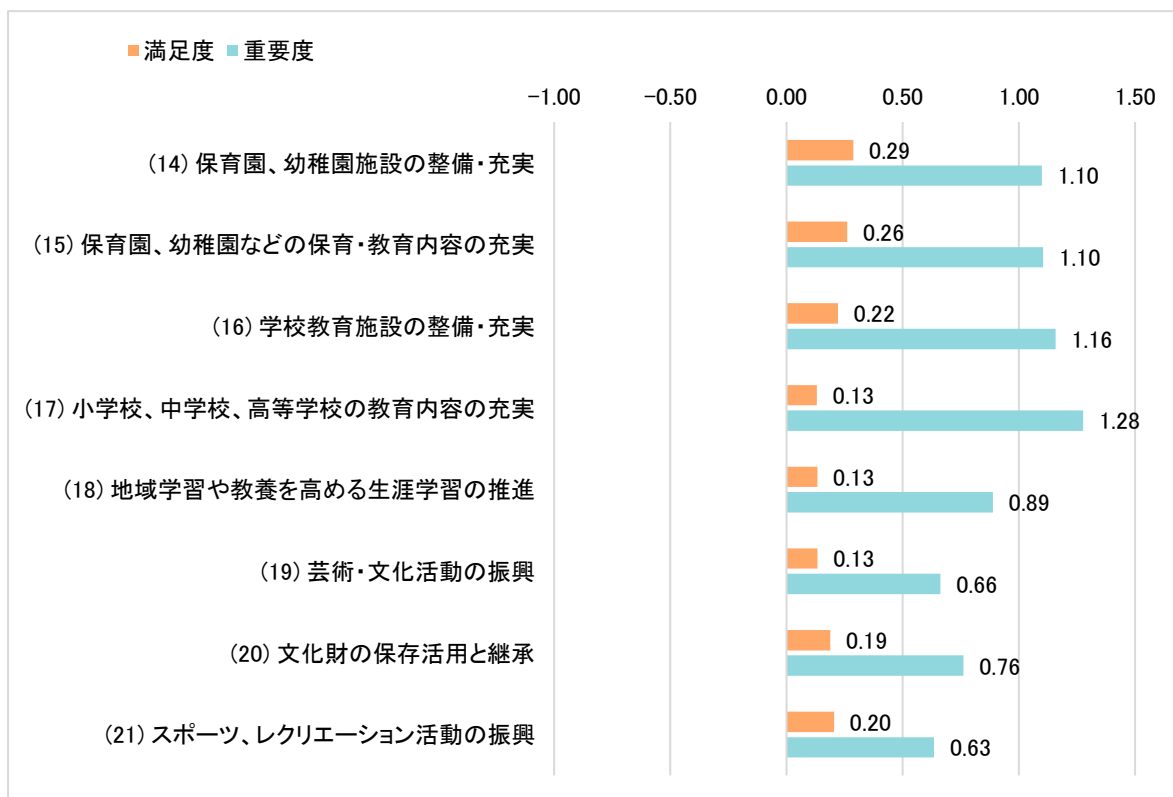
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは減少傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。

(2) 教育分野

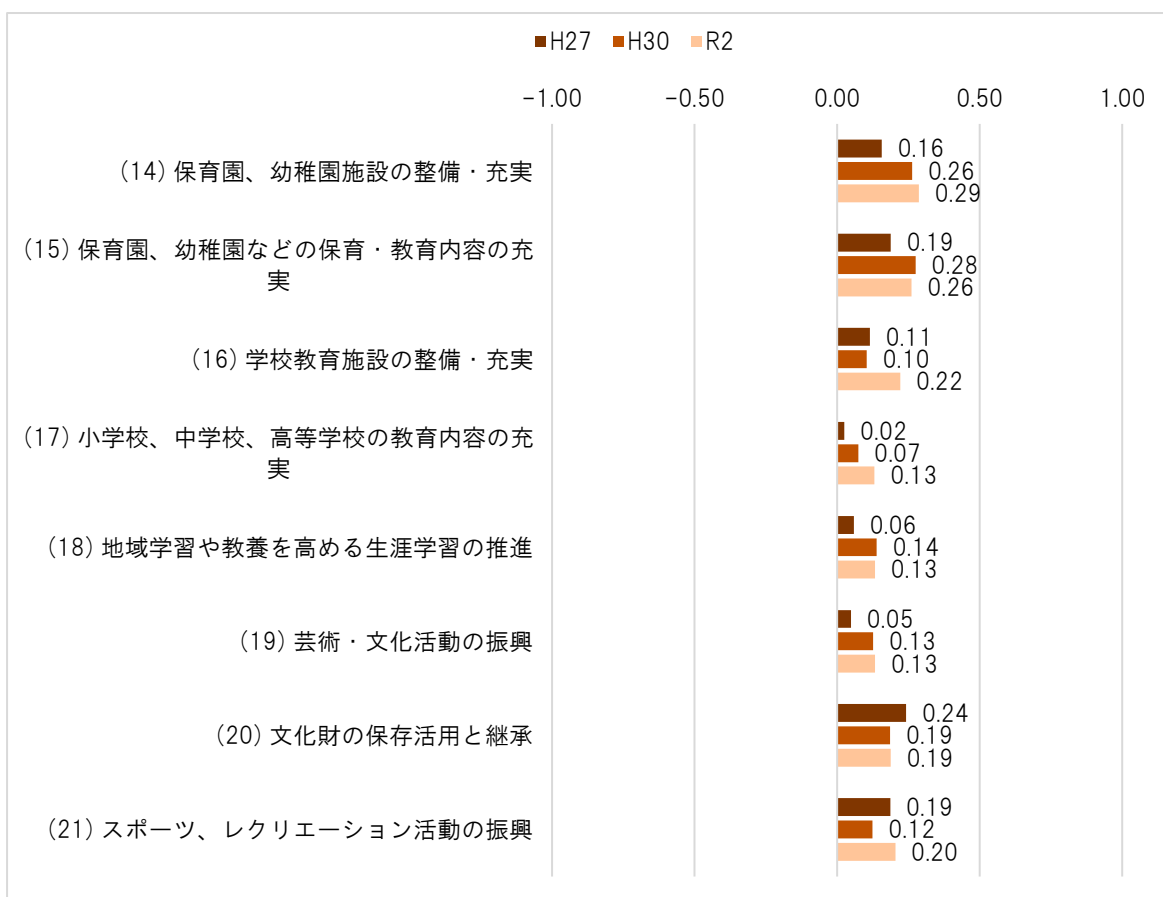
①満足度・重要度



- 満足度は、全体的にプラスだった。
- 重要度が高かったのは、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』、『(16)学校教育施設の整備・充実』、『(14)保育園、幼稚園施設の整備・充実』、『(15)保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実』だった。

教育分野

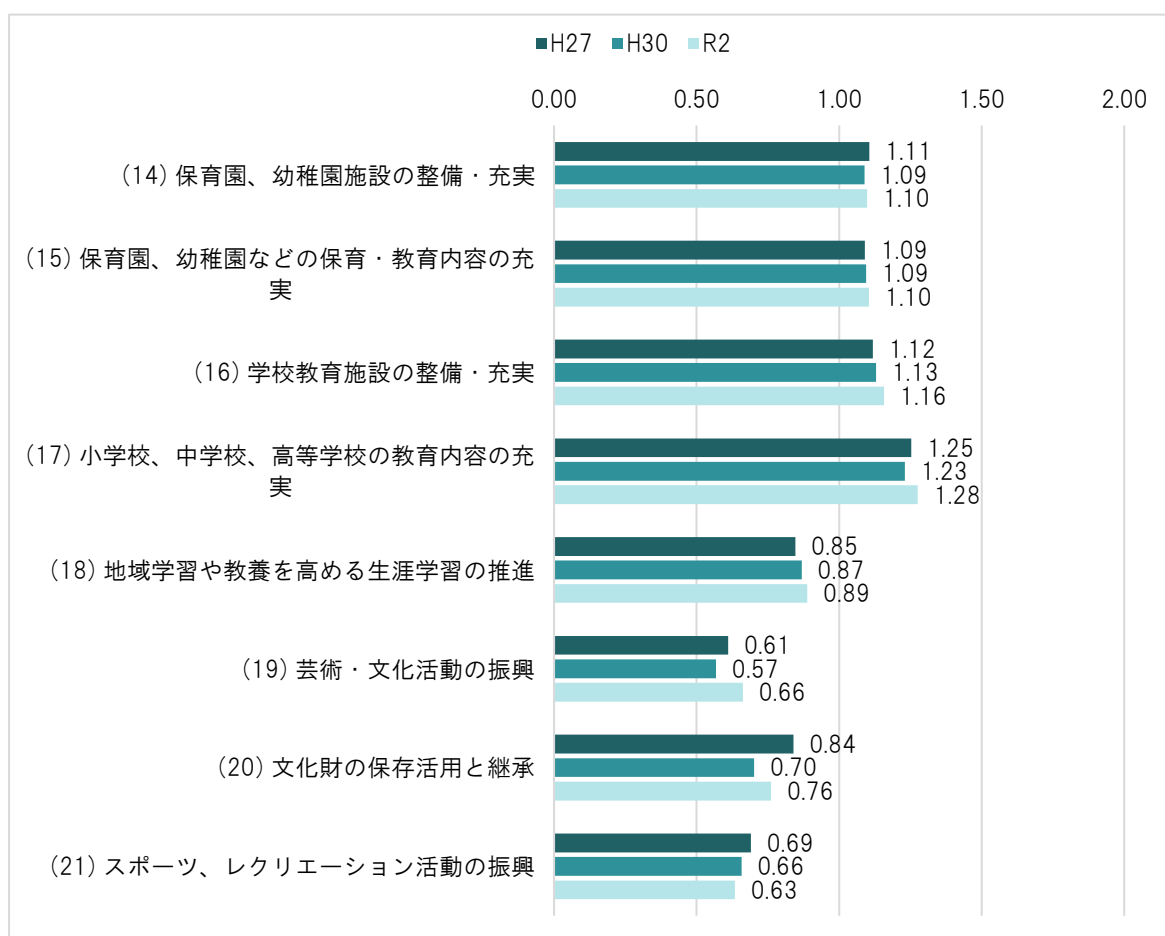
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(16)学校教育施設の整備・充実』は、満足度が0.12ポイント上昇した。

教育分野

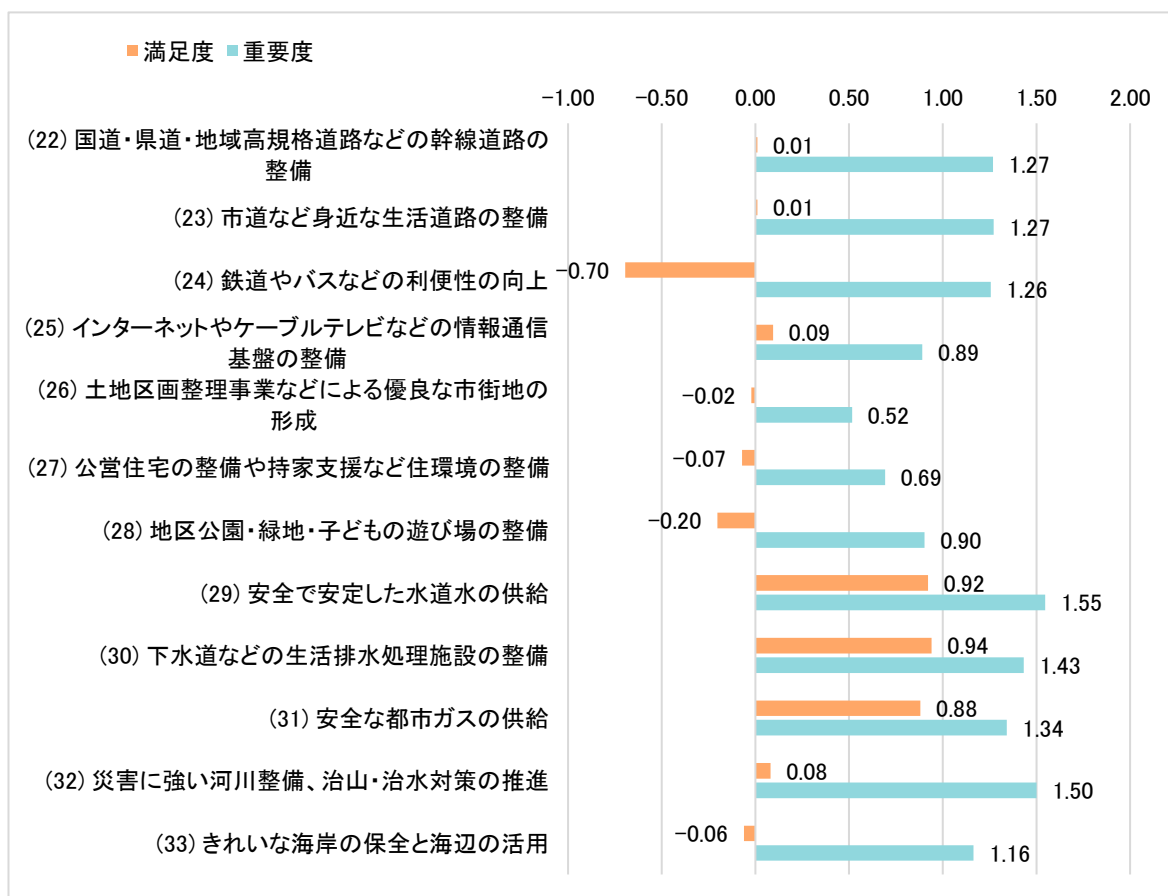
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは横ばいかやや増加傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。

(3) 生活基盤分野

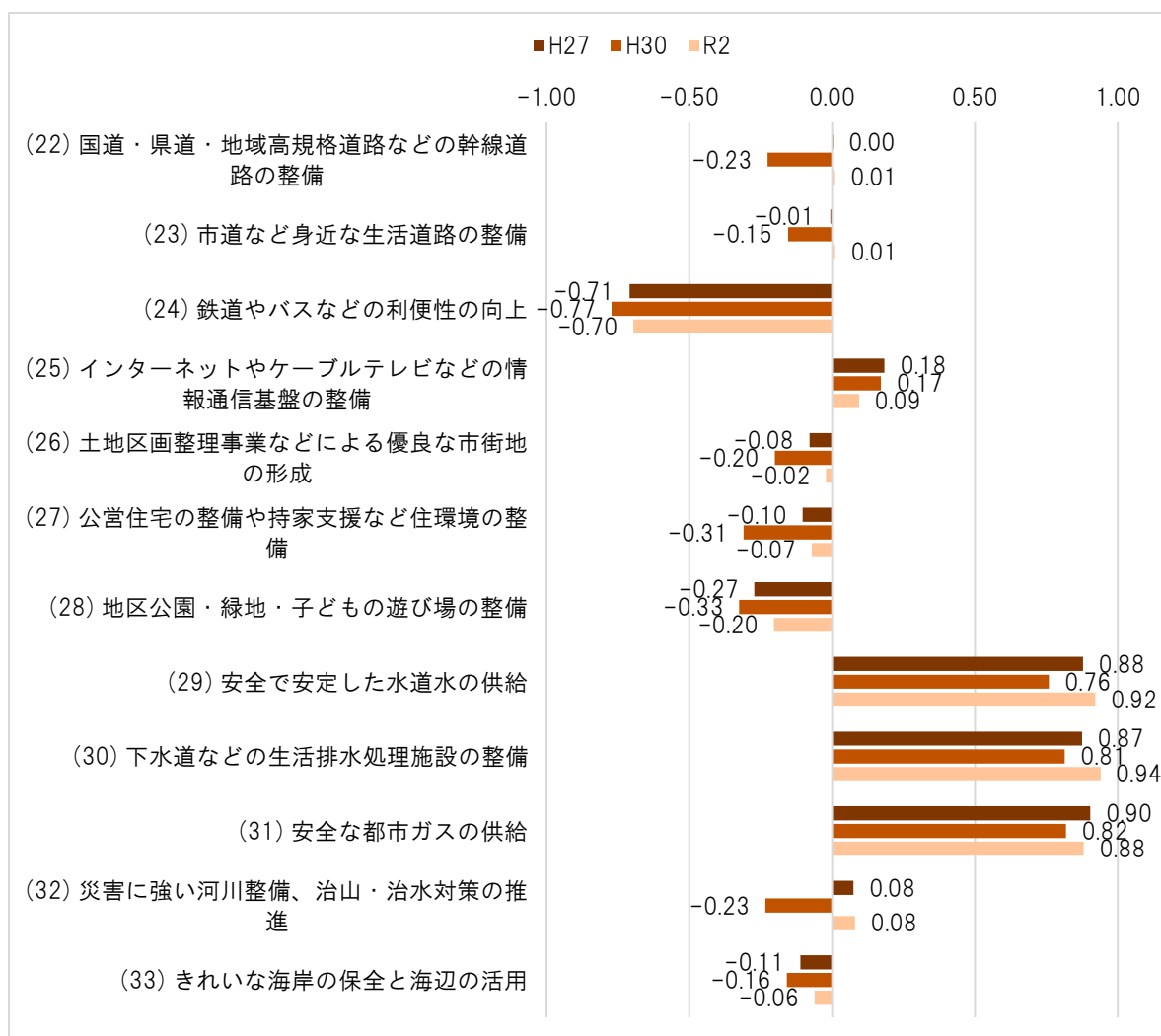
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(28)地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(32)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』だった。これらは、満足度も高かった。
- 一方で、満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』だった。

生活基盤分野

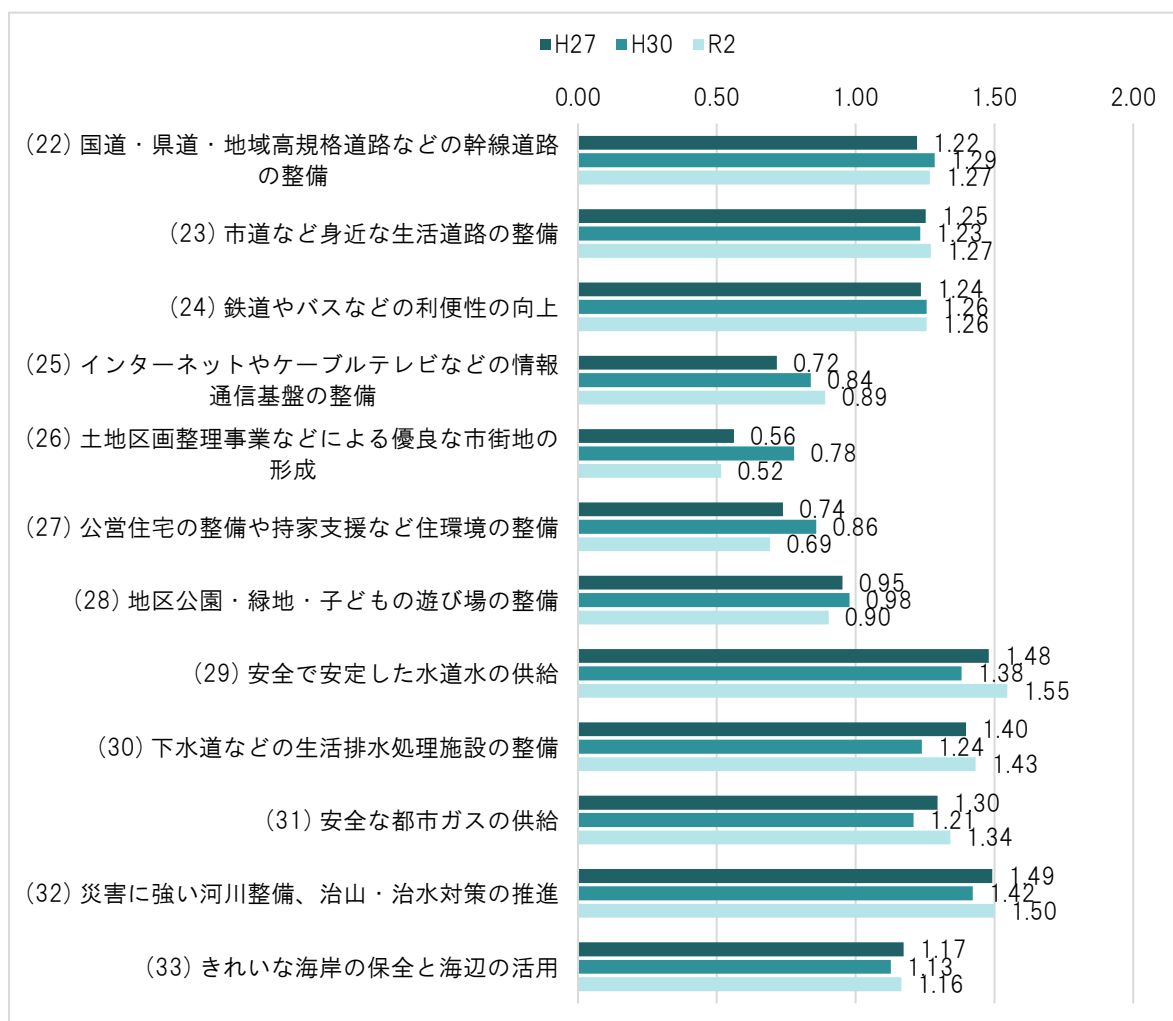
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備』、『(23) 市道など身近な生活道路の整備』、『(26) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成』、『(27) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備』、『(29) 安全で安定した水道水の供給』、『(30) 下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』などは満足度が上昇・改善した。
- 『(25) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』のみ、満足度が 0.08 ポイント低下した。

生活基盤分野

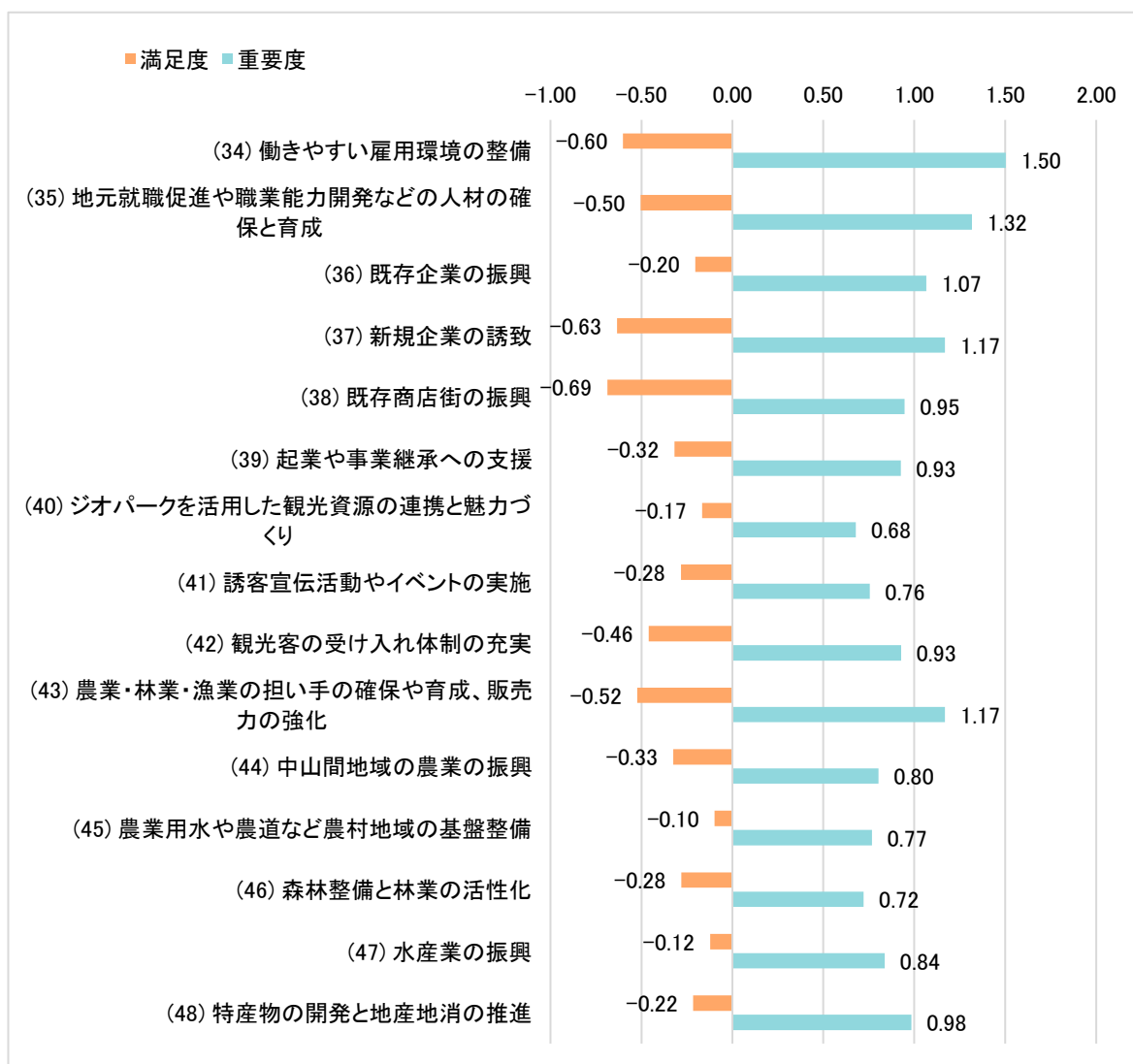
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは増加傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。
- 『(26)土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成』については、重要度が0.26ポイントと大きく低下した。

(4) 産業分野

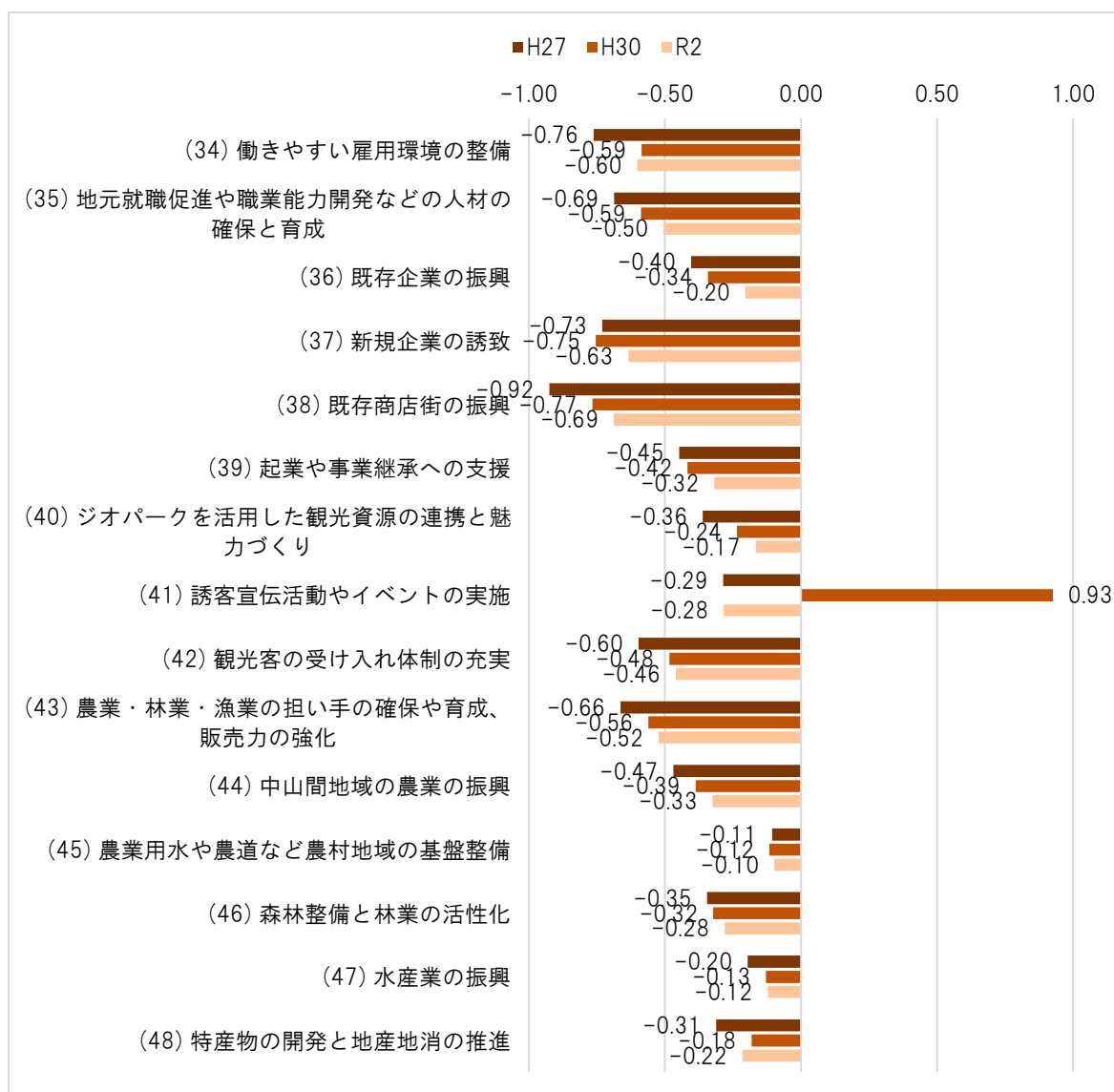
①満足度・重要度



- 満足度は、全体的にマイナスだった。
- 満足度が大きくマイナスとなった項目は、『(38) 既存商店街の振興』、『(37) 新規企業の誘致』、『(34) 働きやすい雇用環境の整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(34) 働きやすい雇用環境の整備』、『(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(34) 働きやすい雇用環境の整備』など多くあった。

産業分野

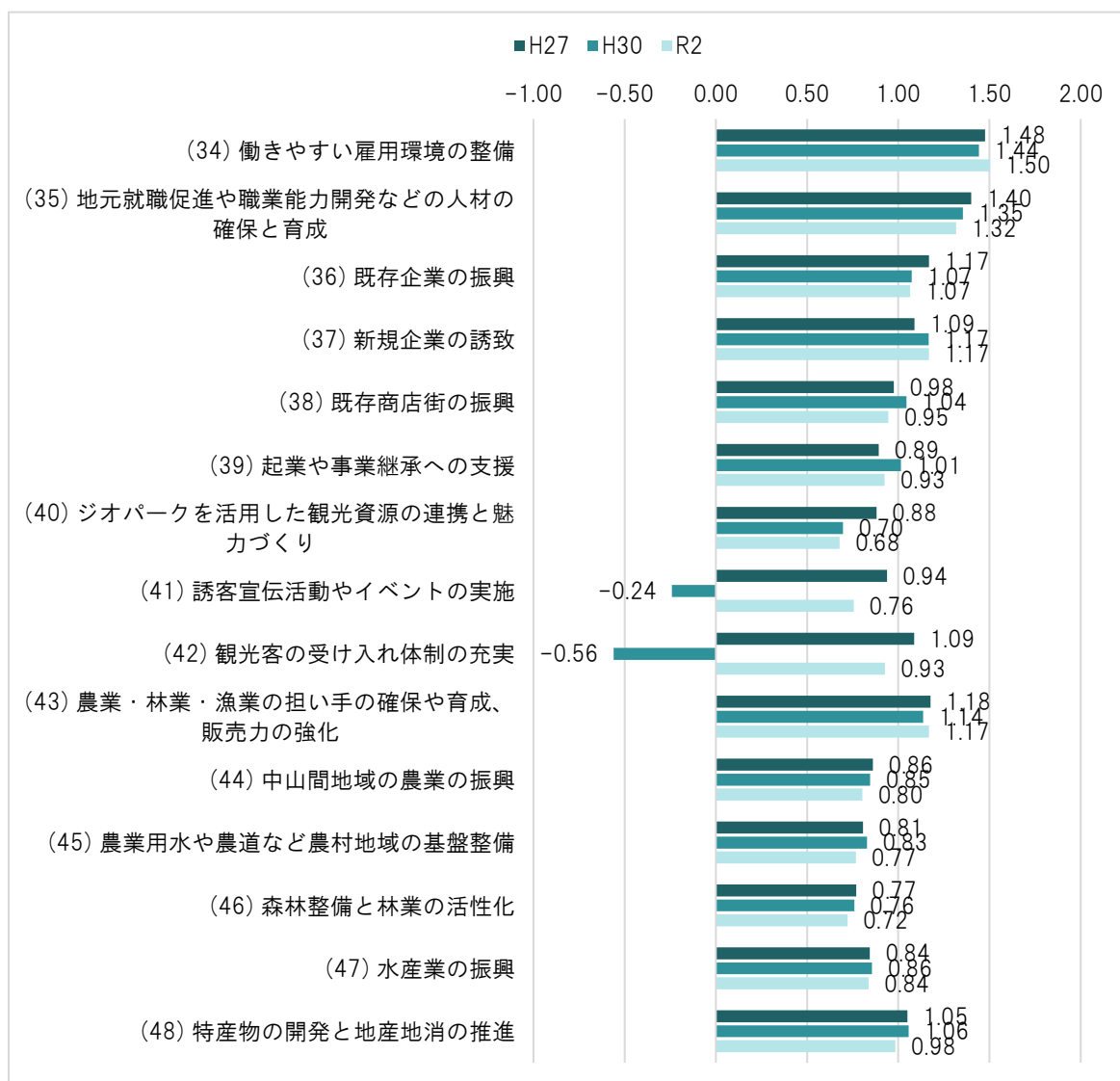
②過去の調査との比較＜満足度＞



- ほとんどの項目で満足度が上昇・改善した。
- 『(41)誘客宣伝活動やイベントの実施』は、満足度が1.21ポイントと大幅に低下した。ただし、前回調査の結果が異例の満足度の高さを示していたため、前々回の水準に戻ったとも考えられる。

産業分野

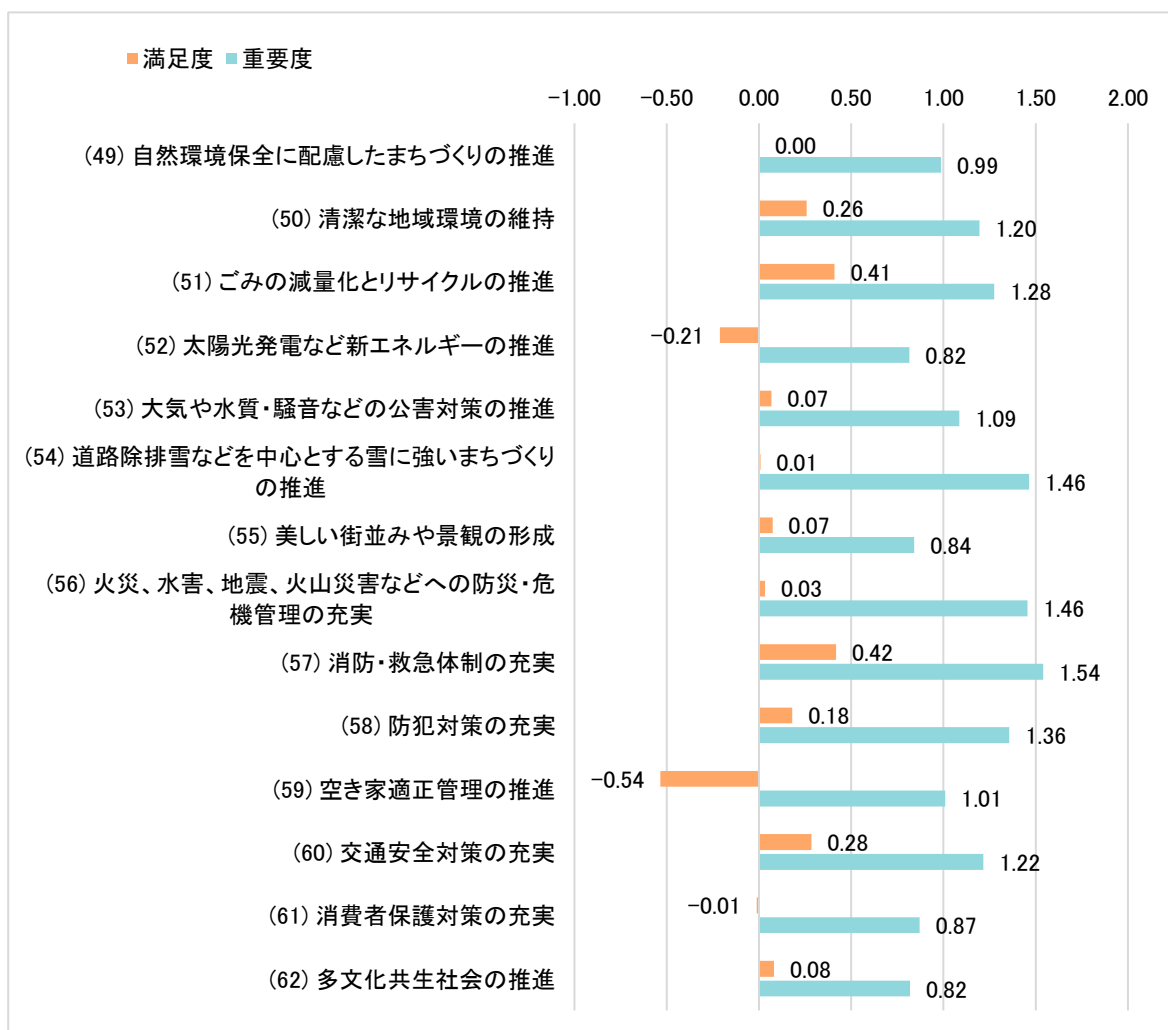
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは減少傾向にあるが、全体としては大きな変化は見られない。
- 『(42)観光客の受け入れ体制の充実』、『(41)誘客宣伝活動やイベントの実施』については、重要度のポイントが大きく上昇した。ただし、これは前々回の調査の水準に近い値まで戻ったに過ぎないとも考えられる。

(5) 生活環境分野

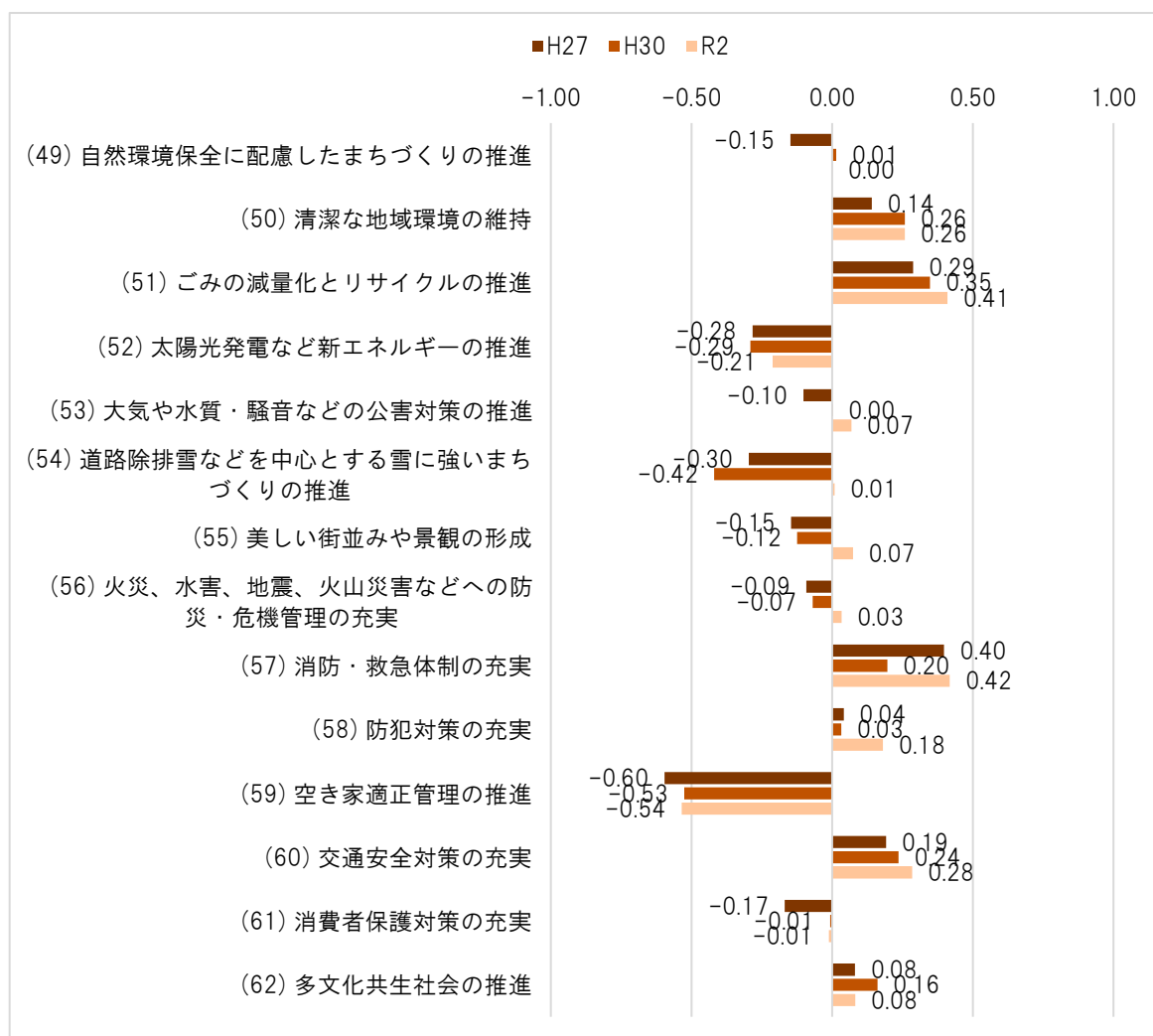
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(59) 空き家適正管理の推進』、『(52) 太陽光発電など新エネルギーの推進』だった。
- 重要度が高かったのは、『(57) 消防・救急体制の充実』、『(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(58) 防犯対策の充実』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(59) 空き家適正管理の推進』だった。

生活環境分野

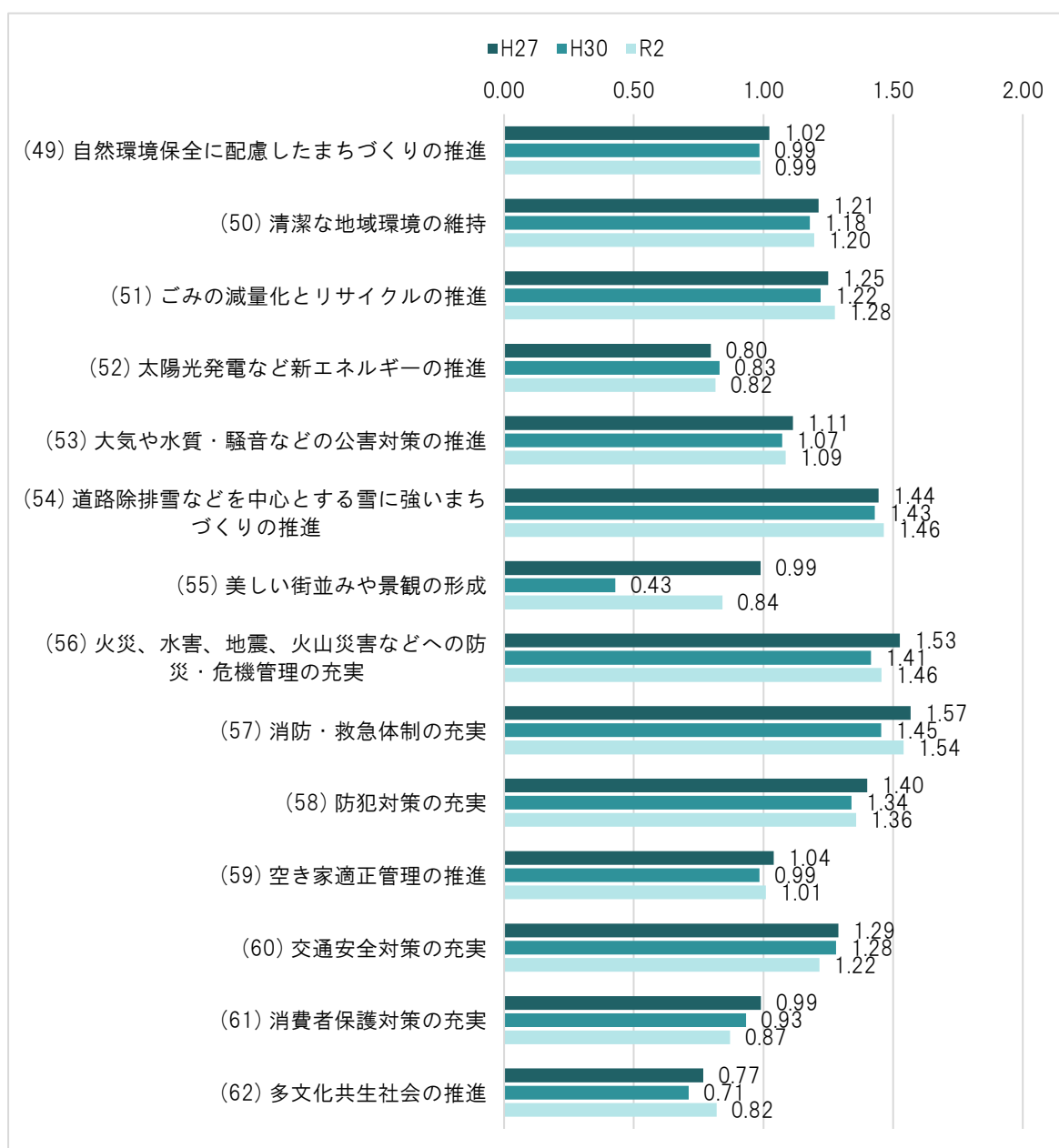
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(54)道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(55)美しい街並みや景観の形成』、『(57)消防・救急体制の充実』、『(58)防犯対策の充実』、『(51)ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(52)太陽光発電など新エネルギーの推進』、『(53)大気や水質・騒音などの公害対策の推進』などは満足度が上昇・改善した。
- 『(62)多文化共生社会の推進』では、満足度が低下した。

生活環境分野

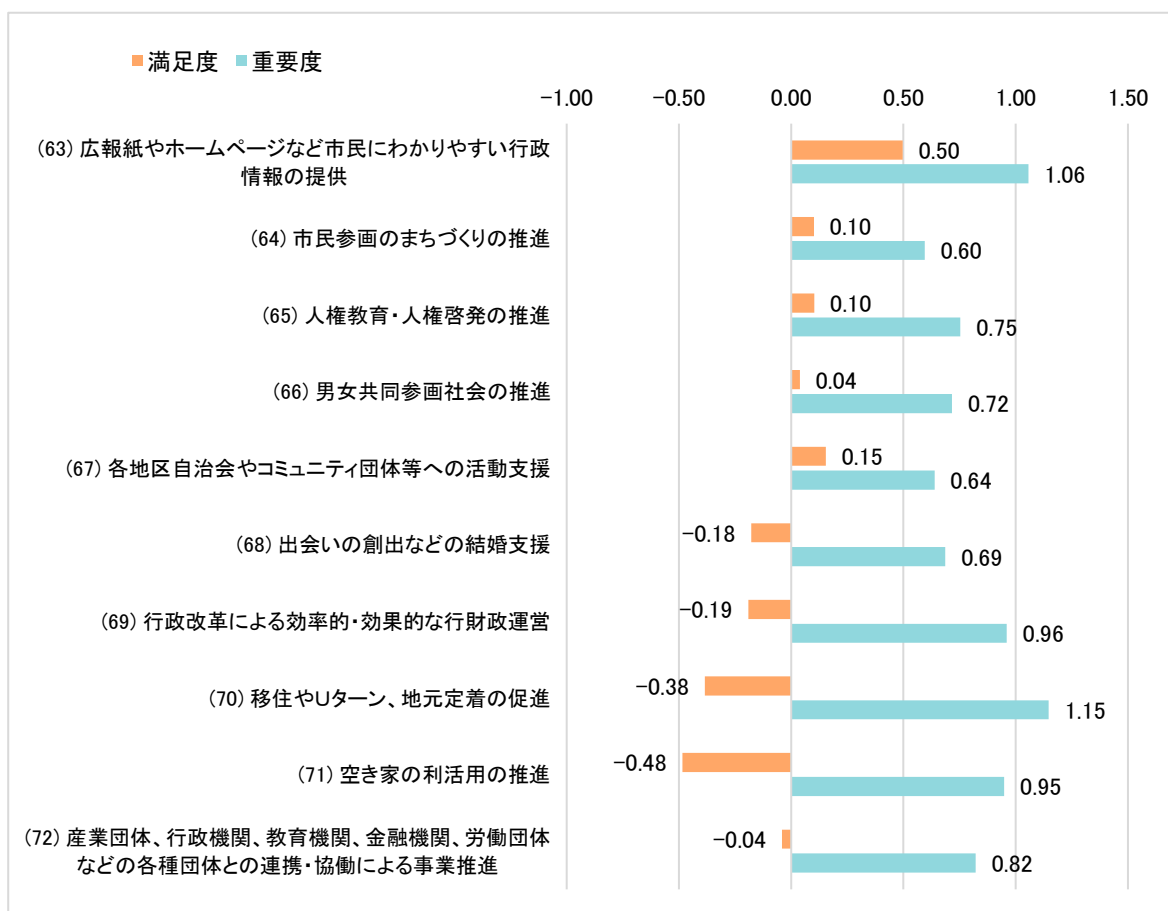
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントはどちらかというと増加傾向にあるが、全体としては大きな変化は見られない。
- 『(55)美しい街並みや景観の形成』については、重要度が前回と比べ0.41ポイントと大きく上昇した。

(6) 地域づくり・自治分野

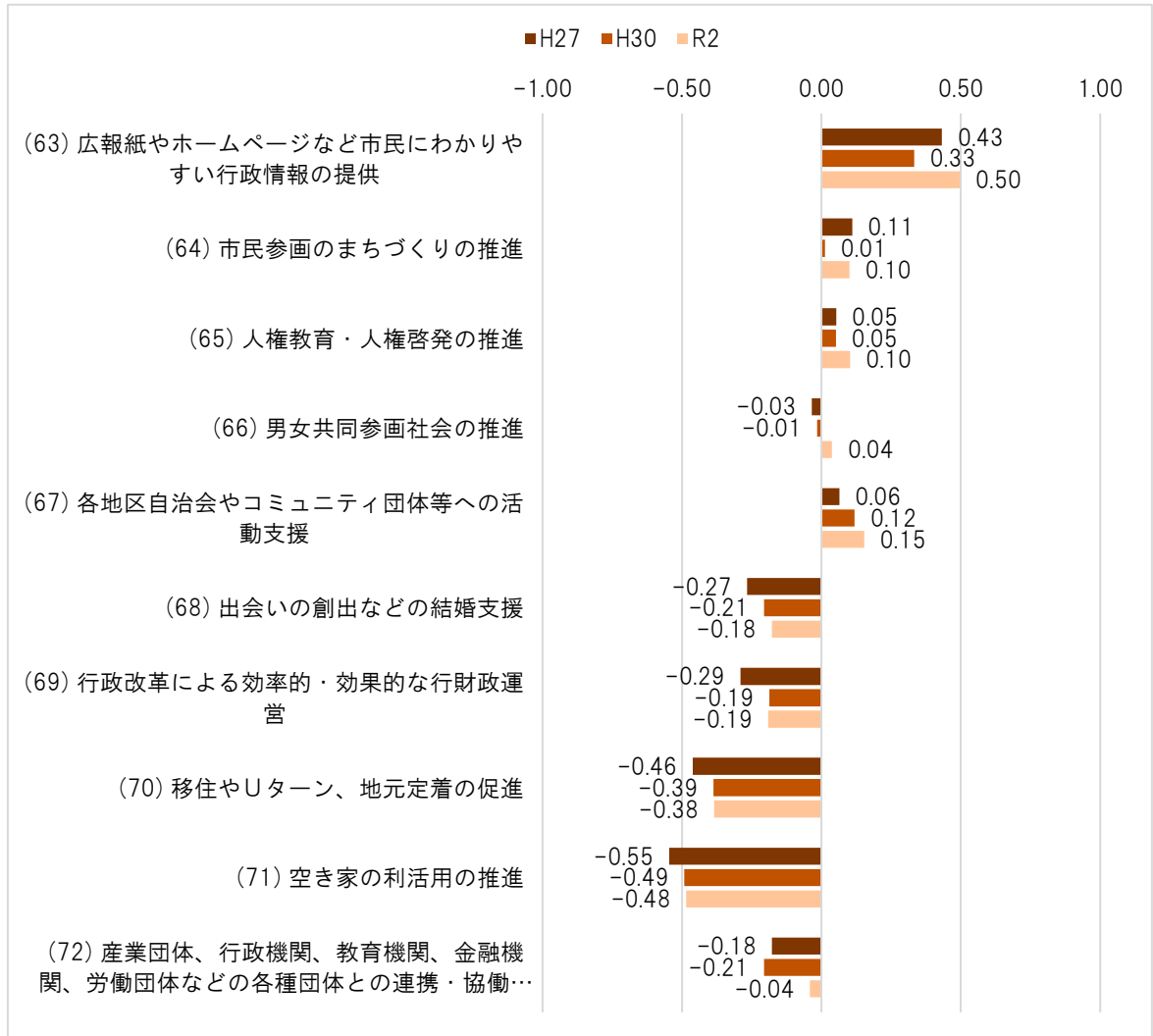
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(71) 空き家の利活用の推進』、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』、『(69) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営』、『(68) 出会いの創出などの結婚支援』だった。
- 重要度が高かったのは、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』、『(63) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』だった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は、『(71) 空き家の利活用の推進』、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』だった。

地域づくり・自治分野

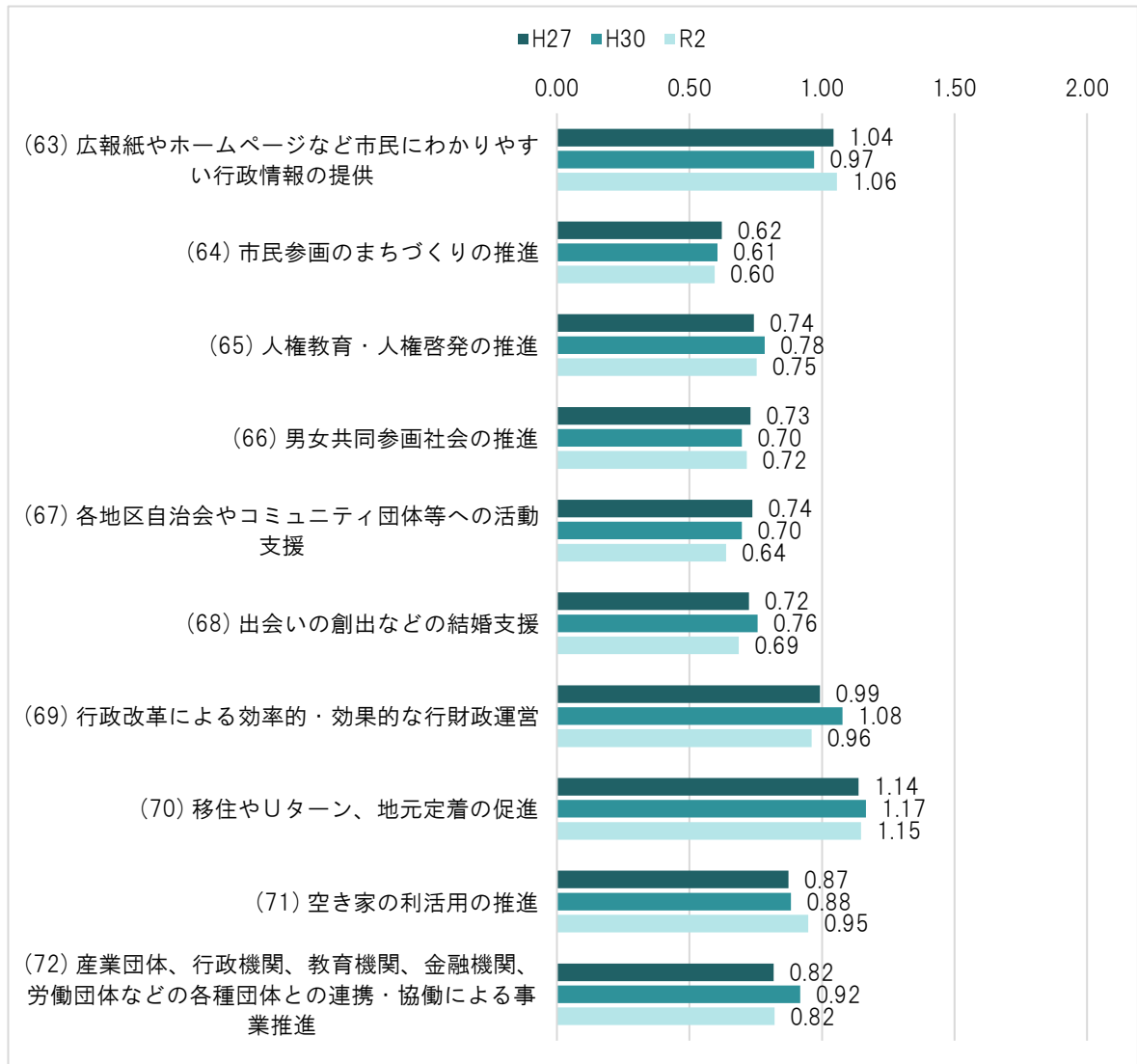
②過去の調査との比較<満足度>



- すべての項目で、満足度が上昇・改善した。

地域づくり・自治分野

③過去の調査との比較<重要度>



- 多くの項目がほとんど横ばいであり、大きな変化は見られない。

6 ニーズ度による分析

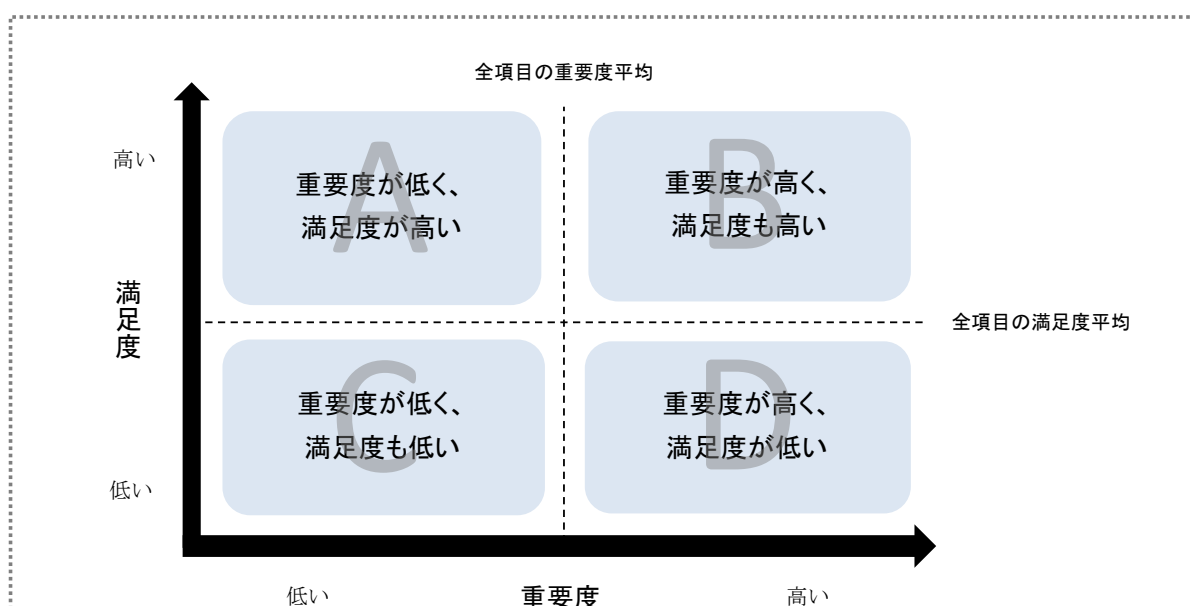
重要度から満足度を引くことによってニーズ度とした。その差が大きいものほどニーズが高いと考えられる。

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度	前回順位
1	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.58	-0.77	2.35	1
2	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.50	-0.60	2.10	5
3	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.26	-0.70	1.95	4
4	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.58	-0.34	1.91	2
5	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.32	-0.50	1.82	6
6	(37) 新規企業の誘致	1.17	-0.63	1.80	7
7	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.40	-0.31	1.71	3
8	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.17	-0.52	1.69	10
9	(38) 既存商店街の振興	0.95	-0.69	1.63	9
10	(59) 空き家適正管理の推進	1.01	-0.54	1.54	16
11	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.15	-0.38	1.53	15
12	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.20	-0.30	1.50	18
13	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.46	0.01	1.46	8
14	(71) 空き家の利活用の推進	0.95	-0.48	1.43	22
15	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.19	-0.23	1.42	12
16	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.46	0.03	1.42	17
17	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.50	0.08	1.42	11
18	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.93	-0.46	1.39	75
19	(36) 既存企業の振興	1.07	-0.20	1.27	21
20	(23) 市道など身近な生活道路の整備	1.27	0.01	1.26	20
21	(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.27	0.01	1.26	14
22	(39) 起業や事業継承への支援	0.93	-0.32	1.24	19
23	(33) きれいな海岸の保全と海辺の活用	1.16	-0.06	1.23	26
24	(48) 特産物の開発と地産地消の推進	0.98	-0.22	1.20	31
25	(58) 防犯対策の充実	1.36	0.18	1.18	25
26	(5) 障害のある人の自立・社会参加の支援と施設整備	1.08	-0.09	1.17	27
27	(69) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営	0.96	-0.19	1.15	29
28	(17) 小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実	1.28	0.13	1.14	34
29	(1) 在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実	1.38	0.24	1.14	13
30	(44) 中山間地域の農業の振興	0.80	-0.33	1.13	30
31	(57) 消防・救急体制の充実	1.54	0.42	1.12	28
32	(9) 自殺予防対策の推進	1.01	-0.10	1.11	41
33	(28) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	0.90	-0.20	1.11	23
34	(41) 誘客宣伝活動やイベントの実施	0.76	-0.28	1.04	76
35	(52) 太陽光発電など新エネルギーの推進	0.82	-0.21	1.03	35
36	(7) 疾病予防及び各種健診事業の充実	1.22	0.20	1.02	44

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度	前回順位
37	(53) 大気や水質・騒音などの公害対策の推進	1.09	0.07	1.02	37
	(12) 3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実				42
38		1.15	0.14	1.01	
39	(46) 森林整備と林業の活性化	0.72	-0.28	1.00	38
40	(49) 自然環境保全に配慮したまちづくりの推進	0.99	0.00	0.99	50
41	(8) 健康づくり・介護予防の充実	1.12	0.15	0.97	53
	(3) 高齢者の社会参加など、いきがづくり対策の推進				33
42		0.97	0.00	0.97	
43	(47) 水産業の振興	0.84	-0.12	0.96	46
44	(50) 清潔な地域環境の維持	1.20	0.26	0.94	54
45	(16) 学校教育施設の整備・充実	1.16	0.22	0.94	43
46	(60) 交通安全対策の充実	1.22	0.28	0.93	40
47	(4) 地域福祉を支える市民ボランティア活動への支援	0.88	-0.03	0.91	45
48	(61) 消費者保護対策の充実	0.87	-0.01	0.88	48
49	(45) 農業用水や農道など農村地域の基盤整備	0.77	-0.10	0.87	49
50	(51) ごみの減量化とリサイクルの推進	1.28	0.41	0.87	55
51	(68) 出会いの創出などの結婚支援	0.69	-0.18	0.86	51
	(72) 産業団体、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体などの各種団体との連携・協働による事業推進				36
52		0.82	-0.04	0.86	
	(40) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり				52
53		0.68	-0.17	0.84	
54	(15) 保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実	1.10	0.26	0.84	58
55	(14) 保育園、幼稚園施設の整備・充実	1.10	0.29	0.81	57
	(25) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備				63
56		0.89	0.09	0.80	
57	(55) 美しい街並みや景観の形成	0.84	0.07	0.77	67
58	(27) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備	0.69	-0.07	0.76	32
59	(18) 地域学習や教養を高める生涯学習の推進	0.89	0.13	0.76	59
60	(62) 多文化共生社会の推進	0.82	0.08	0.74	70
61	(66) 男女共同参画社会の推進	0.72	0.04	0.68	61
62	(65) 人権教育・人権啓発の推進	0.75	0.10	0.65	60
63	(29) 安全で安定した水道水の供給	1.55	0.92	0.63	64
64	(20) 文化財の保存活用と継承	0.76	0.19	0.57	71
	(63) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供				65
65		1.06	0.50	0.56	
66	(26) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成	0.52	-0.02	0.54	47
67	(19) 芸術・文化活動の振興	0.66	0.13	0.53	72
68	(64) 市民参画のまちづくりの推進	0.60	0.10	0.49	66
69	(30) 下水道などの生活排水処理施設の整備	1.43	0.94	0.49	73
70	(67) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援	0.64	0.15	0.48	68
71	(31) 安全な都市ガスの供給	1.34	0.88	0.46	74
72	(21) スポーツ、レクリエーション活動の振興	0.63	0.20	0.43	56
	平均値	1.06	-0.04	1.09	

分析1 重要度と満足度の相関図による分析

重要度と満足度の評価点を用い、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、マトリクス上に示すことで各事業の位置づけを以下のように整理することができる。



Aブロック 重要度低・満足度高

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状水準の維持が求められていると考えられる一方、市民ニーズを上回る行政サービスが提供されていないか点検する必要がある分野。新たな視点での施策推進や拡充を図る必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であり、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。

Bブロック 重要度高・満足度高

重要度・満足度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野。市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も重点施策として安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められています。

Cブロック 重要度低・満足度低

重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野。施策の必要性と方向性、位置づけについて市民への説明や情報提供に努めていくとともに、施策のあり方を見直す必要があると考えられます。

Dブロック 重要度高・満足度低

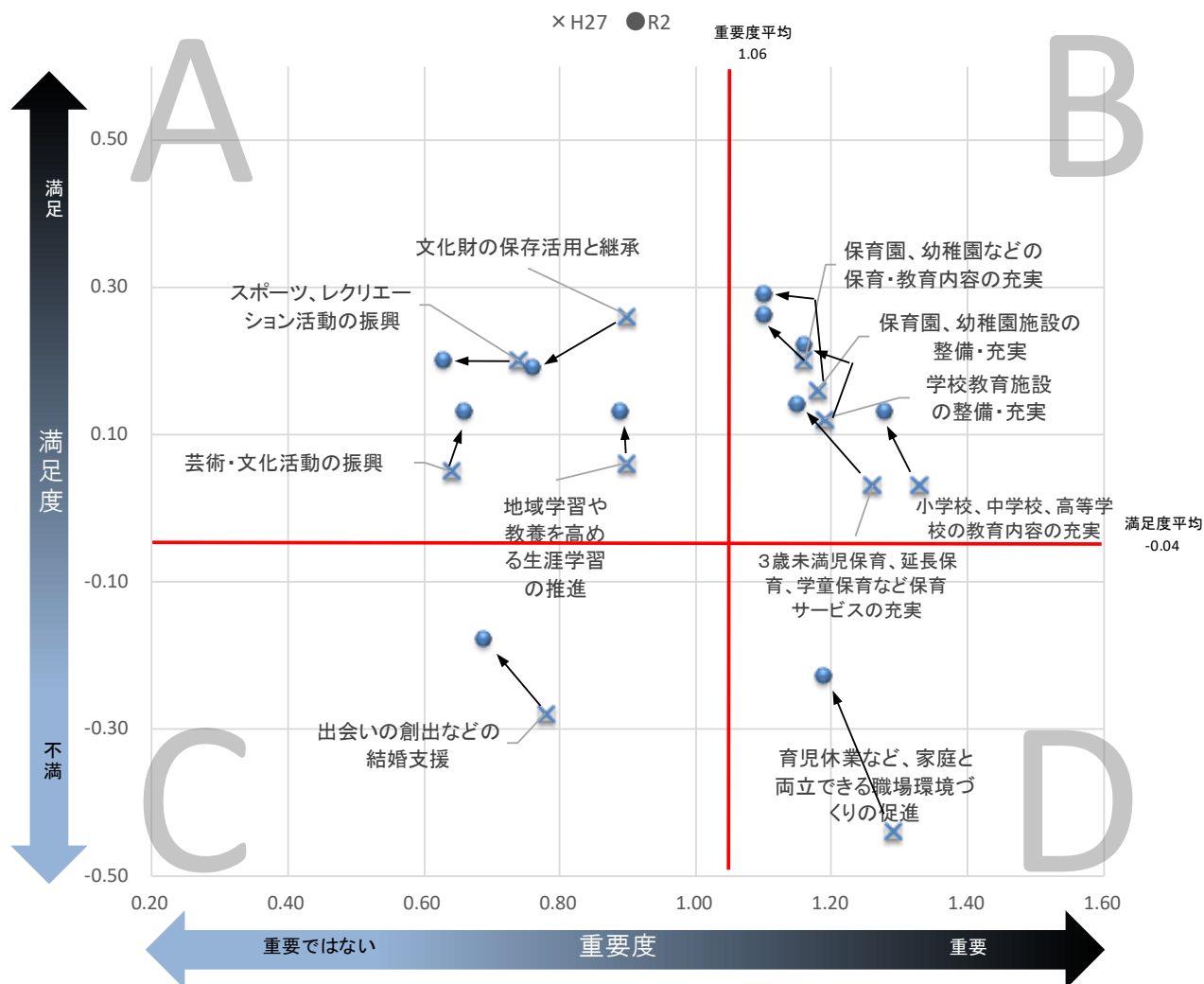
満足度が低い一方、重要が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野。市民ニーズがあるにもかかわらず、期待に応えていないことがうかがえ、満足度の要因の分析とそれに基づく施策の早急な見直しが求められています。

注1) 上記の「高い」、「低い」は重要度・満足度それぞれの平均を基準にしている。

注2) 相関図は、満足度・重要度より施策を相対的に分類し、施策の方向性やあり方を検討する際の参考として活用するものであり、分析結果が施策の順位付けに直結するものではない。

1 子育て支援・教育分野

＜重要度と満足度の相関・前回調査からの推移＞

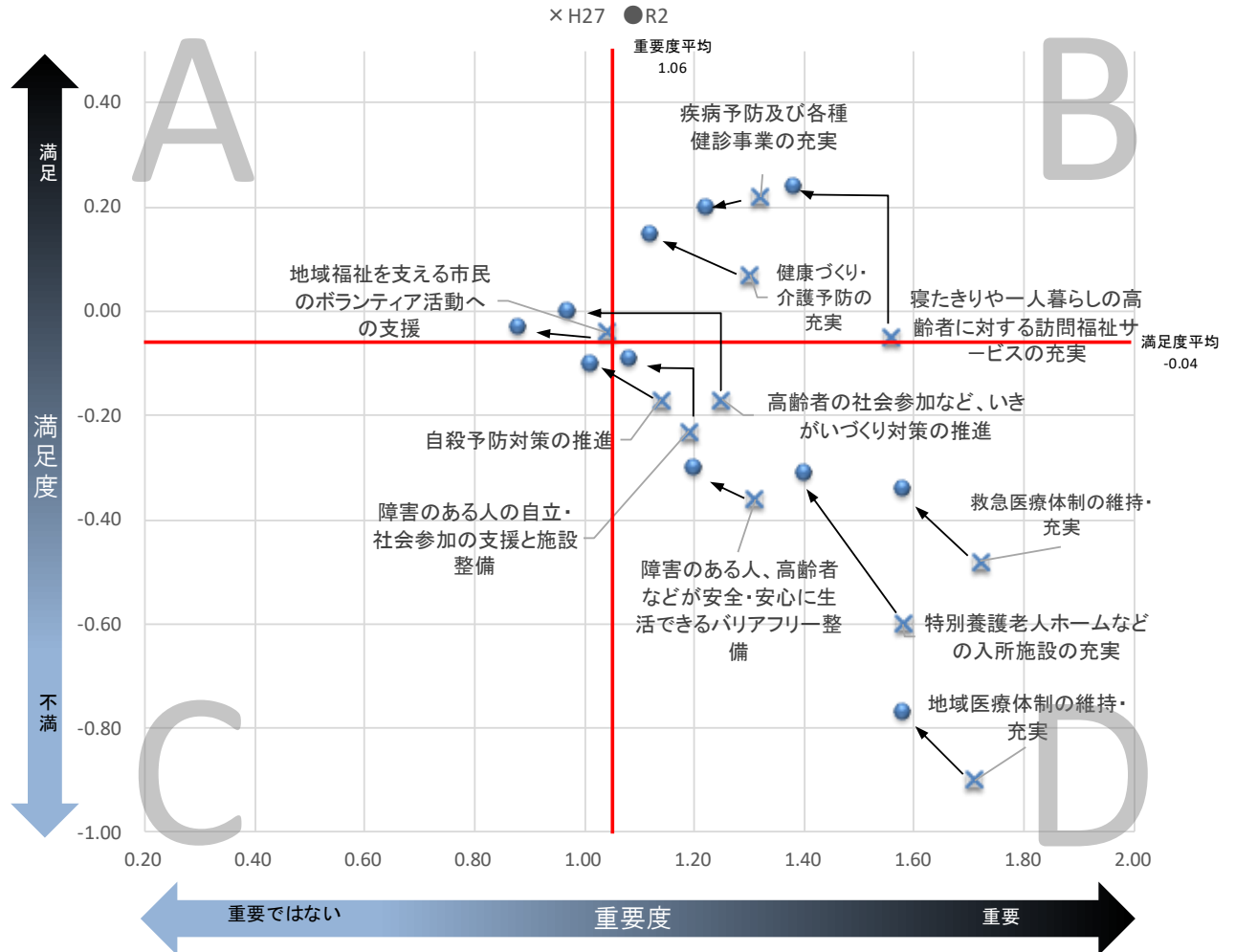


子育て支援・教育分野においては、全分野における満足度の平均を上回る項目が多く、概ね市民の満足度が高い結果となっています。また、前回調査と比較しても、全体的に満足度の向上が見られることから、今後も現在の取組を維持していく必要があります。

一方、『育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』は、前回調査と比較して、満足度は大きく向上していますが、平均よりも低い結果となっており、重要度も高いことから、引き続き重点課題項目として取組を進めていく必要があります。

2 健康福祉分野

＜重要度と満足度の相関・前回調査からの推移＞

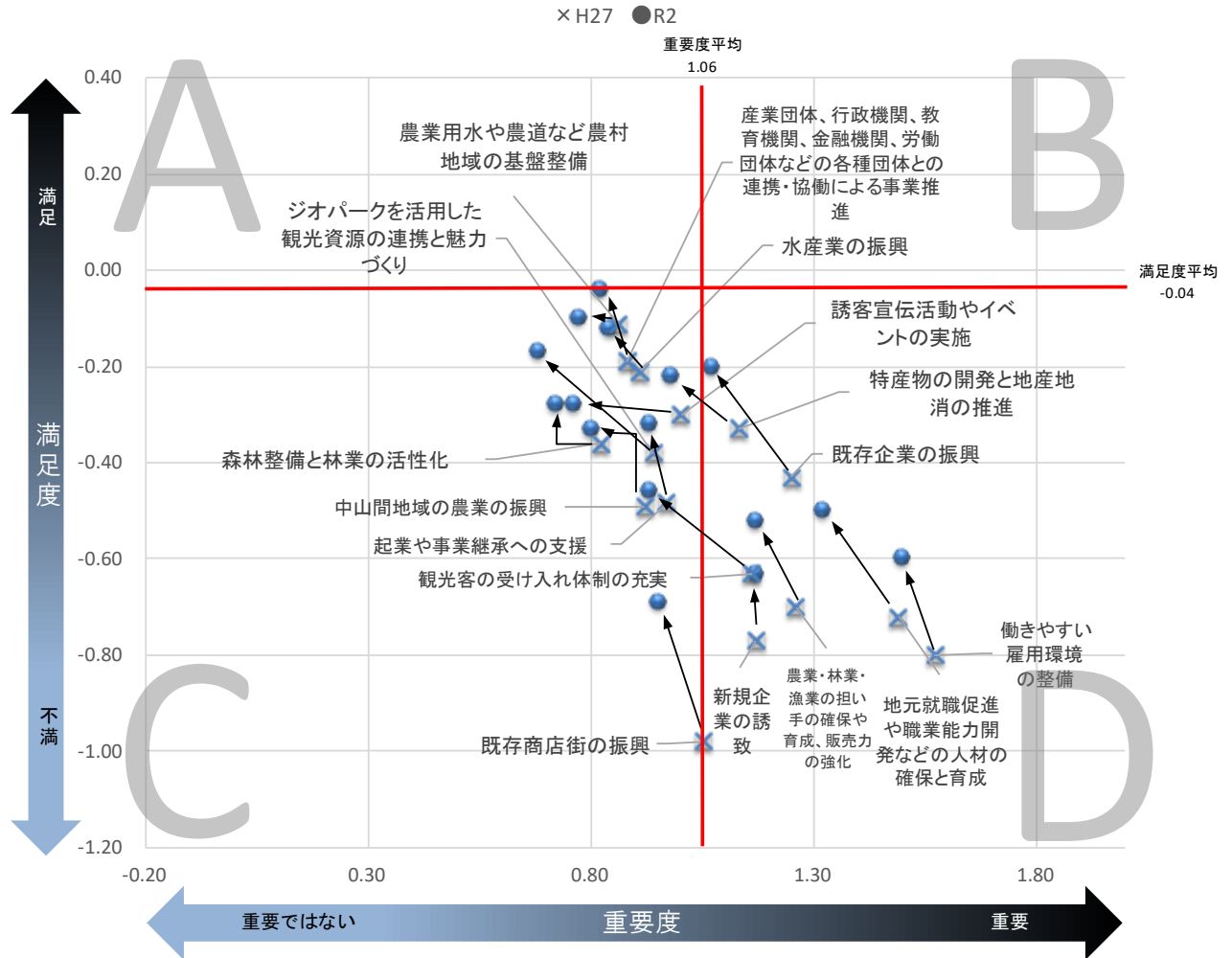


健康福祉分野においては、前回調査と比較して、ほぼすべての項目において、満足度の向上と重要度の低下が見られますが、重要度が全項目の平均を上回るものが多く、健康福祉分野について重要と考える市民が多いことがうかがえます。

また、市民ニーズである重要度が高い一方、満足度が低いDブロックの項目が多くあり、特に『地域医療体制の維持・充実』については、重要度が高いものの、満足度が低いことから、要因の分析とそれに基づく施策の検討が求められています。

3 産業分野

<重要度と満足度の相関・前回調査からの推移>

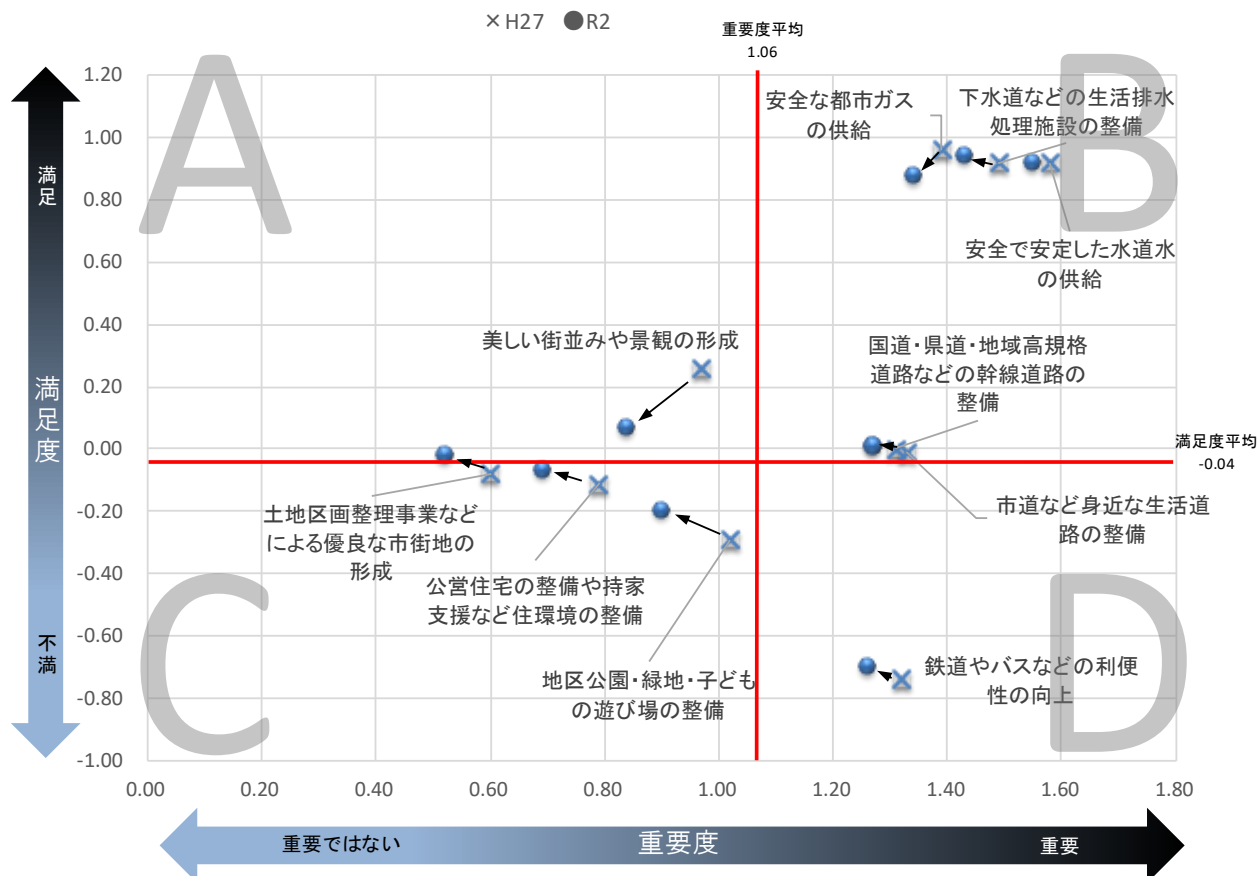


産業分野においては、前回調査と比較して、満足度の向上が見られましたが、すべての項目において満足度が平均を下回っており、産業分野に対する市民の要望が強いことがうかがわれます。

また、『働きやすい雇用環境の整備』や『地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』、『新規企業の誘致』、『農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化』については、市民ニーズである重要度が高いものの、満足度が低いことから、要因の分析とそれに基づく施策の検討が求められています。

4 土地利用・公共インフラ分野

<重要度と満足度の相関・前回調査からの推移>



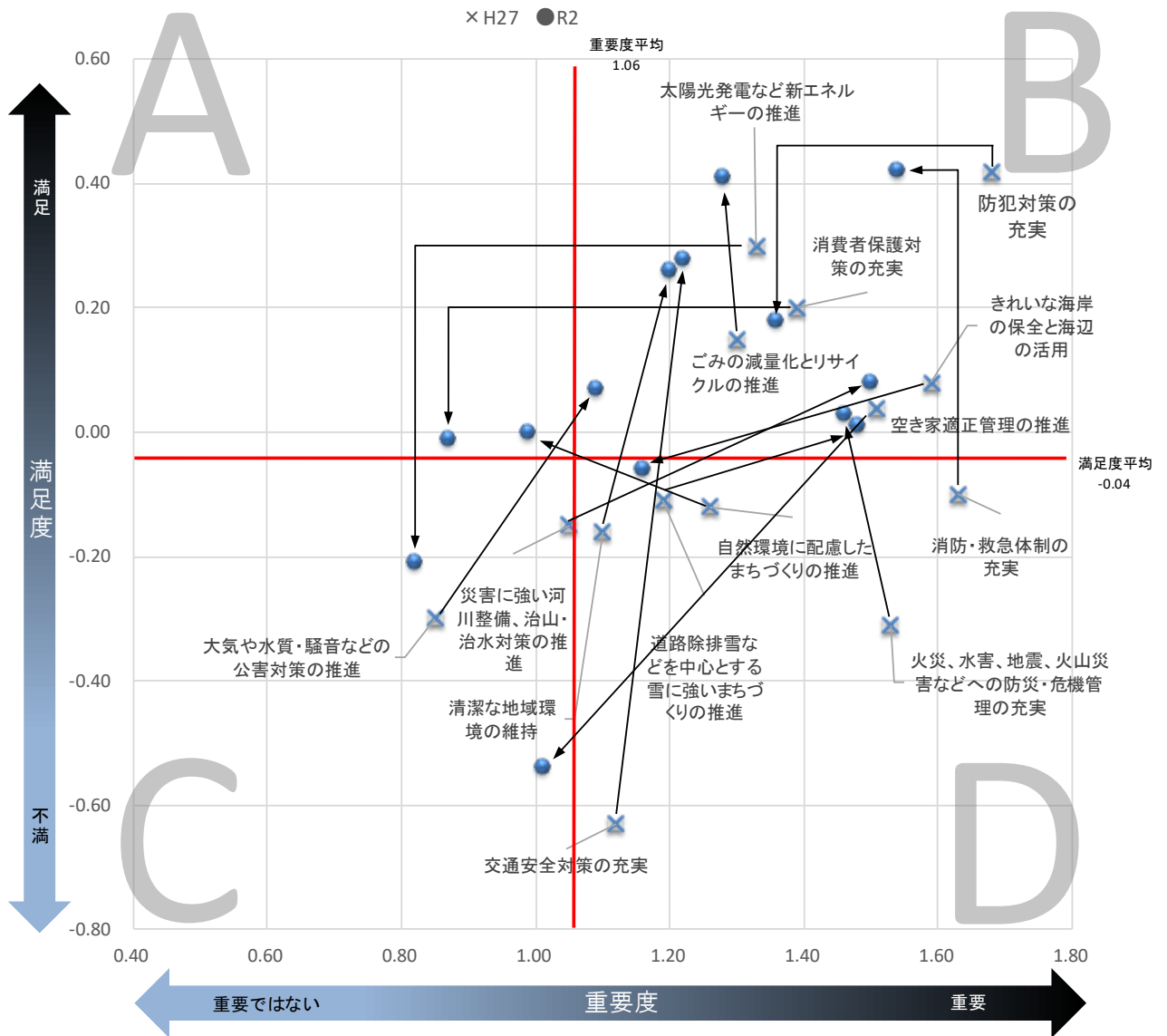
公共インフラ分野においては、ガス、上下水道の供給整備などで、重要度も満足度も平均より高くなっていることから、施策が市民ニーズに即していることがうかがわれ、今後も安定的な維持を継続していく必要があります。

また、それ以外の項目でも、概ね全項目の平均程度の満足度となっており、現状水準の維持が求められています。

一方、『鉄道やバスなどの利便性の向上』については、重要度が高いものの、満足度が低いことから、要因の分析とそれに基づく施策の検討が求められています。

5 環境・防災・防犯分野

＜重要度と満足度の相関・前回調査からの推移＞

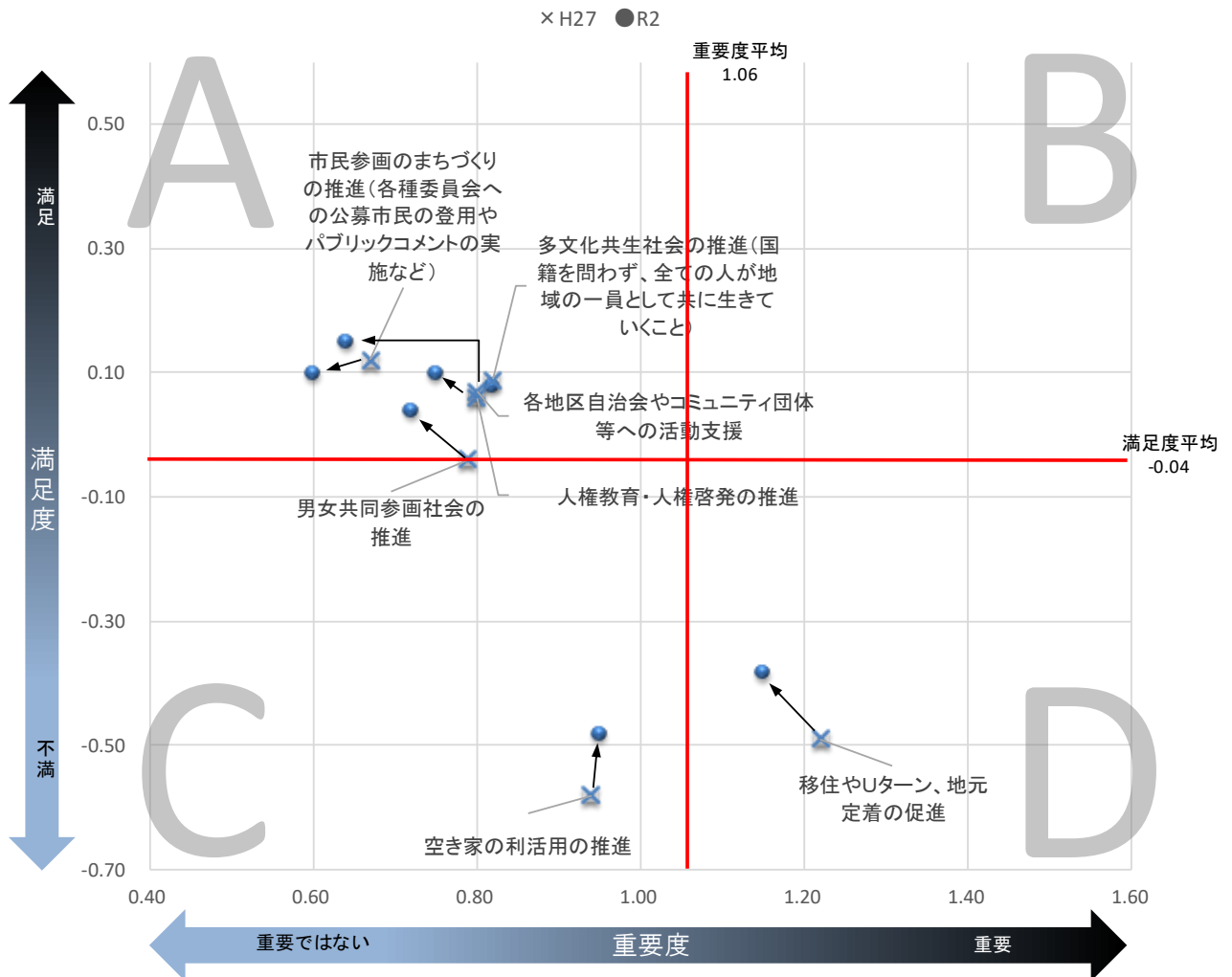


環境・防災・防犯分野については、多くの項目で満足度の上昇が見られ、ほとんどの項目で全項目の平均以上の満足度となっています。引き続き、現状水準の維持が求められています。

一方、『空き家の適正管理の推進』や『太陽光発電など新エネルギーの推進』については、前回調査と比較して、大きく満足度を下げています。地域で空き家が増えつつあり、空き家の存在が目立ってきたことや脱炭素社会に向けた取組への期待から、不満を大きくしたものと考えられます。引き続き満足度の要因の分析とそれに基づく施策の検討を行う必要があります。

6 地域づくり・市民活動・移住定住分野

＜重要度と満足度の相関・前回調査からの推移＞

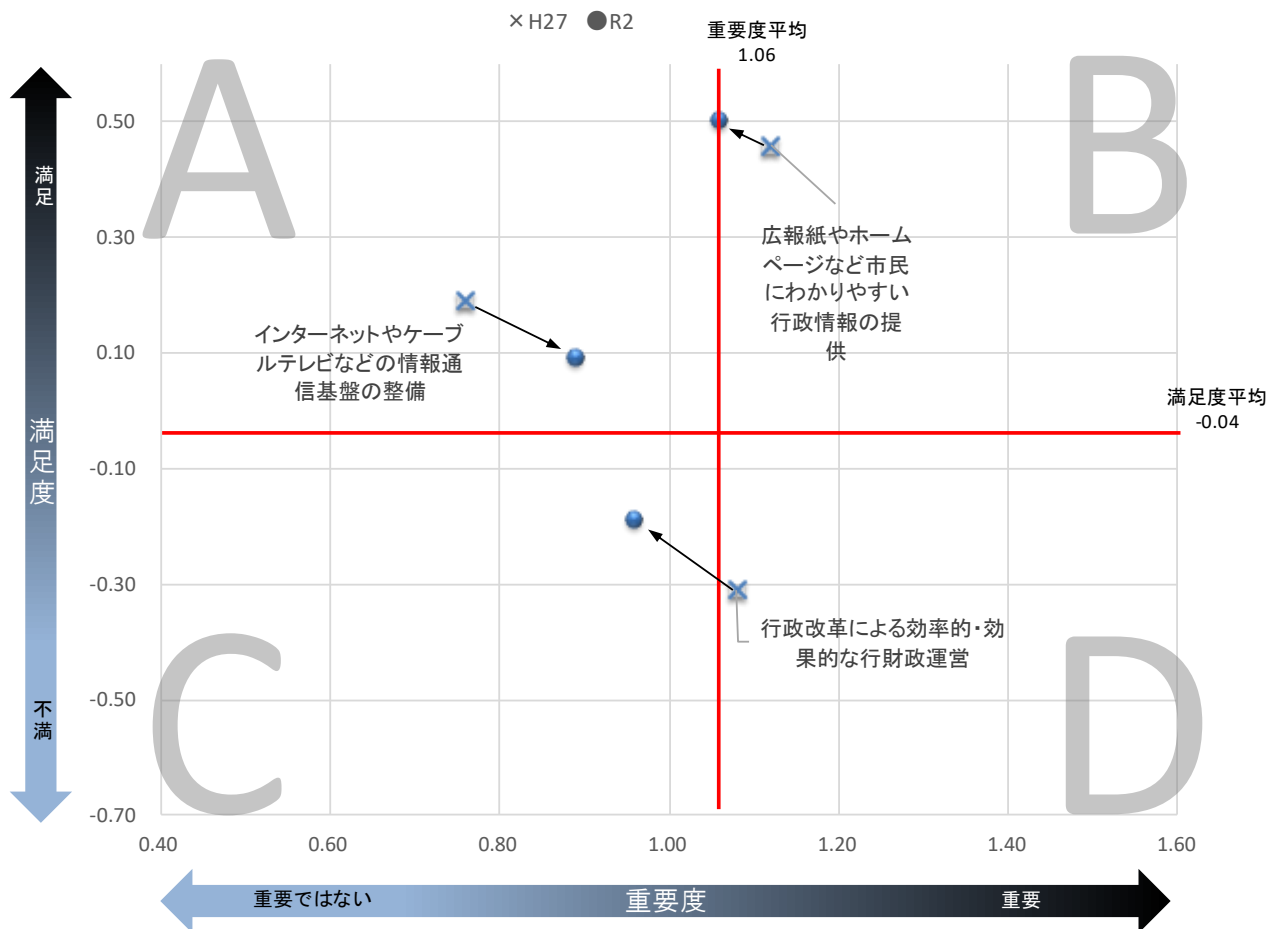


地域づくり・市民活動・移住定住分野においては、多くの項目で満足度の向上が見られますが、重要度が低下している項目も多くあり、この分野に関しては当事者以外、生活への直接的な影響が薄いことが、重要度を低くしているものと考えられます。

一方、『移住やUターン、地元定着の促進』や『空き家の利活用の推進』は、全項目の平均満足度を大きく下回るため、要因の分析とそれに基づく施策の検討を行う必要があります。

7 行財政分野

<重要度と満足度の相関・前回調査からの推移>



行財政分野においては、『広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』、『インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』が、全項目の満足度の平均を上回っています。

前回調査との比較では、『行政改革による効率的・効果的な行財政運営』は、満足度は向上しているものの、平均を下回っていることから、引き続き行財政改革に取り組んでいく必要があります。

また、情報化社会の進展により、『インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』の重要度が向上しています。

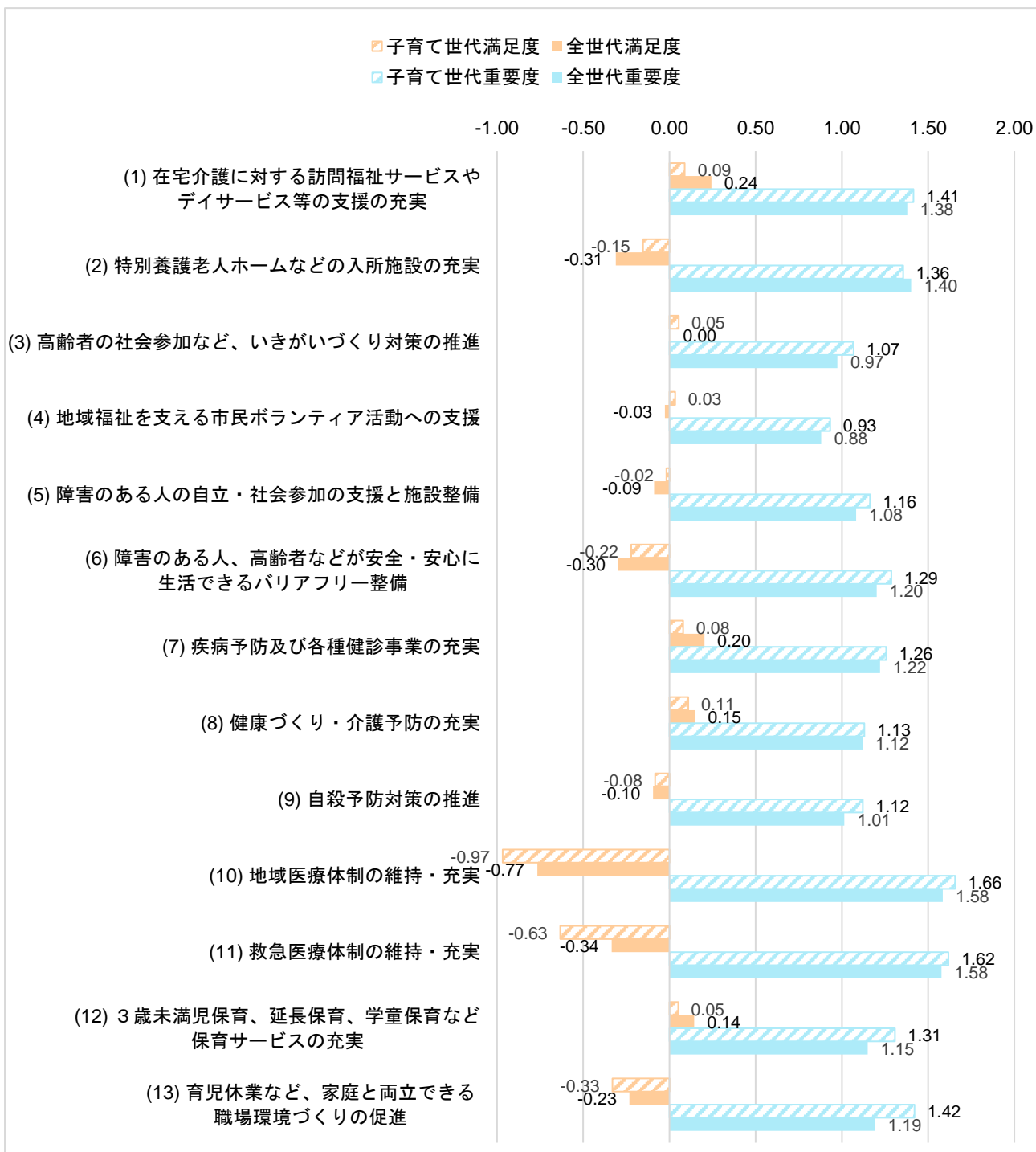
分析2 子育て世代における施策の満足度・重要度

アンケートの有効回答数 1,366 件のうち、子育て世代（20～40 代）が占める割合は、全体の約 25%（338 件）と少ないため、子育て世代の回答を抽出し、施策の満足度と重要度の評価を点数化し、平均スコアにより集計した。

点数の集計は、以下のとおりとし、その平均点の小数点以下第 3 位を四捨五入し、小数点以下第 2 位までを表示している。

「満足している・重要である」	…+ 2
「やや満足している・ある程度重要である」	…+ 1
「わからない」	… 0
「やや不満である・あまり重要でない」	…- 1
「不満である・重要ではない」	…- 2

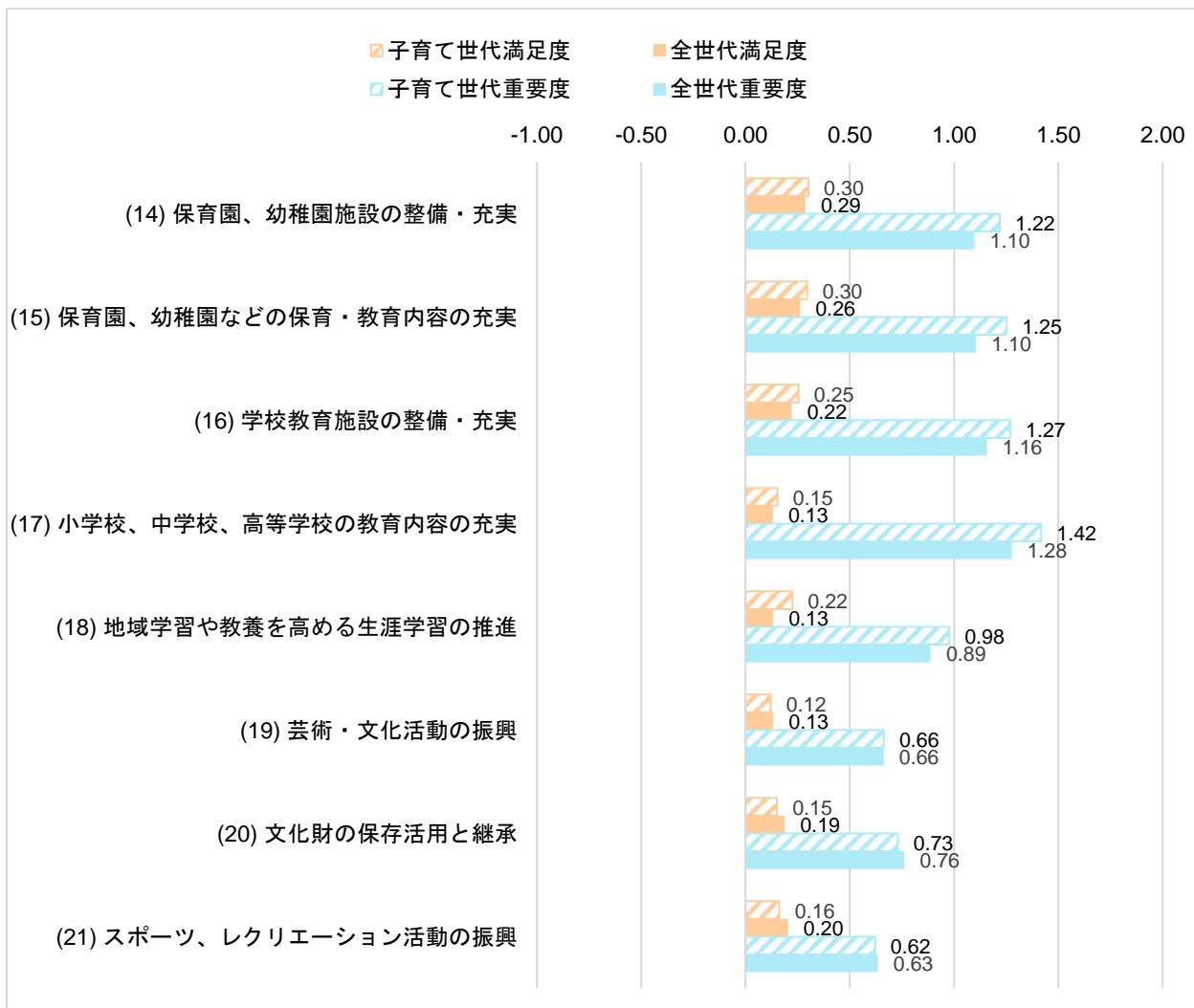
1 健康福祉分野



健康福祉分野においては、『地域医療体制の維持・充実』、『救急医療体制維持・充実』、『3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実』、『育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』といった項目で、全世代の傾向と比べて、子育て世代でのニーズが高まっています。

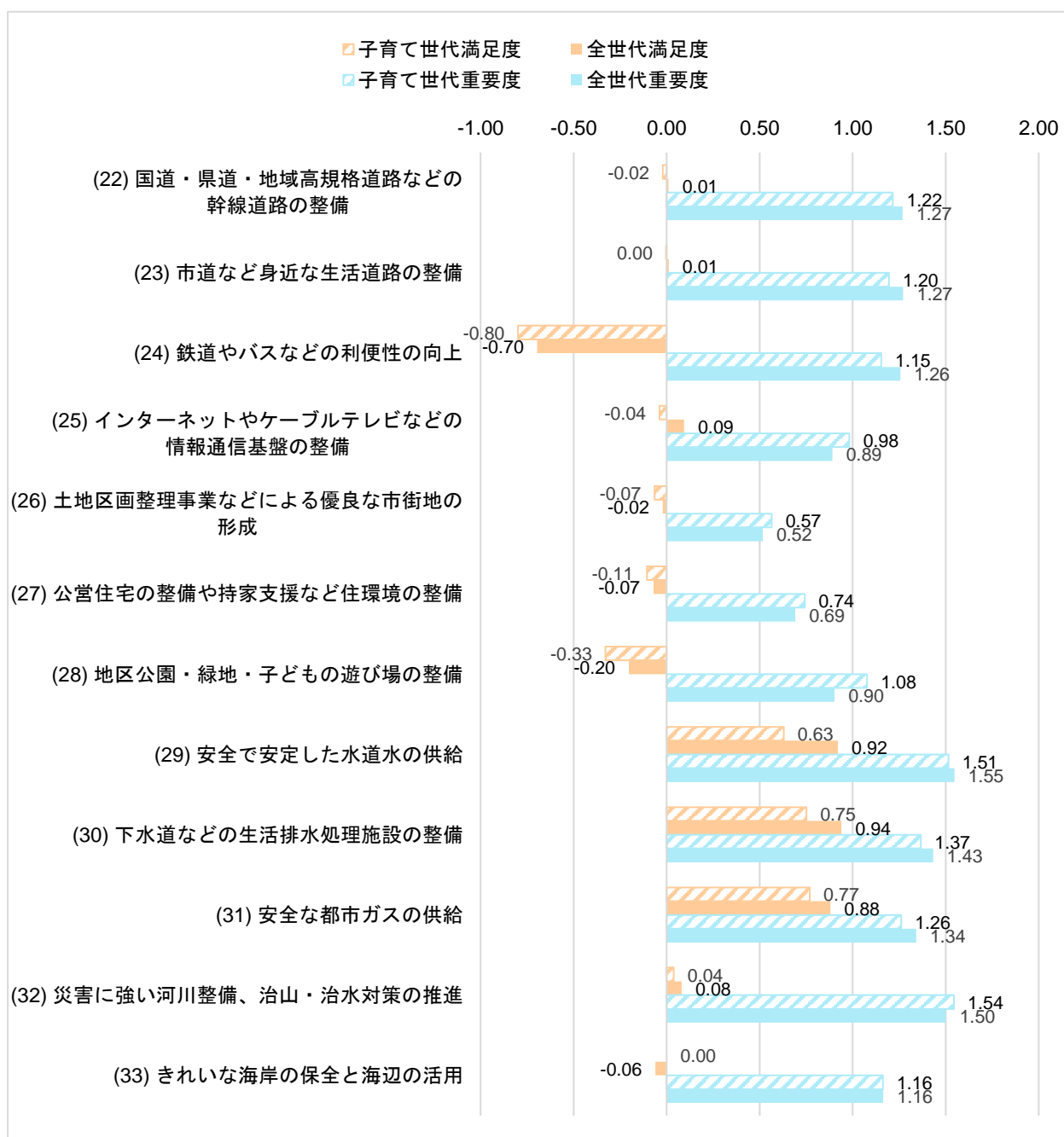
一方、『特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』は、子育て世代でのニーズが低くなっています。

2 教育分野



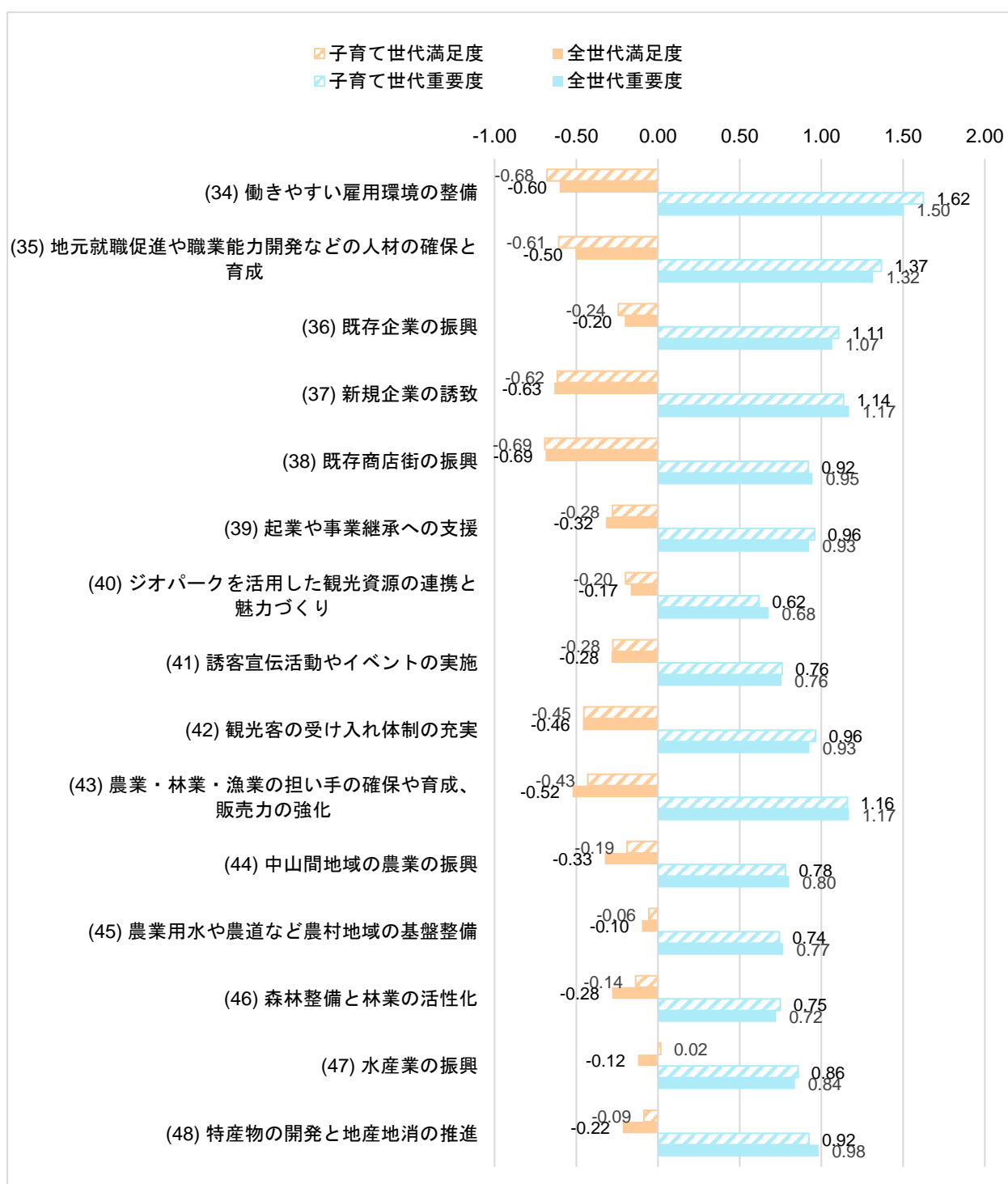
教育分野においては、ほぼすべての項目において、重要度も満足度も子育て世代で高い結果となっています。実際子育てを行っている世代のため、重要度は高い傾向となっていますが、取組が評価され、満足度も高い結果となったものと考えられます。

3 生活基盤分野



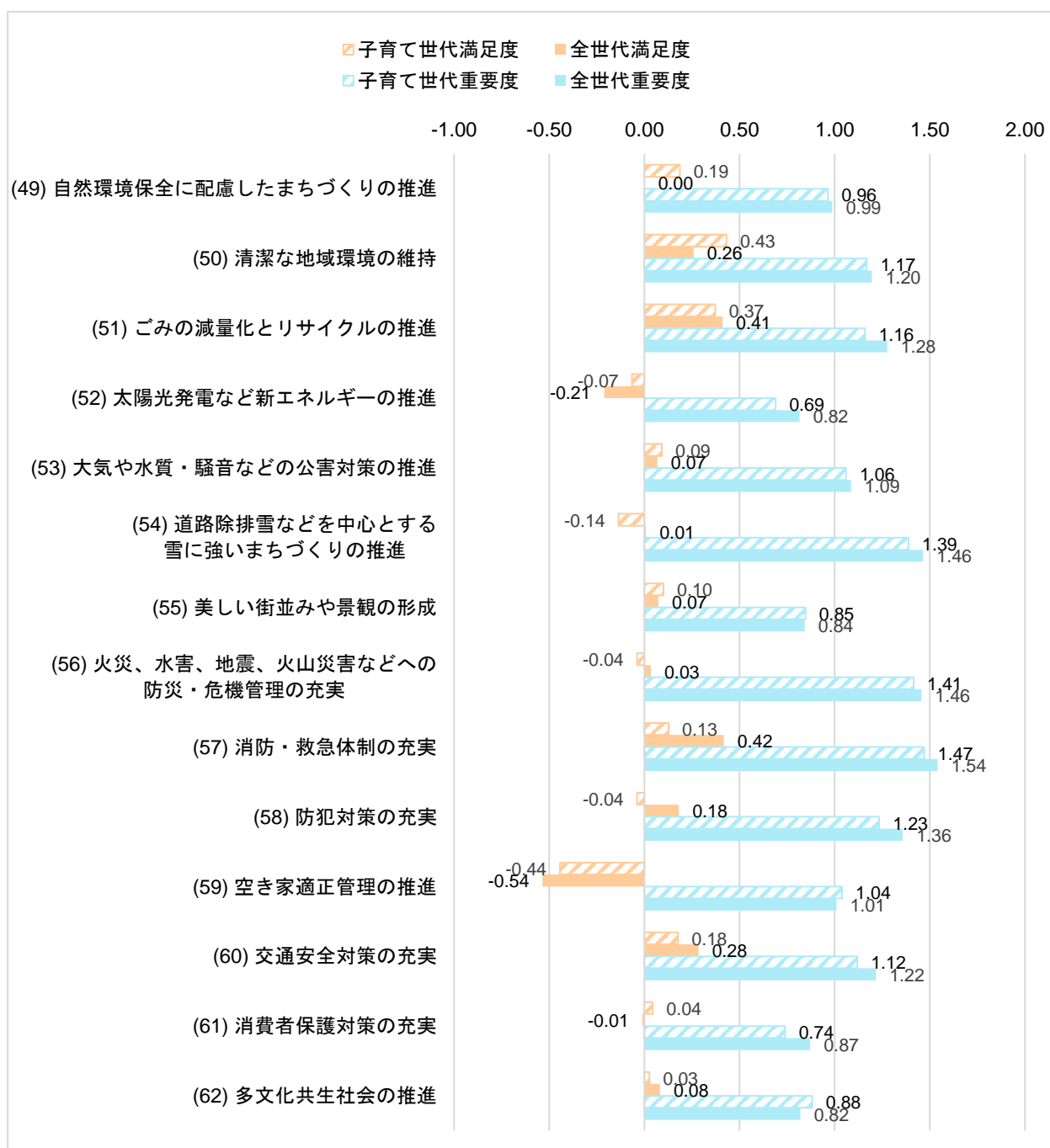
生活基盤分野においては、『インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』、『地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』、『安全で安定した水道水の供給』といった項目で、全世代の傾向と比べて、子育て世代でのニーズが高まっています。

4 産業分野



産業分野においては、『働きやすい雇用環境の整備』、『地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』、『既存企業の振興』といった項目で、全世代の傾向と比べて、子育て世代でのニーズが高まっています。

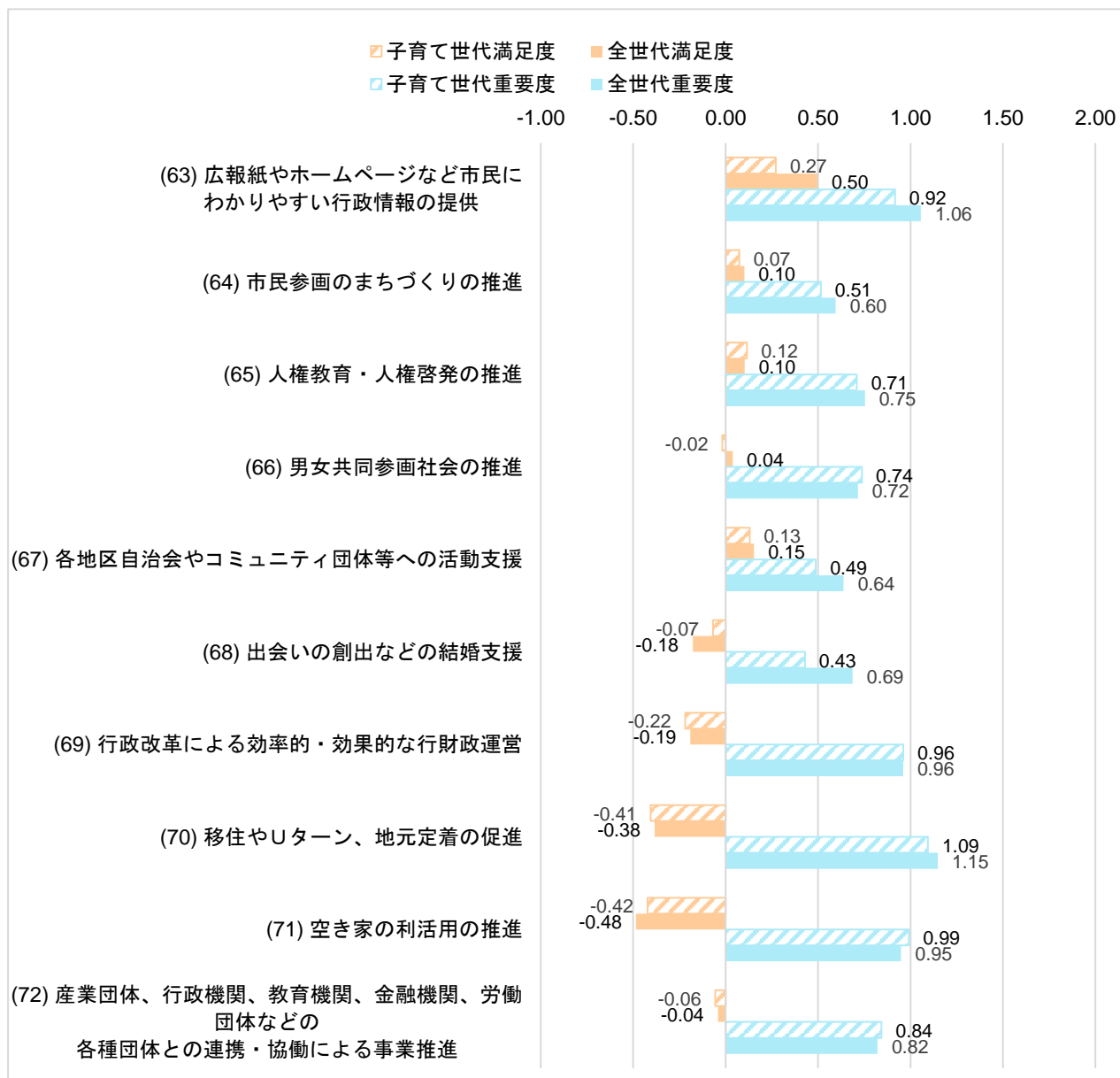
5 生活環境分野



生活環境分野においては、『消防・救急体制の充実』が全世代の傾向と比べて、子育て世代での満足度が低くなっています。

一方、『自然環境保全に配慮したまちづくりの推進』、『清潔な地域環境の維持』、『太陽光発電など新エネルギーの推進』といった項目で、子育て世代で満足度が高く、全世代の傾向と比べて、ニーズが低い結果となっています。

6 地域づくり・自治分野



地域づくり・自治分野においては、全世代と子育て世代でほぼ同じようなニーズとなっていますが、『出会いの創出などの結婚支援』で、全世代の傾向と比較して、子育て世代のニーズが低い結果となっています。

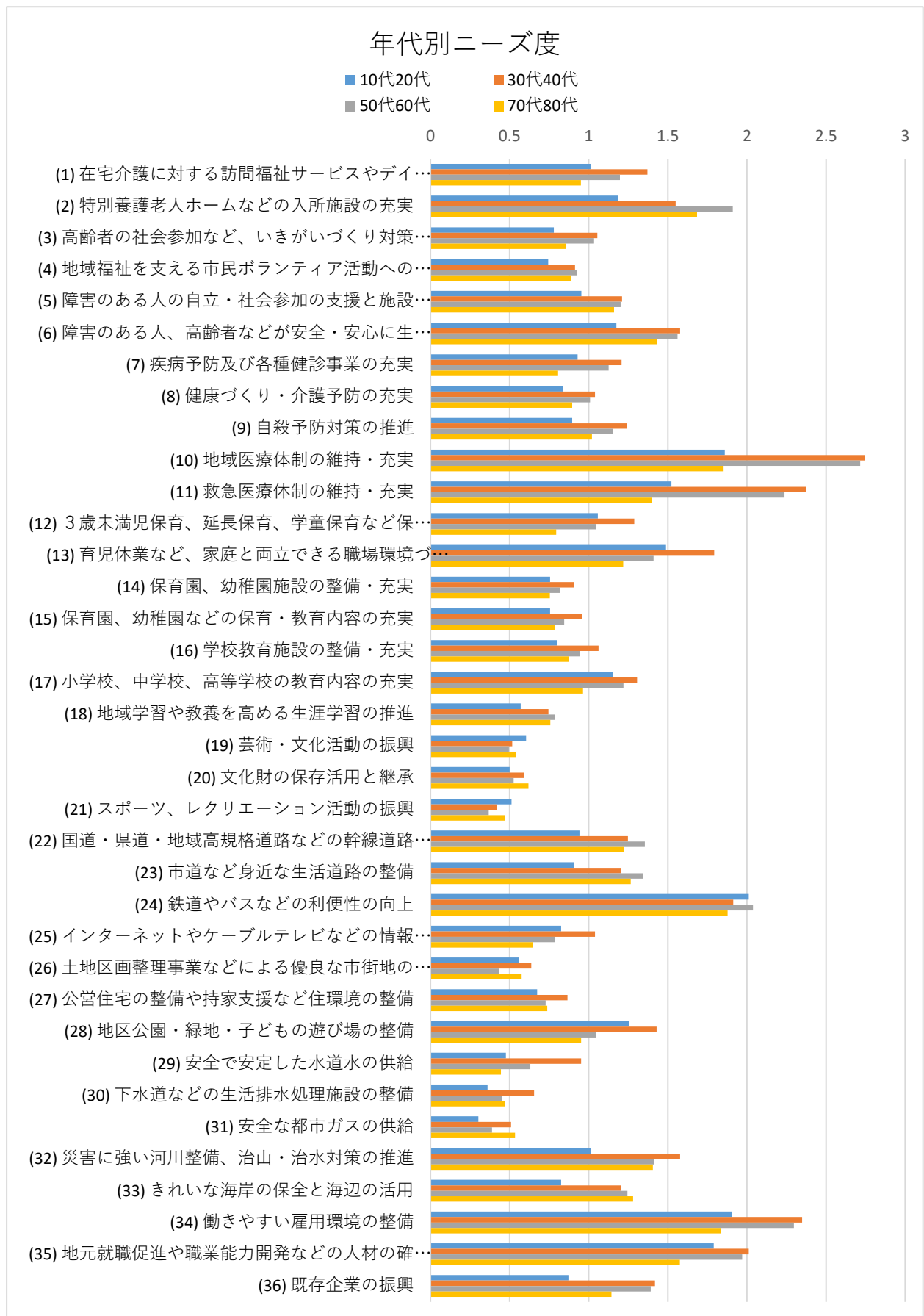
分析3 子育て世代におけるニーズ度の分析

重要度から満足度を引くことによってニーズ度とした。

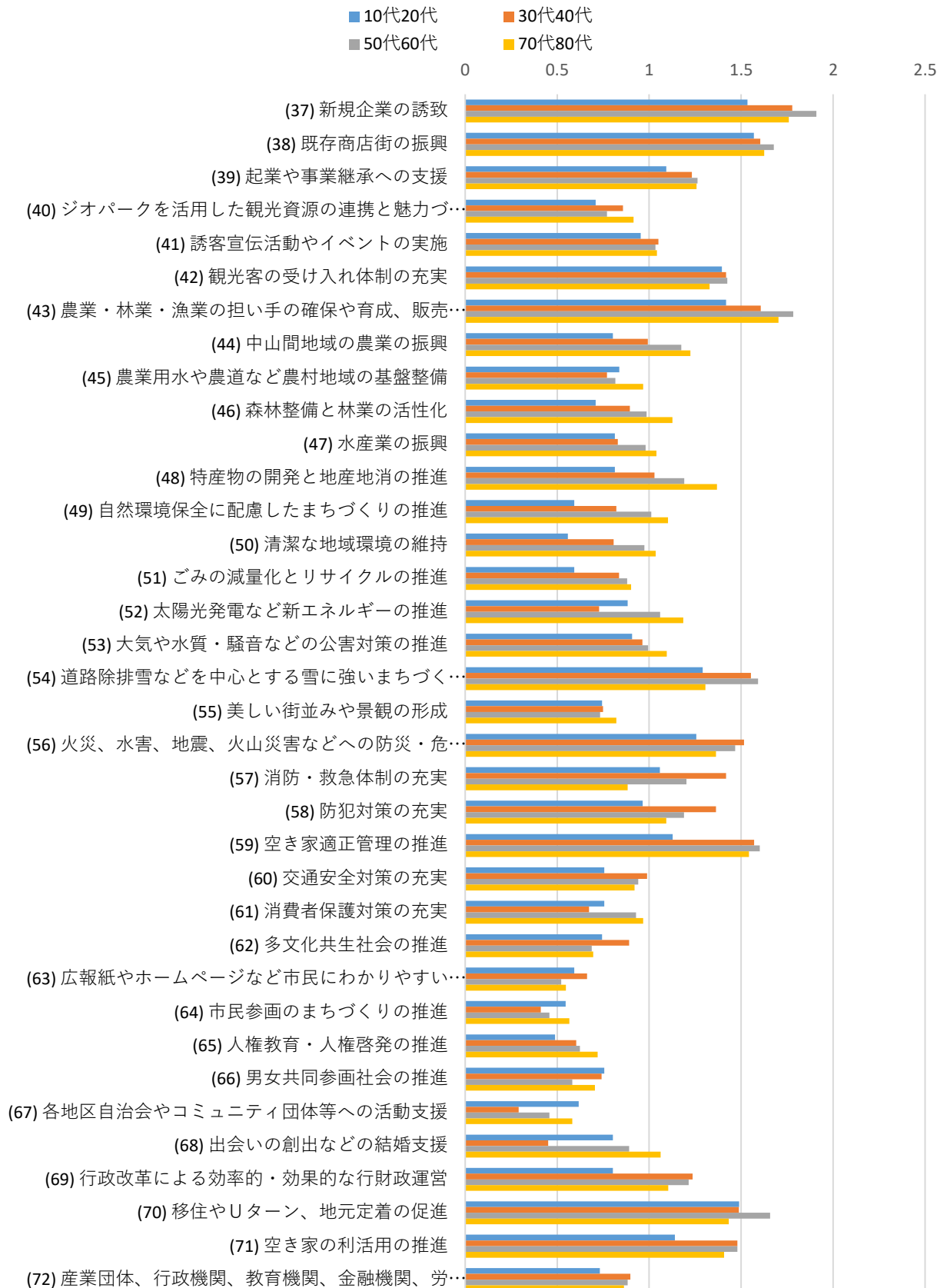
子育て世代のニーズ度による分析(20~40代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
1	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.66	-0.97	2.62	1	→
2	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.62	-0.68	2.30	2	→
3	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.62	-0.63	2.25	4	↗1
4	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.37	-0.61	1.97	5	↗1
5	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.15	-0.80	1.95	3	↘2
6	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.42	-0.33	1.75	15	↗9
7	(37) 新規企業の誘致	1.14	-0.62	1.75	6	↘1
8	(38) 既存商店街の振興	0.92	-0.69	1.61	9	↗1
9	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.16	-0.43	1.59	8	↘1
10	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.39	-0.14	1.52	13	↗3
11	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.36	-0.15	1.51	7	↘4
12	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.29	-0.22	1.51	12	→
13	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.54	0.04	1.51	17	↗4
14	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.09	-0.41	1.50	11	↘3
15	(59) 空き家適正管理の推進	1.04	-0.44	1.48	10	↘5
16	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.41	-0.04	1.45	16	→
17	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.96	-0.45	1.42	18	↗1
18	(71) 空き家の利活用の推進	0.99	-0.42	1.41	14	↘4
19	(28) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	1.08	-0.33	1.41	33	↗14
20	(36) 既存企業の振興	1.11	-0.24	1.35	19	↘1
21	(57) 消防・救急体制の充実	1.47	0.13	1.34	31	↗10
22	(1) 在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実	1.41	0.09	1.33	29	↗7
23	(58) 防犯対策の充実	1.23	-0.04	1.27	25	↗2
24	(17) 小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実	1.42	0.15	1.26	28	↗4
25	(12) 3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実	1.31	0.05	1.26	38	↗13
26	(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.22	-0.02	1.24	21	↘5
27	(39) 起業や事業継承への支援	0.96	-0.28	1.24	22	↘5
28	(9) 自殺予防対策の推進	1.12	-0.08	1.20	32	↗4
29	(23) 市道など身近な生活道路の整備	1.20	0.00	1.20	20	↘9
30	(5) 障害のある人の自立・社会参加の支援と施設整備	1.16	-0.02	1.18	26	↘4
31	(69) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営	0.96	-0.22	1.18	27	↘4
32	(7) 疾病予防及び各種健診事業の充実	1.26	0.08	1.18	36	↗4
33	(33) きれいな海岸の保全と海辺の活用	1.16	0.00	1.16	23	↘10
34	(41) 誘客宣伝活動やイベントの実施	0.76	-0.28	1.04	34	→

子育て世代のニーズ度による分析(20~40代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
35	(8) 健康づくり・介護予防の充実	1.13	0.11	1.02	41	↑6
36	(25) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備	0.98	-0.04	1.02	56	↑20
37	(3) 高齢者の社会参加など、いきがいきづくり対策の推進	1.07	0.05	1.01	42	↑5
38	(16) 学校教育施設の整備・充実	1.27	0.25	1.01	45	↑7
39	(48) 特産物の開発と地産地消の推進	0.92	-0.09	1.01	24	↓15
40	(44) 中山間地域の農業の振興	0.78	-0.19	0.97	30	↓10
41	(53) 大気や水質・騒音などの公害対策の推進	1.06	0.09	0.97	37	↓4
42	(15) 保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実	1.25	0.30	0.96	54	↑12
43	(60) 交通安全対策の充実	1.12	0.18	0.94	46	↑3
44	(14) 保育園、幼稚園施設の整備・充実	1.22	0.30	0.92	55	↑11
45	(4) 地域福祉を支える市民ボランティア活動への支援	0.93	0.03	0.90	47	↑2
46	(72) 産業団体、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体などの各種団体との連携・協働による事業推進	0.84	-0.06	0.90	52	↑6
47	(46) 森林整備と林業の活性化	0.75	-0.14	0.88	39	↓8
48	(29) 安全で安定した水道水の供給	1.51	0.63	0.88	63	↑15
49	(62) 多文化共生社会の推進	0.88	0.03	0.86	60	↑11
50	(27) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備	0.74	-0.11	0.85	58	↑8
51	(47) 水産業の振興	0.86	0.02	0.84	43	↓8
52	(40) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり	0.62	-0.20	0.82	53	↑1
53	(45) 農業用水や農道など農村地域の基盤整備	0.74	-0.06	0.80	49	↓4
54	(51) ごみの減量化とリサイクルの推進	1.16	0.37	0.79	50	↓4
55	(49) 自然環境保全に配慮したまちづくりの推進	0.96	0.19	0.78	40	↓15
56	(52) 太陽光発電など新エネルギーの推進	0.69	-0.07	0.75	35	↓21
57	(66) 男女共同参画社会の推進	0.74	-0.02	0.75	61	↑4
58	(18) 地域学習や教養を高める生涯学習の推進	0.98	0.22	0.75	59	↑1
59	(55) 美しい街並みや景観の形成	0.85	0.10	0.75	57	↓2
60	(50) 清潔な地域環境の維持	1.17	0.43	0.74	44	↓16
61	(61) 消費者保護対策の充実	0.74	0.04	0.70	48	↓13
62	(63) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供	0.92	0.27	0.64	65	↑3
63	(26) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成	0.57	-0.07	0.63	66	↑3
64	(30) 下水道などの生活排水処理施設の整備	1.37	0.75	0.62	69	↑5
65	(65) 人権教育・人権啓発の推進	0.71	0.12	0.59	62	↓3
66	(20) 文化財の保存活用と継承	0.73	0.15	0.58	64	↓2
67	(19) 芸術・文化活動の振興	0.66	0.12	0.54	67	→
68	(68) 出会いの創出などの結婚支援	0.43	-0.07	0.50	51	↓17
69	(31) 安全な都市ガスの供給	1.26	0.77	0.49	71	↑2
70	(21) スポーツ、レクリエーション活動の振興	0.62	0.16	0.46	72	↑2
71	(64) 市民参画のまちづくりの推進	0.51	0.07	0.44	68	↓3
72	(67) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援	0.49	0.13	0.36	70	↓2

分析4 年代別ニーズ度の比較



年代別ニーズ度



年代別ニーズ度【10代20代】

年代別ニーズ度による分析(10代20代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
1	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.26	-0.76	2.01	3	↗2
2	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.56	-0.35	1.91	2	→
3	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.58	-0.28	1.86	1	↗2
4	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.41	-0.38	1.79	5	↗1
5	(38) 既存商店街の振興	1.10	-0.47	1.57	9	↗4
6	(37) 新規企業の誘致	1.08	-0.45	1.53	6	→
7	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.48	-0.05	1.52	4	↘3
8	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.43	-0.06	1.49	15	↗7
9	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.23	-0.26	1.49	11	↗2
10	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.23	-0.19	1.42	8	↘2
11	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	1.09	-0.30	1.40	18	↗7
12	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.37	0.08	1.29	13	↗1
13	(28) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	1.05	-0.21	1.26	33	↗20
14	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.47	0.21	1.26	16	↗2
15	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.24	0.06	1.19	7	↘8
16	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.24	0.07	1.17	12	↘4
17	(17) 小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実	1.41	0.26	1.15	28	↗11
18	(71) 空き家の利活用の推進	0.85	-0.29	1.14	14	↘4
19	(59) 空き家適正管理の推進	1.01	-0.12	1.13	10	↘9
20	(39) 起業や事業継承への支援	1.02	-0.07	1.09	22	↗2

全年齢でのニーズ度と比較して、10代20代では、子育て世代として、子育てに関する『育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』、『地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』、『小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』といった項目のニーズ度が高くなっています。

また、『特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』や『空き家適正管理の推進』については、直接当事者としてかかわる年代ではないことからか、全体と比較してニーズ度が低い結果となっています。

年代別ニーズ度【30代40代】

年代別ニーズ度による分析(30代40代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
1	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.67	-1.07	2.75	1	→
2	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.65	-0.72	2.37	4	↗2
3	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.63	-0.72	2.35	2	↘1
4	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.37	-0.64	2.01	5	↗1
5	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.12	-0.79	1.91	3	↘2
6	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.40	-0.39	1.79	15	↗9
7	(37) 新規企業の誘致	1.13	-0.64	1.78	6	↘1
8	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.13	-0.48	1.61	8	→
9	(38) 既存商店街の振興	0.89	-0.71	1.60	9	→
10	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.29	-0.29	1.58	12	↗2
11	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.55	-0.03	1.58	17	↗6
12	(59) 空き家適正管理の推進	1.05	-0.52	1.57	10	↘2
13	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.39	-0.17	1.55	13	→
14	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.37	-0.18	1.55	7	↘7
15	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.41	-0.11	1.52	16	↗1
16	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.06	-0.43	1.49	11	↘5
17	(71) 空き家の利活用の推進	1.02	-0.46	1.48	14	↘3
18	(28) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	1.07	-0.36	1.43	33	↗15
19	(36) 既存企業の振興	1.12	-0.30	1.42	19	→
20	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.94	-0.48	1.42	18	↘2

30代40代も子育て世代として、子育てに関する『育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』や『地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』といった項目のニーズ度が高くなっています。

また、近年多発する自然災害を受け、『災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』への関心が高い結果となっています。

一方、『特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』については、10代20代同様、直接当事者としてかかわる年代ではないことからか、全体と比較してニーズ度が低い結果となっています。

年代別ニーズ度【50代60代】

年代別ニーズ度による分析(50代60代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
1	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.65	-1.06	2.72	1	→
2	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.55	-0.75	2.30	2	→
3	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.65	-0.59	2.24	4	↗1
4	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.26	-0.78	2.04	3	↘1
5	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.35	-0.62	1.97	5	→
6	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.44	-0.47	1.91	7	↗1
7	(37) 新規企業の誘致	1.20	-0.71	1.91	6	↘1
8	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.18	-0.60	1.78	8	→
9	(38) 既存商店街の振興	0.91	-0.77	1.68	9	→
10	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.20	-0.46	1.66	11	↗1
11	(59) 空き家適正管理の推進	1.02	-0.58	1.60	10	↘1
12	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.45	-0.14	1.59	13	↗1
13	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.21	-0.35	1.56	12	↘1
14	(71) 空き家の利活用の推進	0.97	-0.51	1.48	14	→
15	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.46	0.00	1.47	16	↗1
16	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.92	-0.50	1.42	18	↗2
17	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.49	0.08	1.41	17	→
18	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.16	-0.25	1.41	15	↘3
19	(36) 既存企業の振興	1.09	-0.30	1.39	19	→
20	(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.26	-0.10	1.35	21	↗1

この年代は、全体の回答者の約4割を占めるため、全体とほぼ同じ傾向となっています。

年代別ニーズ度【70代80代】

年代別ニーズ度による分析(70代80代)					参考 全体順位	全体順位 との差
順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度		
1	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.33	-0.55	1.88	3	↗2
2	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.48	-0.38	1.85	1	↘1
3	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.40	-0.44	1.84	2	↘1
4	(37) 新規企業の誘致	1.17	-0.59	1.76	6	↗2
5	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.18	-0.52	1.70	8	↗3
6	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.41	-0.28	1.68	7	↗1
7	(38) 既存商店街の振興	0.99	-0.64	1.63	9	↗2
8	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.24	-0.34	1.58	5	↘3
9	(59) 空き家適正管理の推進	0.98	-0.56	1.54	10	↗1
10	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.14	-0.30	1.43	12	↗2
11	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.14	-0.30	1.43	11	→
12	(71) 空き家の利活用の推進	0.92	-0.49	1.41	14	↗2
13	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.51	0.11	1.41	17	↗4
14	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.49	0.09	1.40	4	↘10
15	(48) 特産物の開発と地産地消の推進	1.04	-0.33	1.37	24	↗9
16	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.48	0.12	1.36	16	→
17	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.90	-0.43	1.33	18	↗1
18	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.55	0.24	1.31	13	↘5
19	(33) きれいな海岸の保全と海辺の活用	1.20	-0.08	1.28	23	↗4
20	(23) 市道など身近な生活道路の整備	1.39	0.12	1.27	20	→

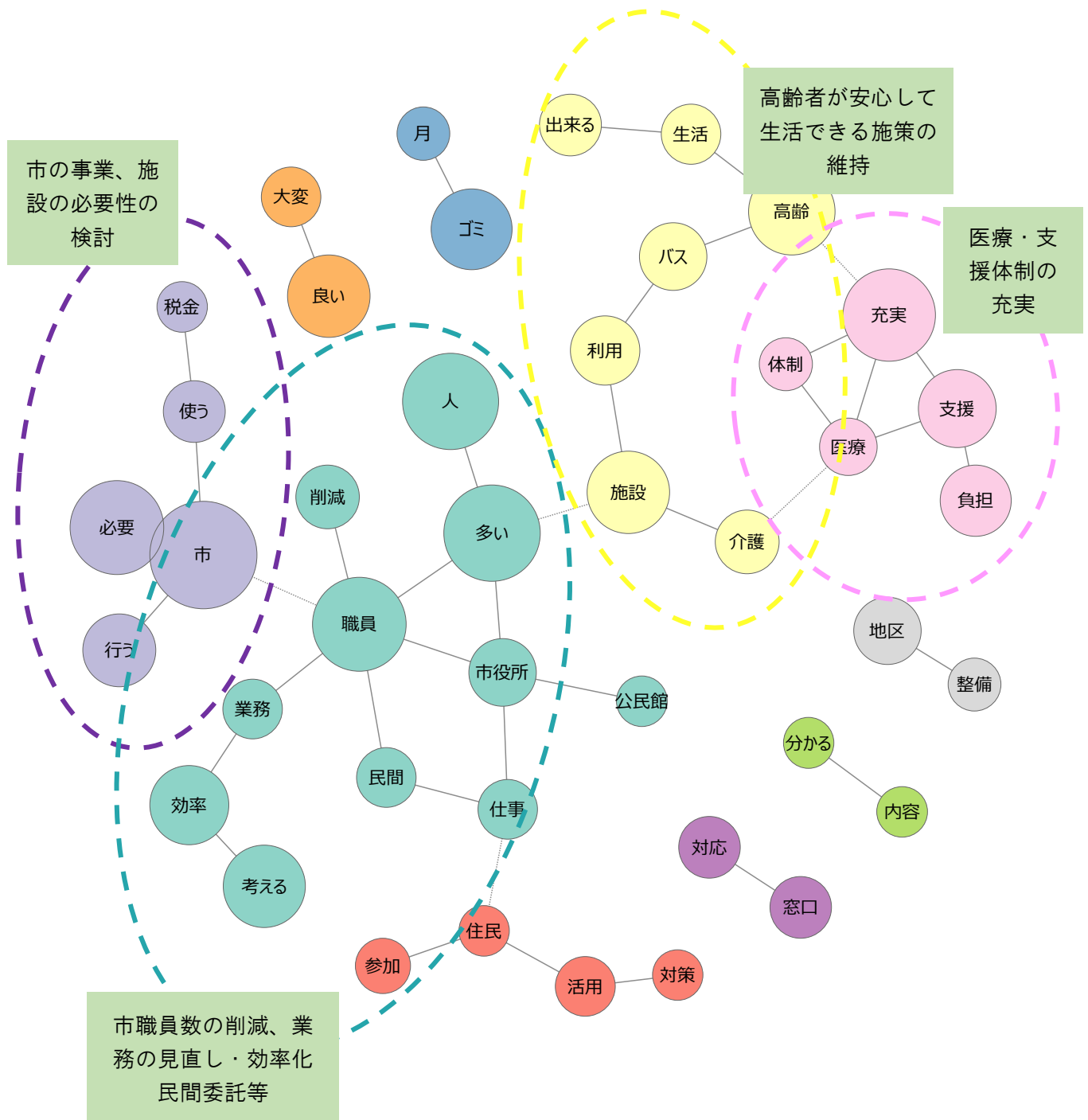
全体のニーズ度とほぼ同様の傾向となっていますが、『救急医療体制の維持・充実』の満足度が、平均よりも高くなり、ニーズ度が低い結果となっています。

また、『特産物の開発と地産地消の推進』の満足度が平均より低く、ニーズ度が高くなっています。

分析5 テキストマイニングによる自由意見の分析

自由意見欄に書かれた文章の中から、単語の出現頻度や傾向、相関関係を分析することで、意見のデータ解析をした。

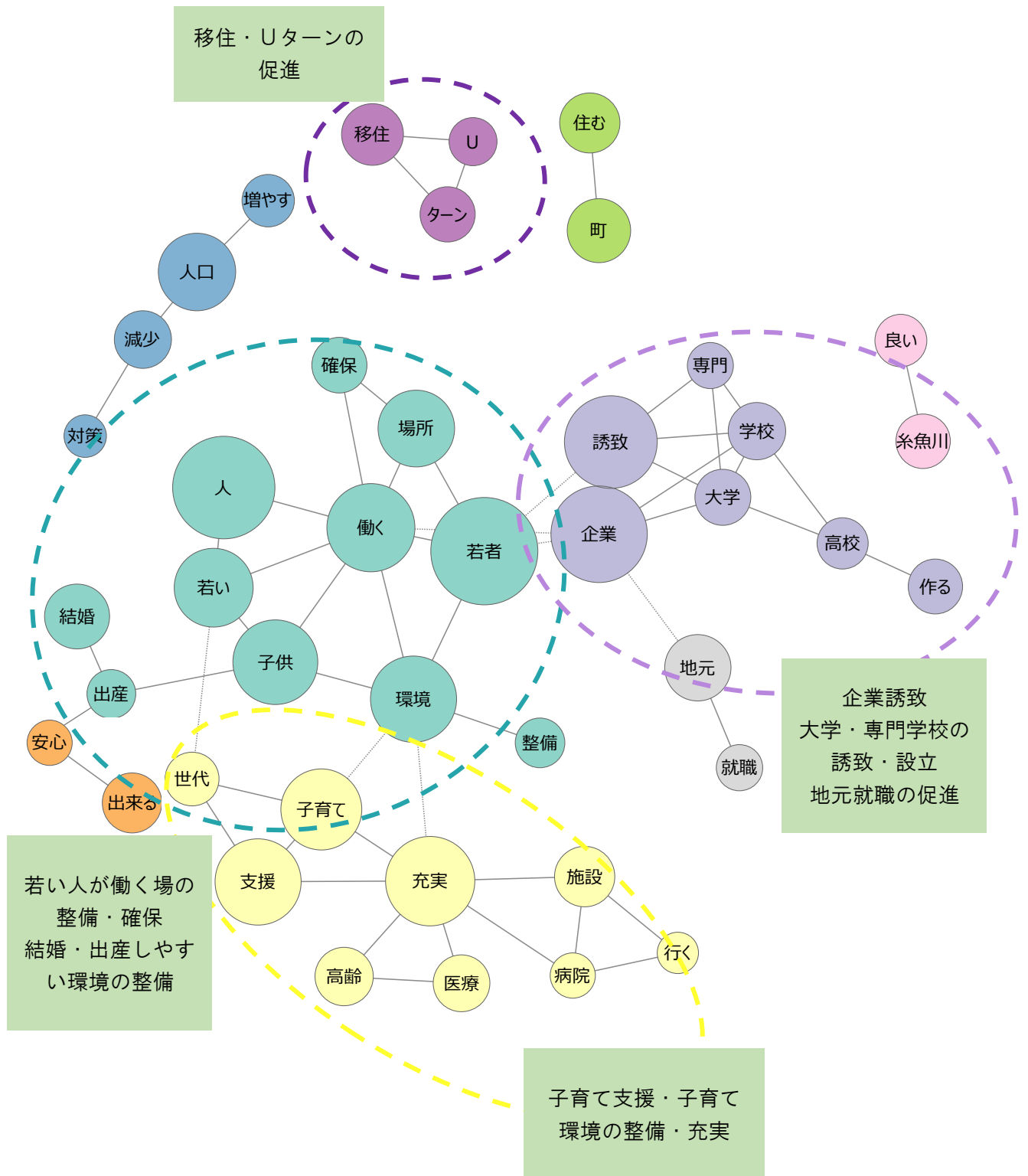
Q.行政サービスの効率化に向けた意見や評価について



【代表的な意見】

性別	年代	居住地	意見
女性	70代	糸魚川	・安心出来る医療体制の充実 ・救急医療体制の維持 充実
男性	40代	能生	・今回のコロナである道筋が見えてきていると思う。簡素化しムダを省く事だと思う。
男性	70代	糸魚川	・市町村合併後のより一層のスリム化を実行すべき。反対に負けるな！ ・行政サービスはタダだと思っている市民が多い。教育を！ ・多すぎる公共施設、中途半端な公園等、売却するもの、残すものには、市民が利用する施設に改良する。
男性	60代	糸魚川	・市役所の職員の人数について考えてもらいたい（あんなに職員が必要か？） ・図書館の新刊を充実してもらいたい（ない本が多過ぎる）
女性	70代	糸魚川	・老人介護支援への充実、高齢者の医療対応への充実に活動してほしい。
男性	60代	糸魚川	・地域の足の便を考えると公共交通が足かせとなる。
男性	50代	青海	・行政の人員削減。今の人数なら、土日も交代してサービスが出来る
女性	70代	青海	・医療バスの運行がありがたい ・年に1度の健康診断良い
男性	70代	糸魚川	・現在の行政サービスの継続をお願い ・高齢化社会に的した行政サービスを
女性	50代	糸魚川	・現在も取組んでおられますが、いざという時の医療体制はやや不安
男性	60代	青海	・医療機関（開業医等）の減少に伴いその対策の実施 ・高齢者の増加に伴い、介護施設（入居施設含む）の対策
女性	50代	能生	・職員を減らして人件費の削減を！
男性	30代	能生	・各種申請書類等にかかるオンライン・電質化により、窓口業務従事の職員を削減し、その人員を別の地域活性化人員に充てる。 ・臨時職員を削減し、正規職員で業務推進することができるよう効率化を図るべきだと思う。
女性	20代	糸魚川	・糸魚川は他の市町村よりも行政サービス、色々な支援について頑張っていると思う。糸魚川で（糸病で）子供出産したらお祝い金！などもどこかズレていると感じてしまう。行動力はあるのにもったいない。 ・行政と民間がもっと上手く協働できないか考えてほしい。 外部・民間からアイデアをつのったらどうか・・・？
女性	60代	糸魚川	・在宅介護のサービスは大変充実している ・施設の介護士さんを増やして充実した介護をしてもらいたい。
女性	60代	青海	・バス→もっと小さな車でも良いので本数を多くしてほしい。
女性	80代以上	糸魚川	・老人のバス券は何より助かります。 ・老人の雪ほり負担券が助かります。
女性	70代	糸魚川	・高齢者が安心して生活出来るサービスをお願いします。
男性	70代	青海	・市行政も将来を見据えて人口減少、税収減少に備えたコンパクト化、効率化を目差す必要があると思う。
男性	70代	糸魚川	・市民のあらゆるニーズに答えるには限界がある。生命、人権、日常生活の安定に関することに重点を置く。 ・財政状況によっては取捨選択もやむを得ない。
女性	70代	能生	・バスのバス券(6ヶ月使える)は高齢者に便利なサービスなので続けてほしいです。 (現在は車の運転をしているが、出来なくなった時に安心して利用できるから)
男性	40代	糸魚川	・窓口業務の民間委託 ・保育園、幼稚園の民営化 ・施設管理業務の民間委託 ・観光事業の一本化（DMO観光協会のみとし、市の観光部局は不要） ・農林漁業振興の県（糸魚川地域振興局）との一本化
男性	60代	能生	・高齢者への生活支援の充実（健康づくり 交通 移動 医療）に向けた取り組みの強化、継続
男性	50代	糸魚川	・手続き方法の電子化、簡素化 ・上記で余った職員の他への配置
男性	50代	糸魚川	・合併から10年以上経過しているのに、同一目的、重複する公共施設が多い。 ・市民が役所へ行く必要がない デジタル市役所
男性	60代	糸魚川	・市内を巡回しているバスは小型にしてはどうか。使用している人が少なくて燃料のムダ使いと思う。小型にして台数を増やせば高齢者にはありがたい。
女性	10代	糸魚川	・小さい子供への支援は市でも親の会社でも充実しているようだが、高校卒業後の支援が全くない。大半の人が進学を考えているが、金銭面であきらめる人もいる。1番大金が必要なのに、支援してくれないのは不満。
女性	30代	糸魚川	・子どもの通院・入院に補助がでているのはとても助かっている。
男性	50代	糸魚川	・人口減少に合わせて、運営する側の規模を変えて行く。

Q.人口減少社会での取組について

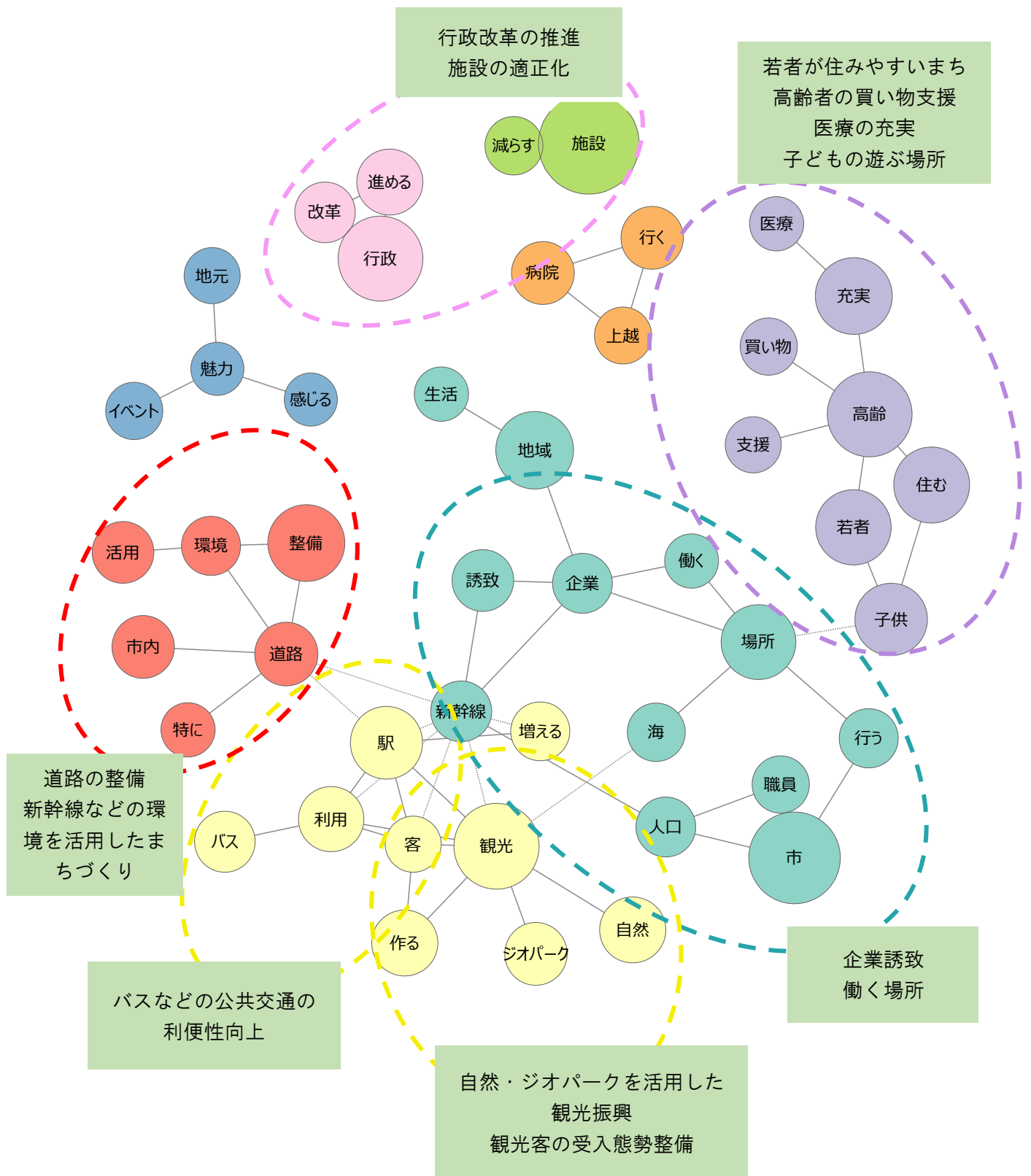


【代表的な意見】

性別	年代	居住地	意見
男性	70代	糸魚川	・安心して子育て、出産出来る環境づくりが必要だと思います。
女性	60代	能生	・人口が減っても、住む人が満足して生活していればそれはそれで良いのでは？
女性	40代	糸魚川	・まずは、若者、高卒後の人たちの流出をどうするかを重点にすすめてほしい (働く人がおらず店じまいするところがあるので・・・)
男性	70代	糸魚川	・工業団地を整備し、企業誘致に適した街づくり。 ・若い人が糸魚川から出ていかないようにしてほしい。
男性	60代	青海	・特に地方都市で人口減少が激しい傾向が見られるが、国の調査によると若年女性性が流出する市町村でその傾向が顕著に見られるとの結果が出ています。逆に若年女性性への就業促進が順調な地域は人口減少が少ないとの報告がありますので、なぜそういう事なのか考えて今後の人口減少対策に役だてて下さい。
男性	40代	糸魚川	・子どもが都会に流出しない取組。もしくは、必ずUターンする取組が必要。糸高の「糸魚川学」のバージョンUP等。 ・糸高と白嶺の統合により、糸高を定員割れしない高校にし、きちんとした人材を育成する取組。将来の地域のリーダーを育てる。 ・市内に住居を持てるよう、地価を下げる取組。
男性	60代	青海	・若者が住みやすい町づくりやUターン率を上げる
女性	70代	糸魚川	・働きやすい雇用環境の整備 ・新規企業の誘致 ・鉄道やバス等の利便性の向上
男性	70代	糸魚川	・人口減少は以前から始まっており現在少子化現象で深刻化されております。対策とすれば未来の日本を担う子供を増やしていくことです。 ・①未婚化②晩婚化が進み少子化の要因になっています。市で①②データを解析し、その原因、要因をつきとめ対策して欲しい。少子高齢化といった負のスパイラルに陥ることのない様、糸魚川市が見本となれる様対策を考えて欲しい。
男性	60代	糸魚川	・若者が定着できるような地域づくり ・専門学校、大学等の誘致
男性	20代	糸魚川	・男性性も女性性も育児休暇を取得しやすい環境づくりが必要だと思う。
未回答	60代	糸魚川	・病院、医療施設等の充実(近隣の病院へ通院等が多い) ・若者の働く企業が少ない(下請けや派遣社員が多い)土地がいくらでも有るので企業誘致を本気で取組む。
女性	40代	糸魚川	・結婚、出産をしやすい環境を整える(支援等) ・不妊治療に対する支援の充実
男性	70代	糸魚川	・先人が取り組んだ高速道、新幹線、姫川港等のインフラ整備の成果が生かされていない。若者の働く場拡充に全庁を挙げて欲しい。 ・糸魚川高校のレベルアップ。上越方面への流れに歯止めを願う。
男性	70代	能生	・新卒者の流出防止(地元企業への働きかけと税等の優遇処置) ・専門学校、大学の誘致(糸魚川の誘いに特化)
男性	70代	能生	・若者が働く場所の誘致
女性	60代	糸魚川	・若者が地元で生活していける仕事環境づくりが大切。
女性	60代	糸魚川	・子供を出産した後のサポート ・安心して仕事に復帰出来る様(1才未満児からの預かりや風邪をひいている子供でも安心して預かれる施設整備) ・子供さんが多い程受ける事が増えていく行政サービスなど…子供さんが18才(高校を卒業する)まで安心して子育てが出来るという事が大切だと思います。
女性	40代	糸魚川	・高齢者のことばかりで子供達のことをもっと支援して欲しい。青海の方は子供達がのびのびと遊ぶ場があるのに糸魚川はまったくなさすぎる。例(スケボーパーク・ドームの前の公園) ・糸魚川の賃金を高くする。 ・子供達が求めるショッピングモールを作る。
女性	20代	糸魚川	・市内に魅力的な施設がないため、市外でお金を遣うし、家を建てて定住するのも正直悩んでいる。民間・企業を積極的に誘致してもらいたい。 ・子どもの習い事や、高校や大学に行くことへの不安がある。市内では選択肢が少なすぎるし、他地域の子どもに比べてとても不利だと思う。充実させてほしい。 ・医療体制もとても不安。家族や自分が病気になるたら・・・と考えると、市外への転居すると思う。総合病院の質、クリニックの充実を願っている。

性別	年代	居住地	意見
女性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・子供にふる里教育を充実して、ふる里の魅力を知ることに入れると、ふる里糸魚川に対する愛着が生まれ折りがあるごとにふる里へ帰ろう、暮らそうの気持ちが高まり人口増につながる。 ・学校教育の充実 ・地元企業の振興
女性	40代	能生	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が職業を選択していく上で、地元どんな企業や産業があり、どんな魅力的な仕事であるか、子ども達が知る機会が増えると良い。 ・子育て中の父親、母親が共に仕事をしていても、育児のために休みを取りやすい環境の整備。
男性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・Uターンは予想より人口増には結びつかないのでは！ ・それよりも流出防止に全力を入れるべきだと思います。 ・なぜ出て行ってしまうのか？就職先が少ない。地元で結婚できない。子供が生まれない。 ・結論は企業誘致の実現と農・漁業就労人口の増加ですが具体的な取組が見えません。
女性	30代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の企業アピールをもっとするとよいと思う。若者がたくさん地元の会社に就職するように（出来るように）学校とかでアピールをすれば若者が外に出て行かず、人口増加につながる。
女性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が移住し定住する為の住宅、就業に魅力を感じる様な事を発信する。 ・Uターンをすすめる。 ・子育て、出産に経済的支援。
男性	80代以上	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川市では現在人口減少は、最重要課題として、行政・市民とも取り込む必要がある。 ・新規企業の誘致し、若者の働き場所の確保。 ・移住やUターン者の促進、他市町村を観察し参考とする。 ・男性女性の出会いと支援。
男性	70代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・1次産業（農・林・水産）を見直し（活性化）、食や資源の自給率を上げる。気温、降雨、肥沃な大地に恵まれた日本、荒地や休耕地が見られるのは、地球としても、もったいない。 ・1次産業の活性化は、糸魚川の様な平地が少なく企業立地に適さない田舎にとって大切である。
男性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して出産できる施設（病院）、安心して子育てができる支援等を考えてもらいたい。
男性	30代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・地域特性を生かした住環境 ・テレワーク組への避暑地としての誘致 ・新幹線を生かした通勤など ・農業、水産業の若者誘致補助金 ・賃金の底上げ
女性	60代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な心配なく子育てできる環境 ・社会全体で子育てできる環境

Q.これからのまちづくりについて



【代表的な意見】

性別	年代	居住地	意見
男性	40代	能生	・自然災害に強い街造りをお願いします。特に川の氾濫等。
男性	60代	糸魚川	・人口減少社会を見越して、大胆な行政改革の推進。 ・使用していない公共施設の取り壊し。維持していくのにもお金がかかる。 ・同じような用途の公共施設の見直し、不要な施設の廃止。 無駄な施設が多い。
男性	40代	糸魚川	・農業の合理化を進め、持続可能な産業にし、耕作放棄地等の問題を解消していく。スマート農業など。 ・糸魚川ー長岡の在来線をミニ新幹線化し、金沢ー新潟空港の「羽越新幹線」の実現を進める。県都新潟市へのアクセス向上。 ・せっかくのジオパークの意義が市民ひとりひとりに浸透していません。交流人口の増大も良いが、市民の郷土愛醸成にもう少し力を入れるべきと考えています。 ・新型コロナ対応において、市のリーダーシップは感じられない。感染症だけではなく、さまざまな危機対応において、もっとリーダーシップを発揮してほしい。間違いをおそれずに。
女性	70代	糸魚川	・とにかく街の中に子供達の笑顔と声が聞こえない。 街の中に、子供が集えるスペースを作る。子供達の交流の場が必要。本を読む、ゲーム、パソコン。おしゃべり場、弁当を食べられる一日遊べる所を大人の目が見守りとなる街の中に持つ。大人の望むスペースより子供達の望むスペースを造って下さい。 ・高齢者の街ではなく 子供の町づくりを。子供が安全で楽しい街のアピールをしてください。 〈例〉中華街的な子供のショップ、ゲーム機あり、交流できるスペースありの子供の為のミニタウン。 ・子供が楽しい町に。∴大人も楽しくなるから
男性	50代	糸魚川	・色々な面で行政頼りになっていて、自分達で（地域で）できることは自分達でやるという気持ちが薄れているように感じます。そういった部分が一番の根本のような気がします。 ・糸魚川で生活する上で、都会と同じ暮らしを求める必要はなく、糸魚川らしい（ならではの）暮らしを楽しみたい。 ・観光等をPRするなら街全体でおもてなしの心が大切。 現状は外から来た人に対する対応は「感じがわるい」という声を聞きます。（一部かも知れませんが） ・糸魚川は新幹線、高速道路ICが近く、市外への往復にはこんなに便利な所はありませんが、市内の生活の足が課題だと思います。何か思いきった事業ができれば良いと思います。
女性	50代	糸魚川	・新幹線の駅ですが活気がありません。南口にもっとお店（専門的な雑貨、パン屋さん、ファーストフード）など時間を楽しめる所があっても良いと思う。 空き家が多く、草だらけで整備されてない。もっと空き家の人に管理をシッカリしてもらいたい市で買いとるなどして活用して頂きたい。 ・子育て環境は大変充実しており子育てには大変良いと思いますが働く場がなく進学してもUターンして来れません。又若い人たちが楽しめる所がないです。自然豊かな所をプラスで活用できればと思います。
女性	30代	能生	・人口の流出は止めにくいと思うので、その上でインターネットを利用して外（他県等）からの観光に力を入れる方向が良いのではと思います。 ・老若男女、海外の方向けに視認性の高い観光用パンフレットや、市の観光用HP（ホームページ）SNSの利用、観光地や、駅、道の駅で掲示する案内板の充実も良くしていくとよいのではないのでしょうか。
女性	70代	青海	・青海町には商店がハッピー田沢店しかなく、車で行ける方は糸魚川へ行けるから良いですが行けない方で遠くから歩いてこられるお年寄りの方を見かける時があります。そういう方のために何か良い方法があれば良いのと思う事があります。 （例えば1週間に一回車を5人6人乗り位でも買い物デーを決めて行くという事が出来ないかなと思います。）
女性	50代	糸魚川	・糸魚川市には青海、能生、糸魚川、3地点のインターチェンジ、新幹線とこんな小さな市にはもったいないくらいの交通の弁が整っているのになぜかうまく活用されていないように思います。 ・新幹線が通ってから少しは人の出入りもあるのではと思っていたが駅前は、ほとんど人通りもなく、ちょっとした買い物をする場所もなく不便。 ・火事の後街並みはきれいになったけどやはり人の動きがないと市全体が発展しない子供たちを糸魚川に置いておきたいと思いません。 ・立派な交通網どうか存分に活用して発展を願っています。
女性	60代	青海	・難しい病気になってしまった時、現状では遠方の富山や上越、他もっと遠くまで通わなければより良い医療を受ける事ができない、というのが今の糸魚川市民の実感ではないかと思えます。 通院の手立てがない人はあきらめる、ということにならないようにしてほしい。 ・要介護3以上になった場合、自宅が無理な人の入れる施設が不足しています。早急にこの状態を改善し、希望者全員が入れるようにしてほしいです。本当に今、困っています。
男性	40代	青海	・高校生の通学費（バス代）を安くしてほしい ・病院を充実してほしい（耳鼻科がなくて困っている）

性別	年代	居住地	意見
女性	20代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしながら働いている家庭も多いので、気軽に仕事帰りに買えるお弁当屋さんがあるのがほしい。 ・小さい子どもと一緒にいける、安全で清潔な室内のショッピングモールが市内にほしい。 ・小さい子どもがいると、ドライブスルー式のお店がすごく助かるし、ママの休憩にもなるので、ドライブスルー式のお店が市内にほしい。 ・自動車での移動があたり前のような市内で、買い物に行くとき赤ちゃんのオムツ替えや授乳は車内でやっている人が多いと思うが、もっと赤ちゃんのお世話スペースのあるスーパー等があると良いと思う。 ・市内には、個人の飲食店は多いと思うが、小さい子どもと行こうと思えるところをもっとあると良いと思う。お子さまメニューや座席など。←もしくはチェーン店のファミレス等を増やしてもらおう。 ・少人数になった小学校等は、早めに統廃合してもらった方が、子ども親も人間関係のとまどいが少なくなると思う。
女性	40代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致・・・就職先がなく、地域に戻りたくても戻れない子供が多い為。 ・通学費用補助・・・上越地区高校へ通学手段を増やし、高校選択肢を広げたい。(新幹線定期、通学バスなど) ・日帰り温泉施設の誘致・・・大江戸温泉物語など、食事も日帰り入浴もリーズナブルな宿泊も出来る温泉施設を誘致、地元客も海水浴客もスキー客も利用できる施設があると良い。雇用も生まれる。
女性	50代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが安心してのびのび遊べる場所(広場みたいな)が、もう少し街に近いところにあるとよいと思います ・高校生が勉強したりできる場所が駅の近くにあるとよいと思います
女性	30代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題(崩壊寸前の建物見ると心配になる) ・若い人が家を建てやすく土地を格安で購入できると◎
女性	40代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと大きな図書館を作って欲しい ・一般市民向けの教育講座を実施して欲しい ・港を釣り客向けに開放してほしい
男性	50代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が糸魚川から出て行かない市にしてほしい ・3人子供いるけど。2人は糸魚川からいなくなっている
女性	30代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の火災のあとに多くの小さな公園をつくりましたが市の活性化につながらないと思います。(私は道の駅(マンドリム)のようなものを作ってもらいたかった。) ・乳児2才～6才くらいの子供たちが遊べる施設を作ってもらいたい。(親が子守しているが、どこにもつれていけないと言っている。)
女性	30代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・私は都心からの移住者です。糸魚川の身近にある自然や人の優しさにひかれて定住を決めました。今糸魚川にあるものを壊さず、最大限活かして新しいまちづくりをしてほしいと思います。
男性	70代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス等の利便性について 車社会の中でバス利用者が極端に減っているが、安価な運賃でコミュニティバスが運行されており、年寄りにとって大変有難く思っています。一方、鉄道は新幹線開業に伴い東京方面は非常に便利になった反面、新潟方面は第三セクター化によって直江津から先へが大変不便になりました。東海道、上越、東北新幹線以後、どこの地区も同様ですが年寄りにとって乗り換え、乗り換えでは、、、どうにもならないことですが鉄道はとて不便になりました。
男性	50代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・登山ブームにあやかり、全国的にも、これだけ魅力ある山々が周囲に点在している事をアピールしてはどうか。新潟県最高峰、小蓮華山の魅力を内外にもっとアピールしてはどうか。(プラス日本百名山の雨飾山) などなど ・ケーブルテレビなどの情報通信の整備
男性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化、里山の崩壊、鳥獣被害等、居住に加え居住周辺環境整備が必要 ・自然はたくさんあるが必ずしも豊かとは言いがたい。
女性	50代	青海	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくり ・役所・病院・スーパーなど高齢者が動きやすい街 ・リモートワークが増加するのでその整備 ・住んでみたくなる空き家のリノベーション(農家の移築) ・障害がある人・高齢者が安心できる街は誰にとっても幸せな街
男性	40代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・街中に駐車場が少ない。 ・人がいないのにお金をかけて施設をつくったりするのはやめてほしい。 ・糸魚川市民にプラスになることを考えてほしい。 ・このようなアンケートを時間とお金をかけて実施しているのだから、少しでも実行できるようにがんばってください。
女性	30代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの充実□室内で遊べる施設
女性	70代	糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区の前JRの後地なにを作る為に購入したのか? 予定なく購入したらムダ ・駅前、北口、南口もさみしいので新しい店などが出来れば ・市が元気になる為、若い方、子供が多くなる様ステキで魅力のある市になれば高令者も元気になるのでは

性別	年代	居住地	意見
男性	80代以上	能生	・入院のできる病院をもう1棟誘致し安心できる医療体制にしていきたい ・自然の水を理用した大手食品製造会社の誘致できないのか？
男性	50代	青海	・テレワークの普及による地方移住、新幹線で糸魚川ー東京利用し空き家の利用などをすすめられると、企業の誘致より現実的なのではないでしょうか。最近SNSなどで空き家の情報を読み、タイムリーな活動で人口増加に繋がるといいなと思っております。地元人はウェルカムの気持ちで応援したいです。
女性	70代	青海	・若い人たちが県外、市外へ出ていかず、糸魚川に居てもらえるような取り組みが必要
男性	80代以上	青海	・医療体制の整備と充実。高齢化が進んでいるため、医療体制を見直してほしい。 ・保育所・小中学校の教育向上。現在、関係者が頑張っていますが、将来の人材を育成されるよう期待している。 ・空き家の有効活用。各地に空き家が見られ、今後も増加すると予想されるため、有効な活用を検討する必要がある。
女性	50代	青海	・山の中まで人の手が入っている。人と動物との共存共生を願っています。森林の手入れを良くして山の環境が良くなるのが大切だと思う。 ・治山・治水ができて、インフラ整備がよくできていけば海の幸、山の幸にも恵まれて良いところなので人が集まってくるのではないのでしょうか。 ・森林の手入れができる人を養成する学校などがあれば良いのではないかと思います。そういう人たちにより良い慣境をととのえてあげればよいのではないかと思います。
女性	60代	青海	・上でも記入しましたが若者が定住できる環境づくり（魅力や活力のある企業、産業の支援、空家の活用、地域が活性化するような事業、文化交流などの推進等） ・糸魚川には、いい温泉もあり、地元の者でも知らなかった素晴らしいジオサイトがあるので整備可能な所は整備し、市内外にもっと知ってもらい、足を運んでもあられるようにする。 ・高齢者、こどもにやさしいまちづくりをお願いします。
女性	40代	青海	・バス、電車の便が悪すぎる。 高校生のほとんどが、雨・雪の際、保護者送迎。 バス時間も少ない。（朝はいいが、昼間の時間ない） テスト期間中など、とても不便。遠くても徒歩で帰らざるを得ない。 料金を安くしてもっと便数を増やす。そしてバスに乗ることをもっとあたり前のようにすれば良い。 電車も1両はありえない。朝の通学時は2両にさせてほしい。
女性	40代	青海	・海も山も近く両方体験できる場所は少ないのに、有効に利用していないように思う。
女性	30代	糸魚川	・子どもが雨でも遊べる、オーレンプラザのような施設がほしい（支援センターだけでは不十分です） ・未就園児を少しの間あずかってくれるような場所がほしい（母親の息抜き、買い物等） →このために、保育士さんを増やす必要があるのですが、保育士さんの給料を大幅に増やす、「糸魚川で働きたい！」と思ってもらえるようにする。 ・高齢者には予防接種やオムツなどで支援があるのに、子供にはない（無料でない）のはなぜか。子育てにはお金がかかる。（・全てを支援してほしいわけではありません。ただ、働きながら子育てしている人もそうでない人も、子育てに関わる人への支援をもう少し真剣に考えていただきたいです。私は頼れる夫や家族がいますが、そうでない、ワンオペと言われる人たちは本当にしんどいです。）そこを手厚くしないと「産みやすい育てやすい」とは言えない。兵庫県・明石市のオムツ定期便とか、いいものを真似してほしい。
女性	40代	能生	・市内には3つの高校がありますが、最近では、上越市の高校に通う子どもが増え、（他県も）、市内の高校のクラス数が減っていると聞いています。 人口減少も原因のひとつにあるかと思いますが、市内に3つもすばらしい高校があるのですから、子どもたちが魅力的だと感じるような学校づくりはできないのでしょうか。県立なので市の管轄ではないのかもしれませんが・・・
女性	40代	糸魚川	・全天候型、全世代型の施設・・・雨・雪の多い地域なのに屋内・屋根つきの大きな施設がない。 ・児童館、道の駅、公民館をまとめたような複合施設があったらと思う。 （飲食、アスレチック、温泉、収穫体験、直売所など、市内、外の人が継続的に集まれるようなところ）例、群馬・川場田園プラザ 岐阜・パレットピアおおの ・病院の充実・・・皮膚、耳鼻科など糸魚川にない病院は、出張診療を増やして欲しい。 ・教育格差を減らす・・・IT、英語、オンライン教育など、力を入れて欲しい。
女性	30代	能生	・台風や大雨等の災害を意識した町づくりや治水事業を行ってほしい。 ・農林水産業等の一次産業を大事にしてほしい。 ・子育てがしやすい環境（児童クラブの運営時間の延長・病児保育の充実） ・学校教育の充実（小学校、中学校の義務教育を特に。いじめの問題など）
女性	30代	糸魚川	・小さい子～小学生ぐらいまでが使える、屋内・外で遊べる公園を充実させてほしい。（十日町にある「めぐらんど」や上越市にある「オーレンプラザ」みたいなものがあれば、雨の日でも遊べていいなあと思います。ジオバルも最高ですが、赤ちゃんや乗り物に興味のない子、年齢差ある兄弟をお持ちの方だと楽しめない・・・!?)

参考 糸魚川市のイメージに関するクロス集計

糸魚川市に関する各項目について、①年代別、②地域別、③男女別での回答傾向を見るためクロス集計を行い、グラフ化した。

回答者の属性別母数は以下のとおり。

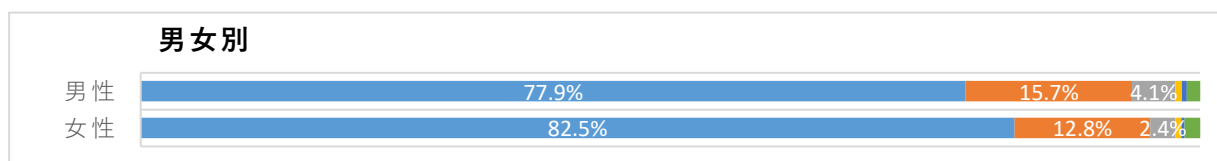
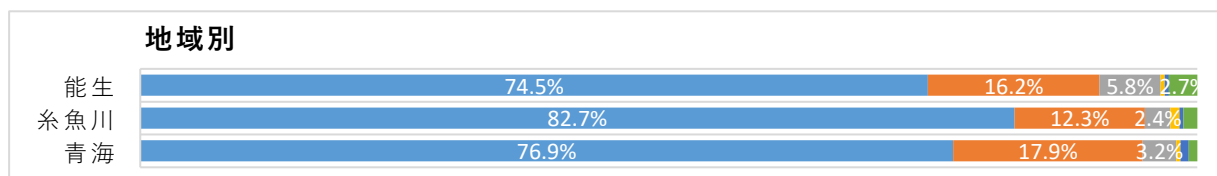
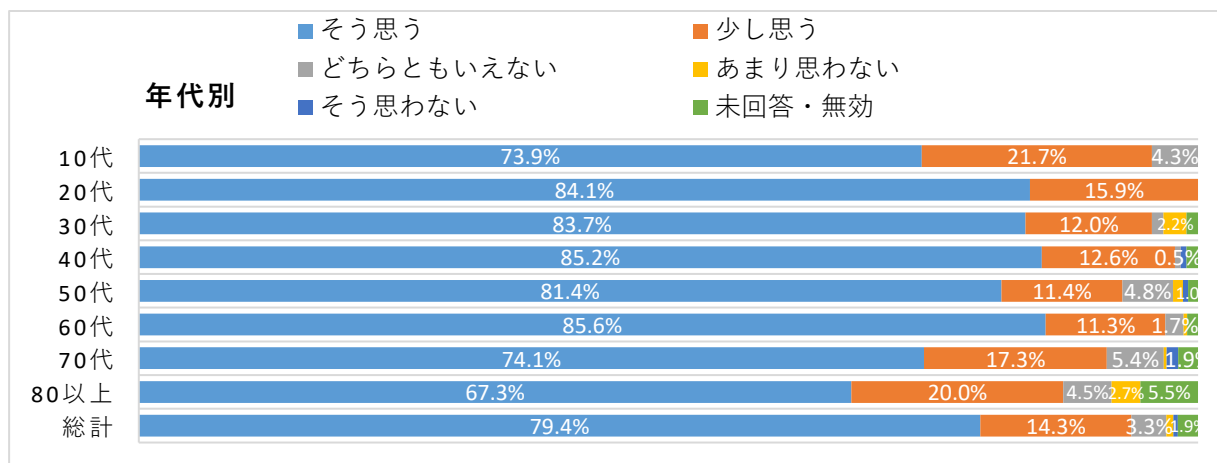
なお、10代は母数が少ないため、一部で他の年代の回答傾向と異なる結果が見られます。

年代	度数	割合
10代	23	1.7%
20代	63	4.6%
30代	92	6.7%
40代	183	13.4%
50代	210	15.4%
60代	292	21.4%
70代	371	27.2%
80代以上	110	8.1%
未回答・無効	22	1.6%
合計	1,366	

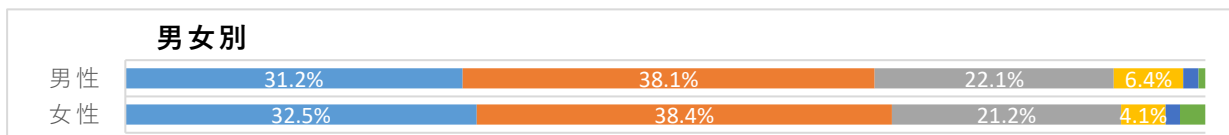
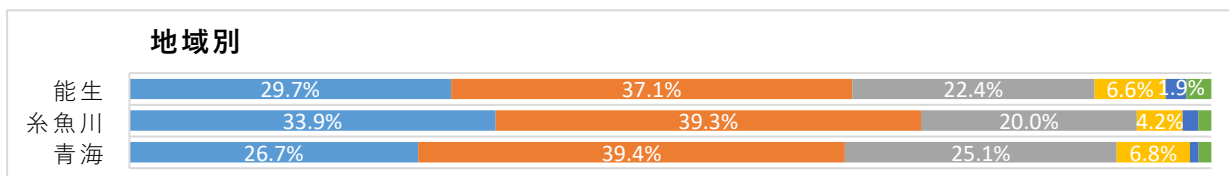
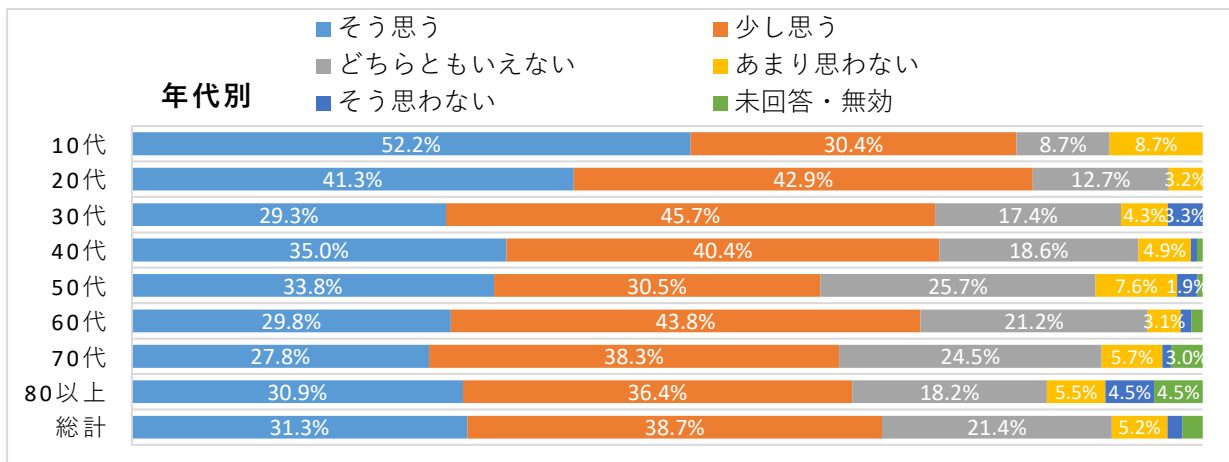
地域	度数	割合
能生地域	259	19.0%
糸魚川地域	827	60.5%
青海地域	251	18.4%
未回答・市外	29	2.1%
合計	1,366	

性別	度数	割合
男性	637	46.6%
女性	679	49.7%
未回答・無効	50	3.7%
合計	1,366	

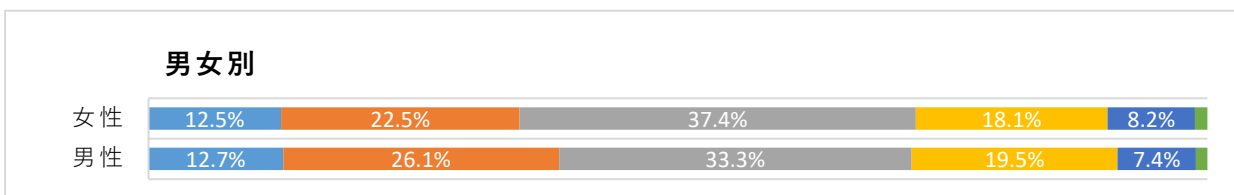
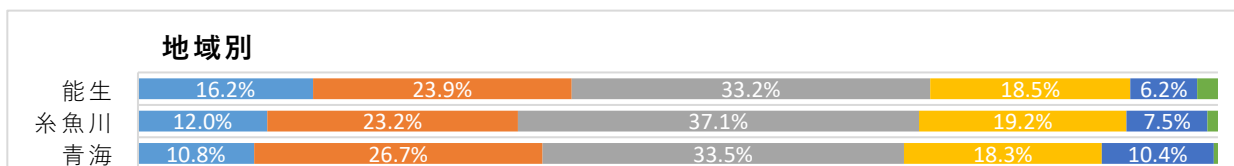
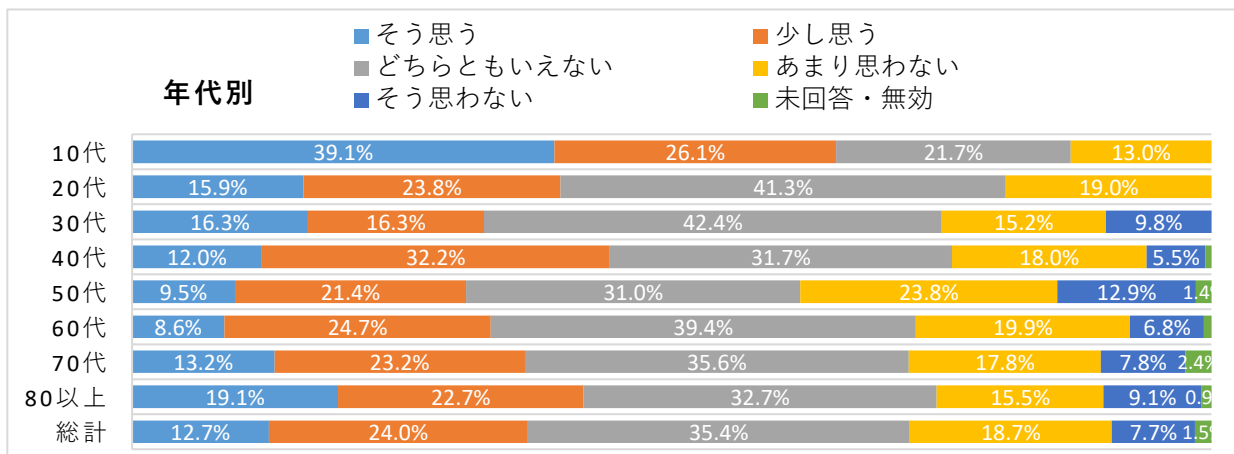
1. 自然が豊かである



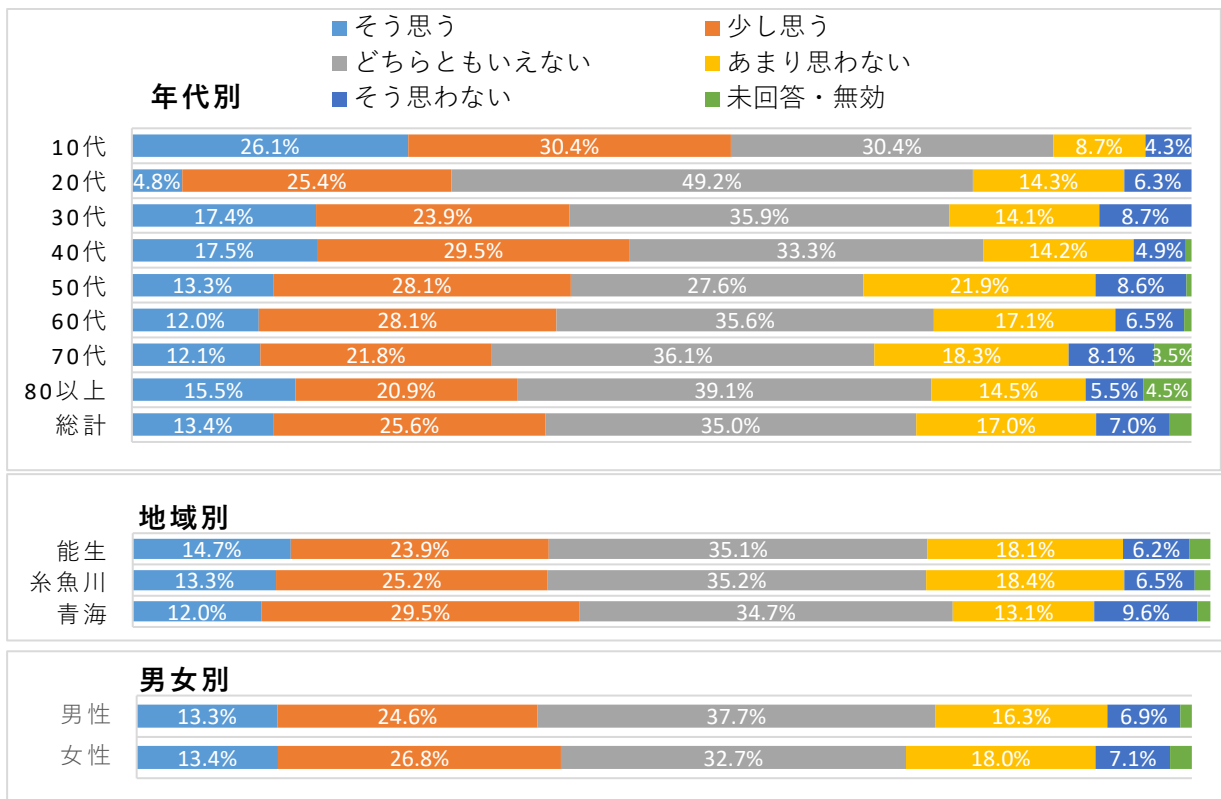
2. 地域が清潔できれいである



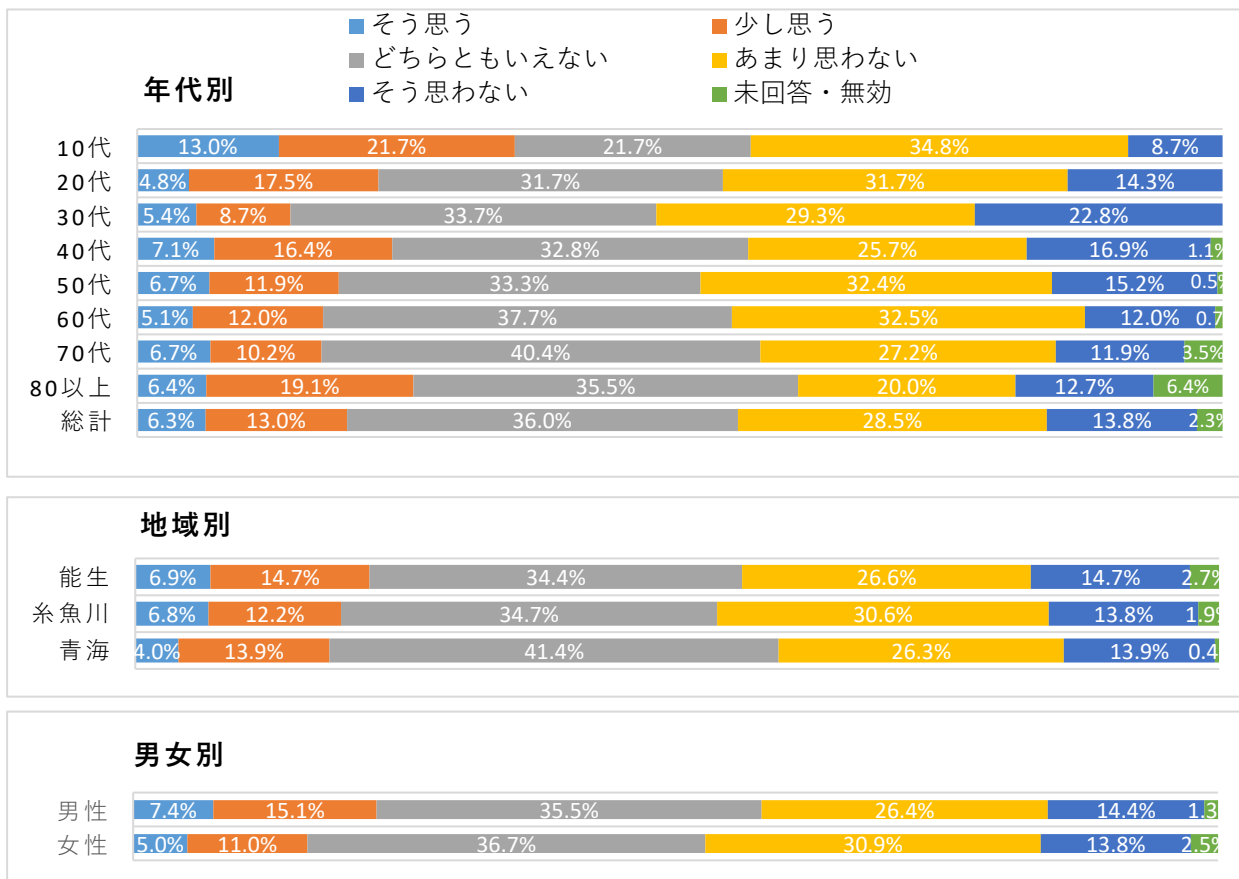
3. 高齢者が安心して暮らしやすい



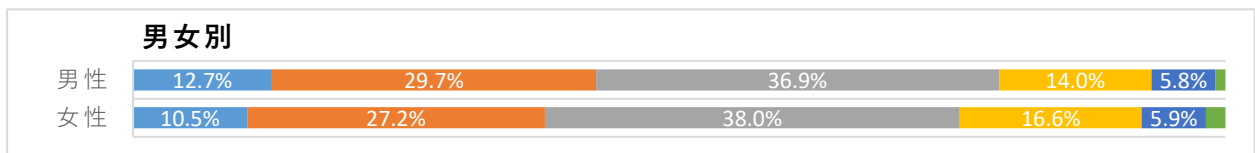
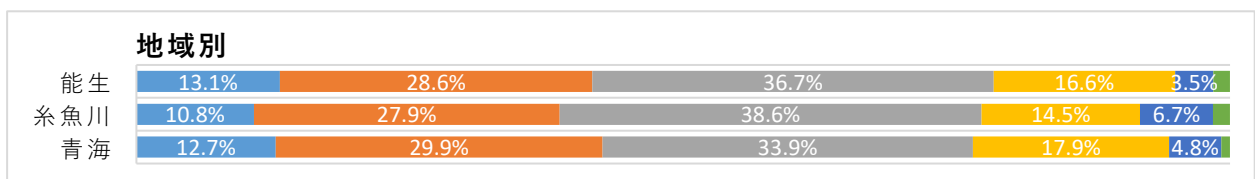
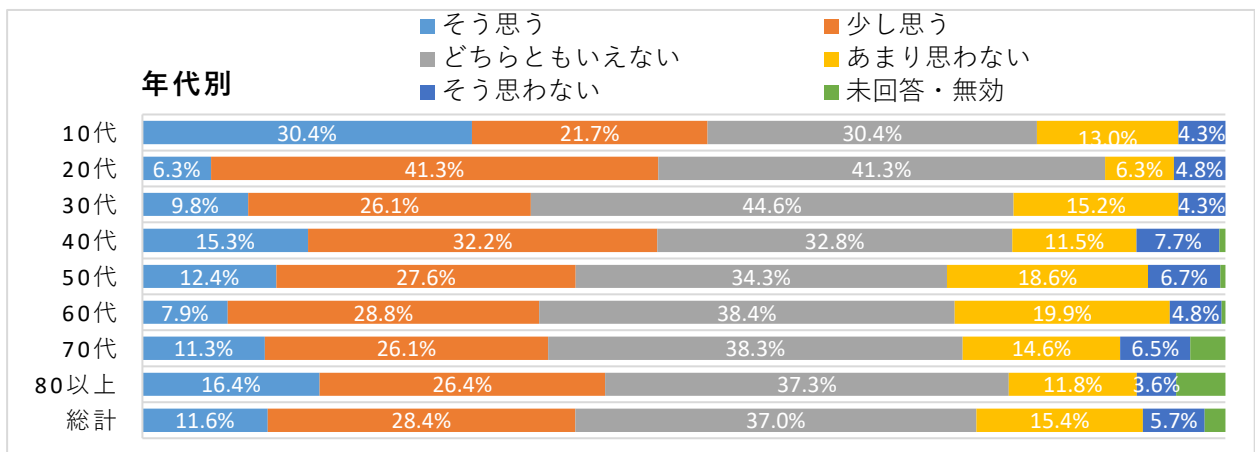
4. 子どもが暮らしやすい



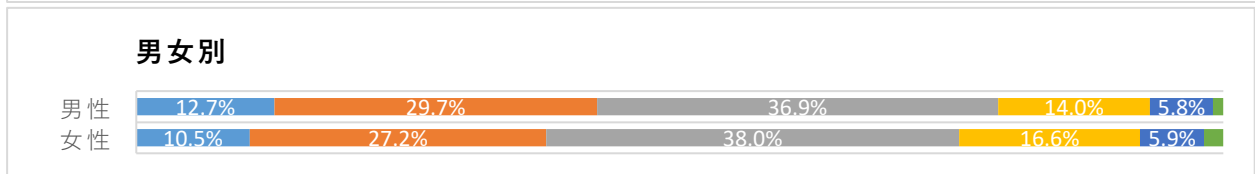
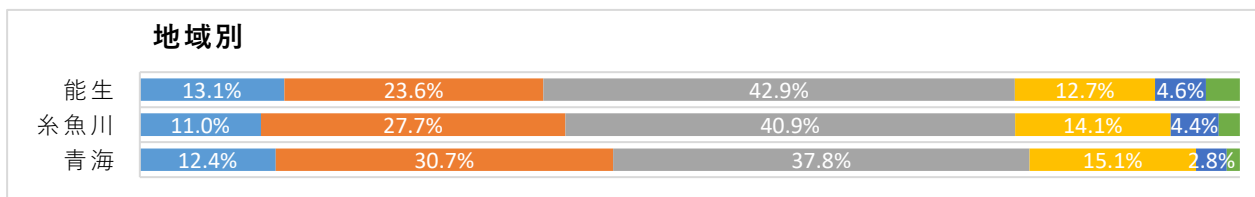
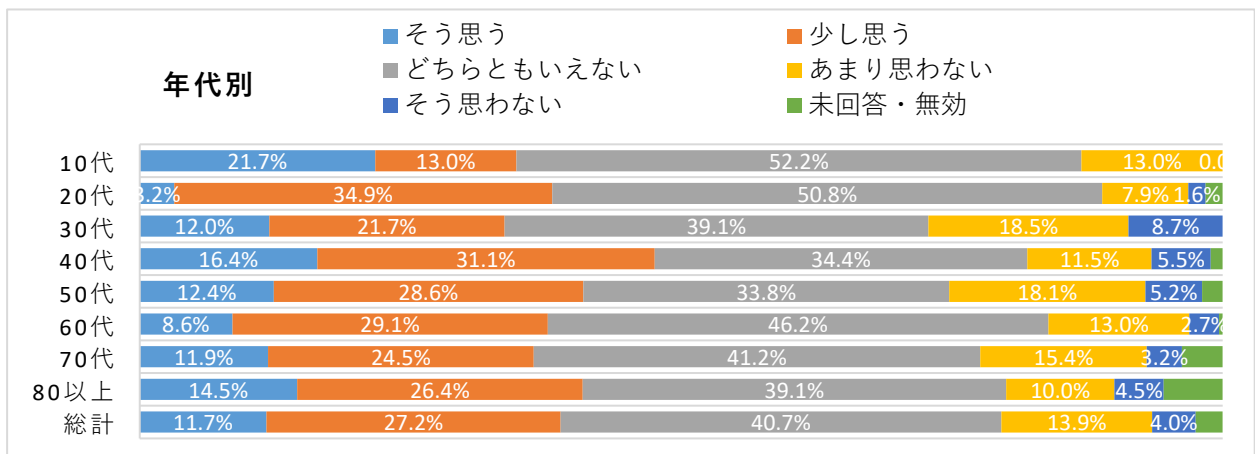
5. 成人が暮らしやすい



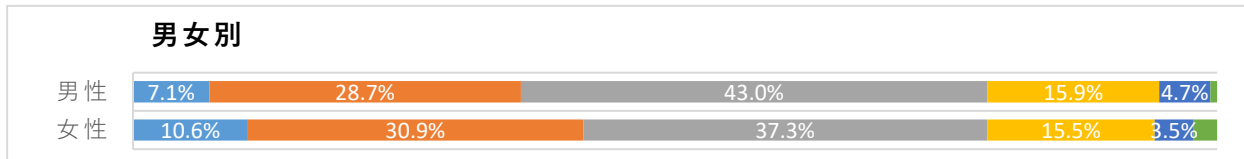
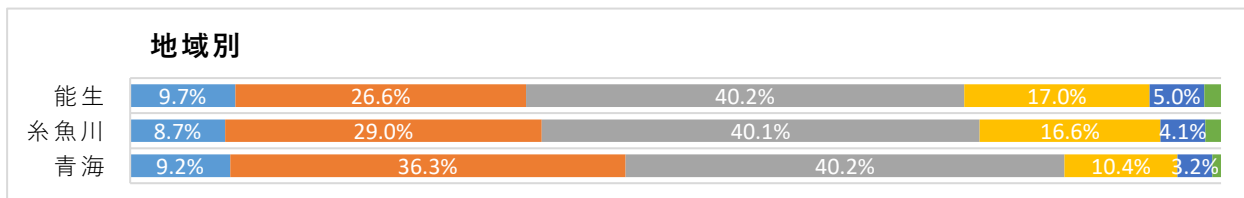
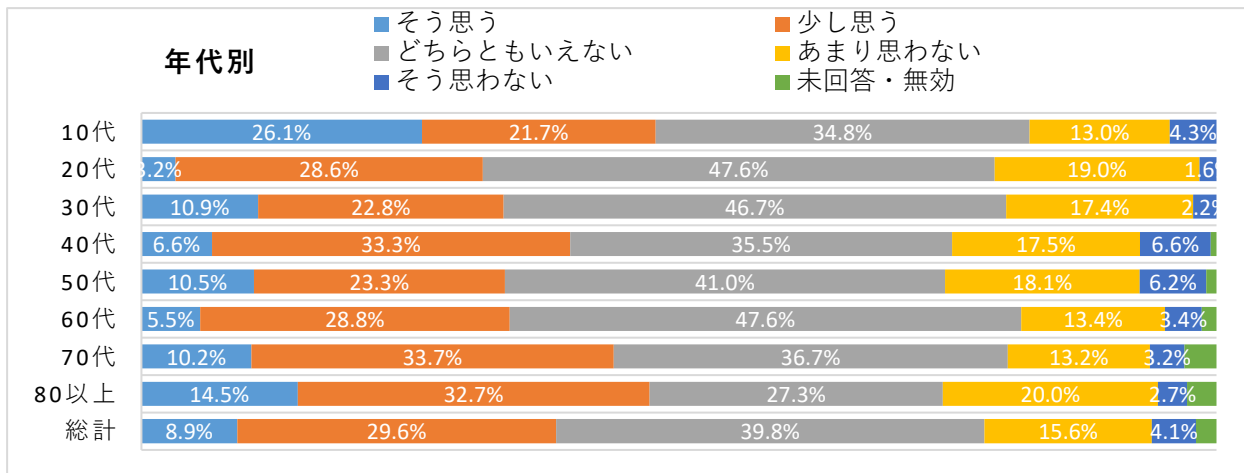
6. 子どもの教育環境がよい



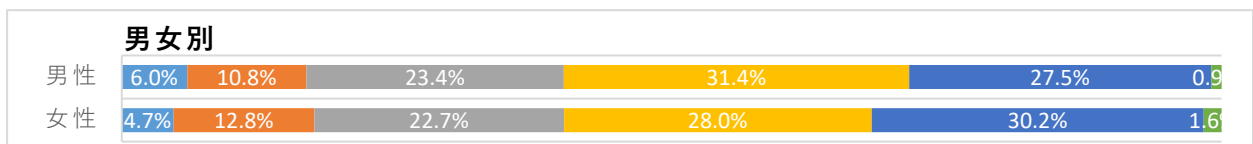
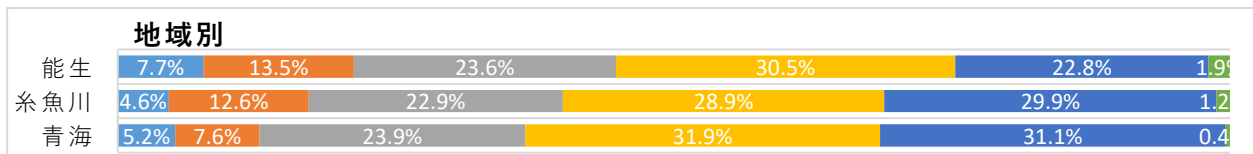
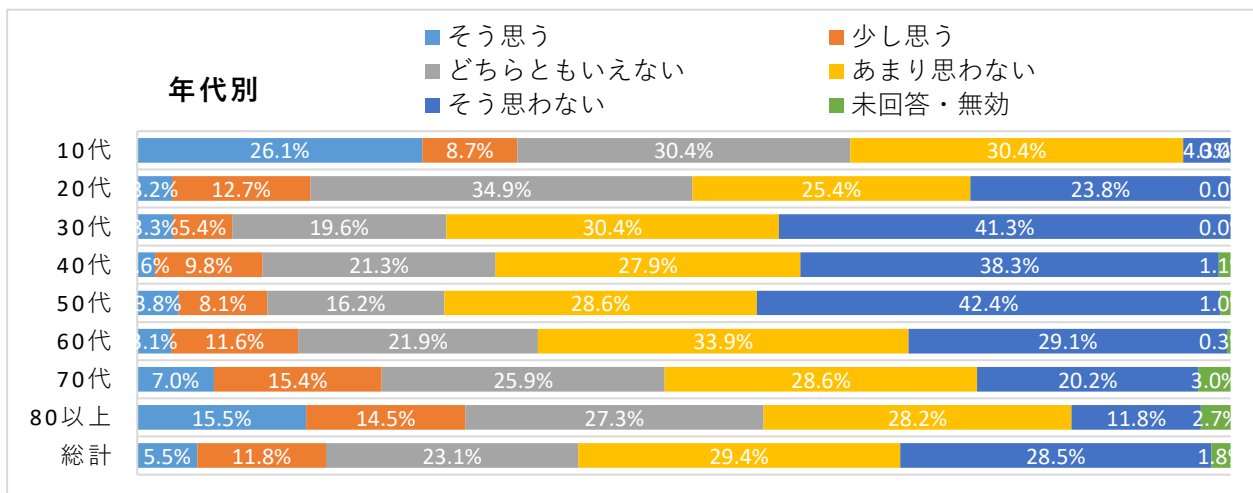
7. 子育てがしやすい



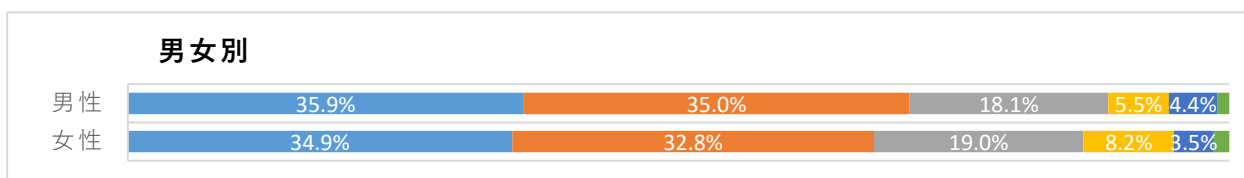
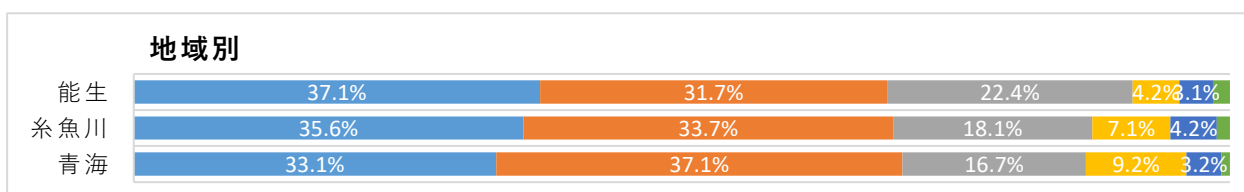
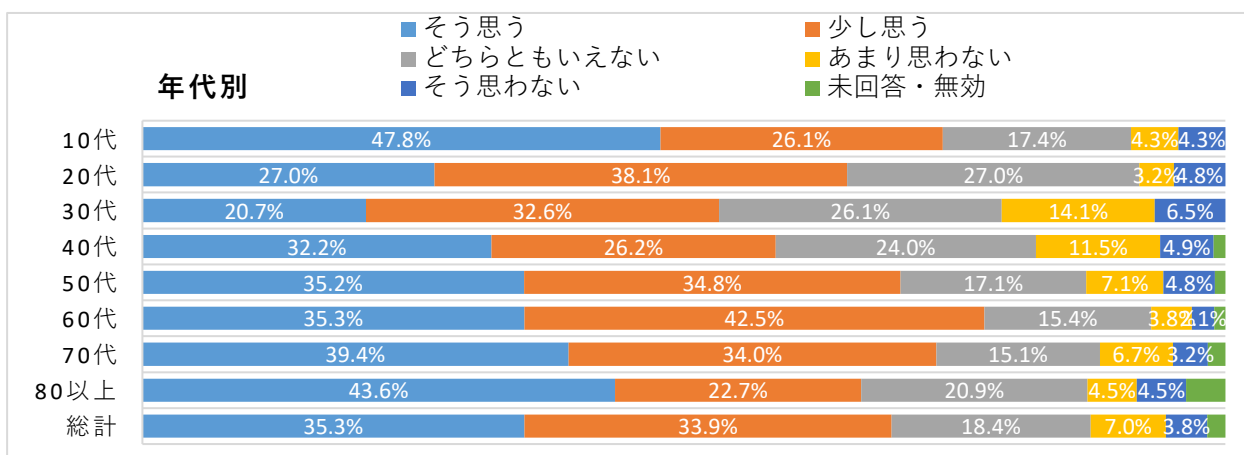
8. 健康づくりが活発である



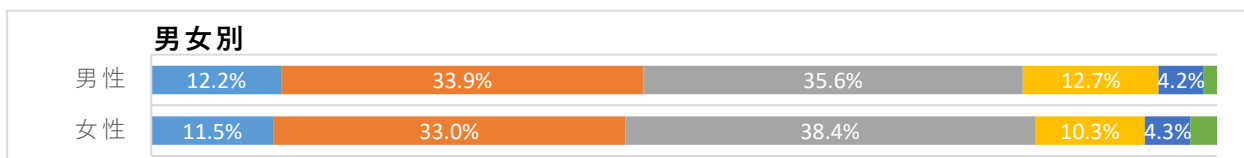
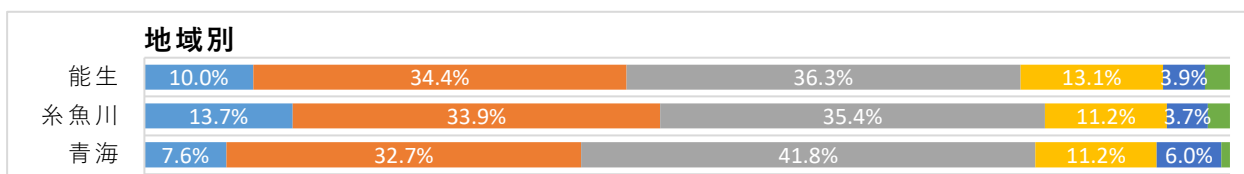
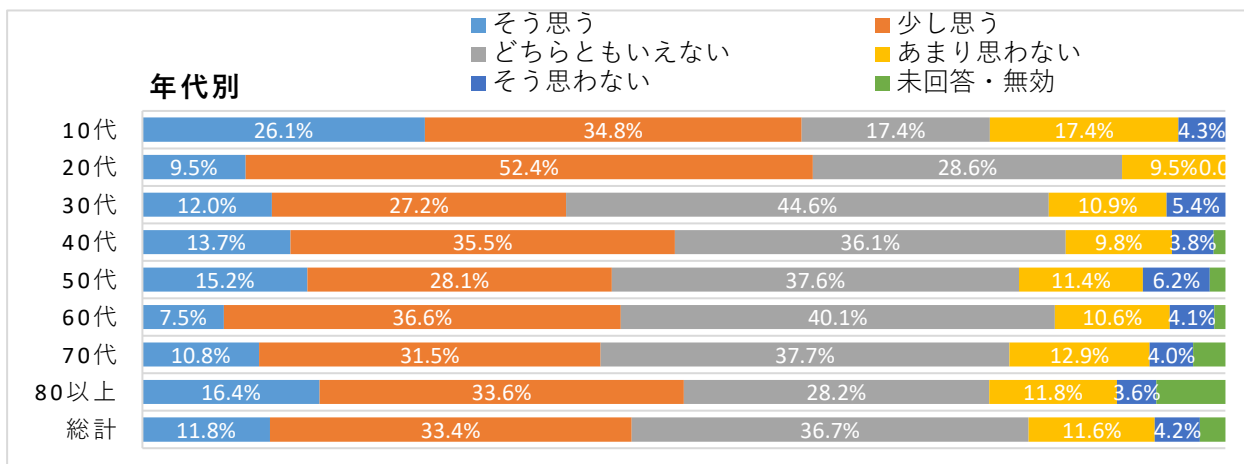
9. 医療体制が整備されている



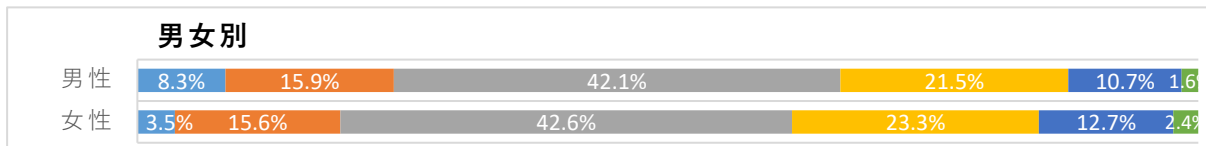
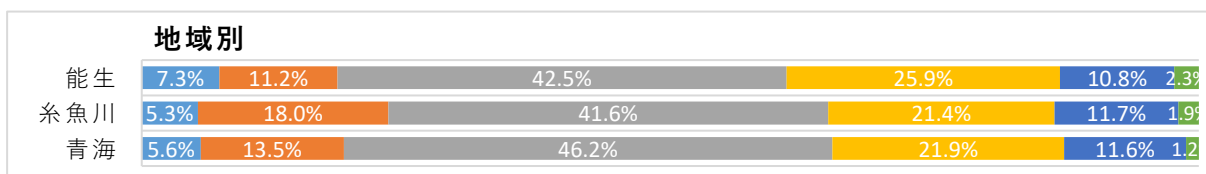
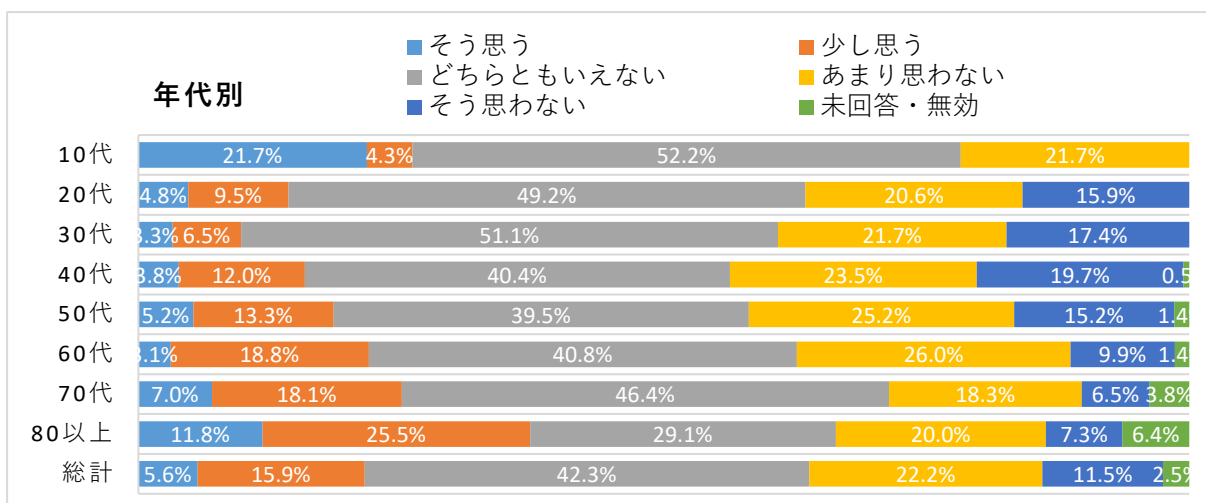
10. ふるさととして愛着を感じる



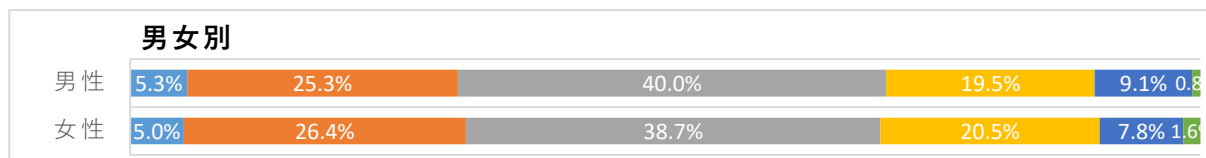
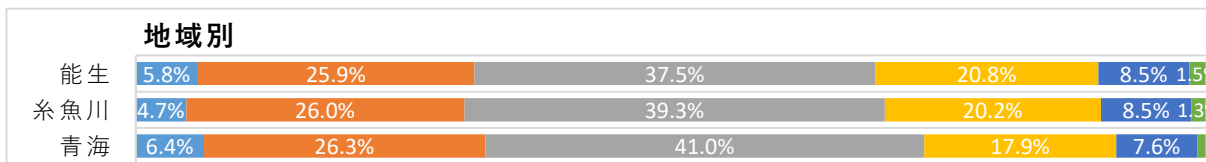
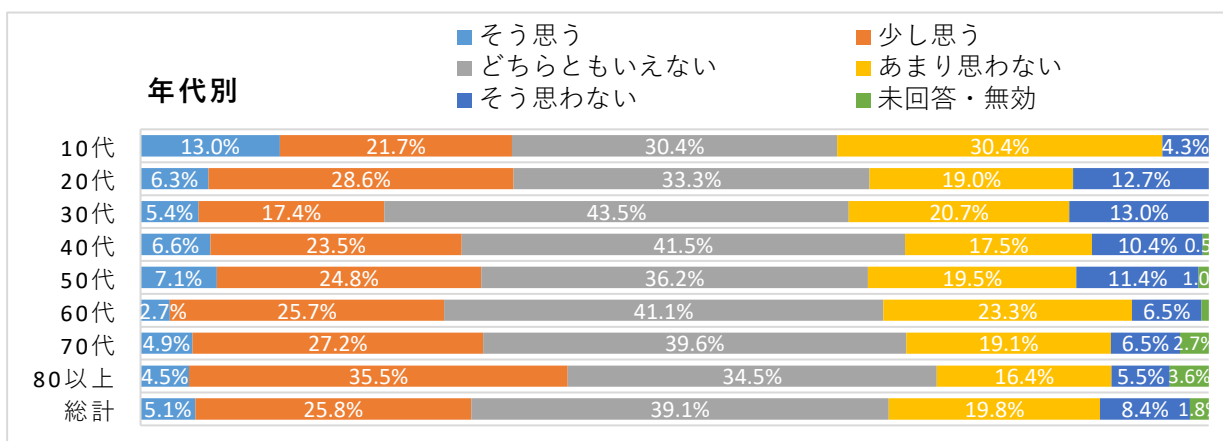
11. 地域の活動が積極的に行われている



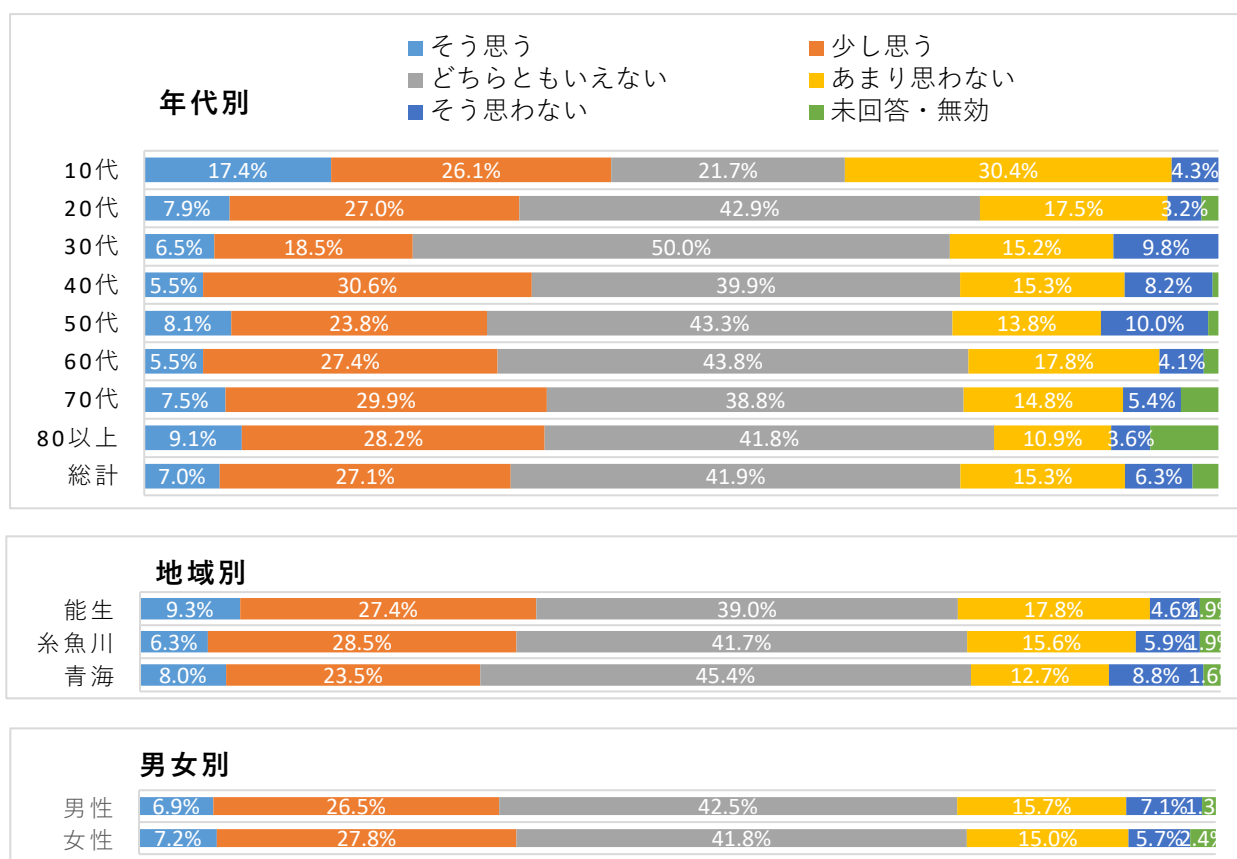
12. 慣習にとらわれず自由に意見が言える



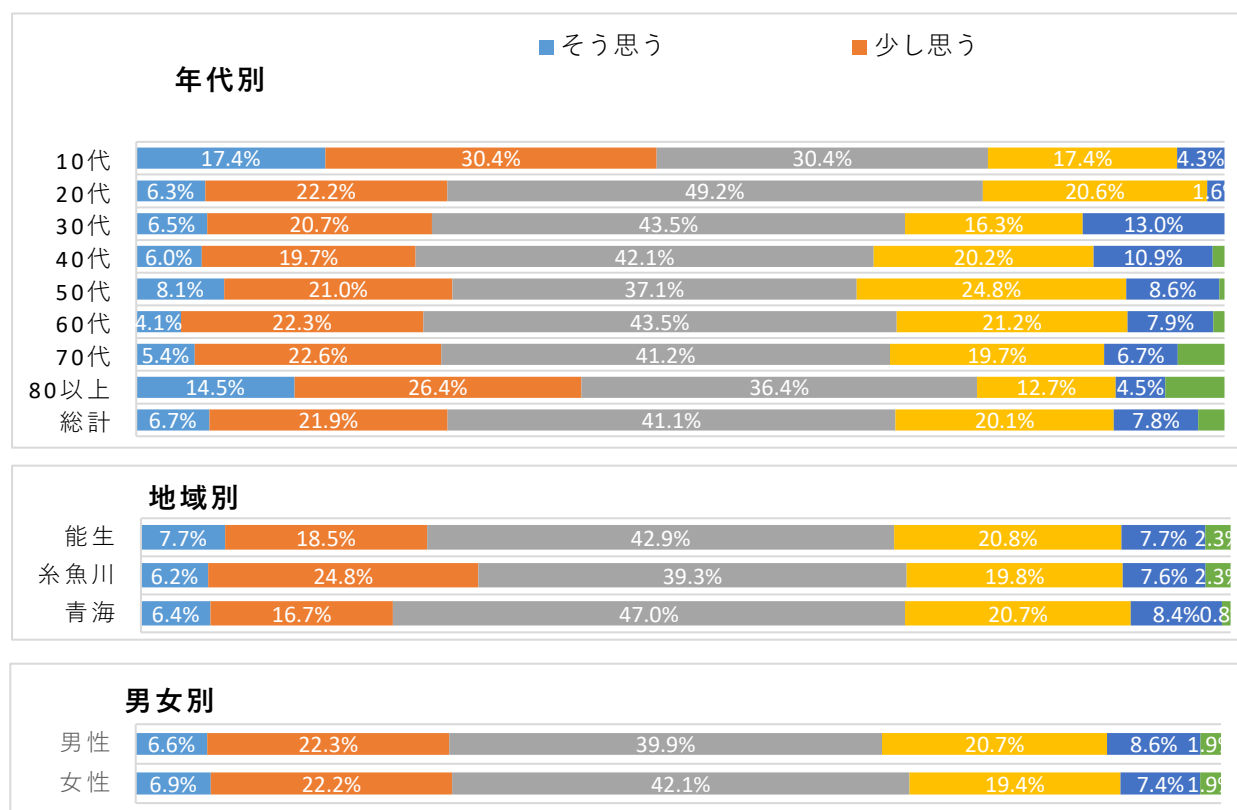
13. 文化芸術活動が活発である



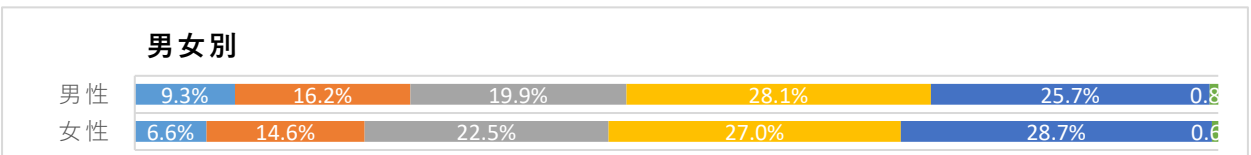
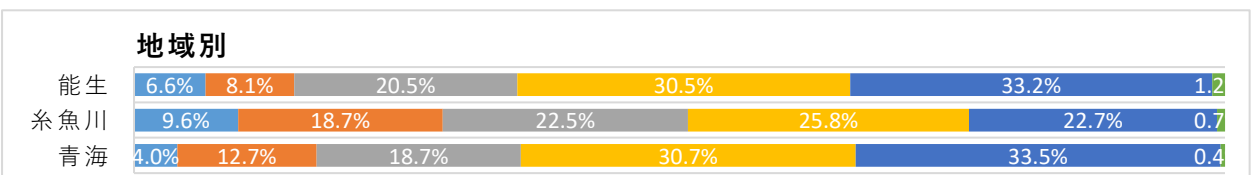
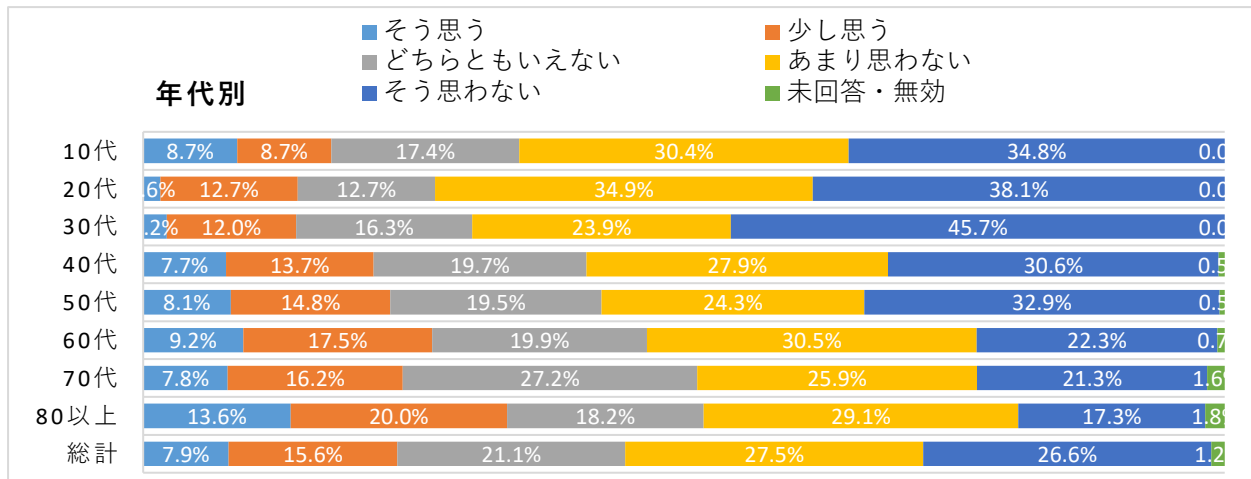
14. スポーツ・レクリエーション活動が活発である



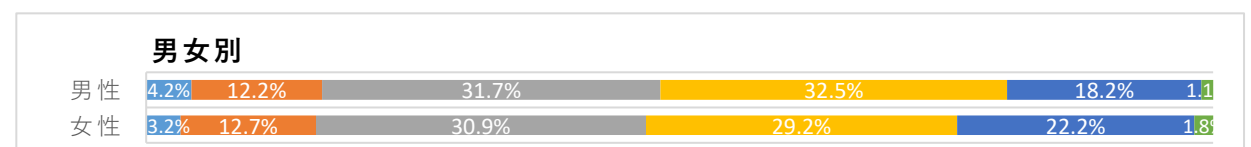
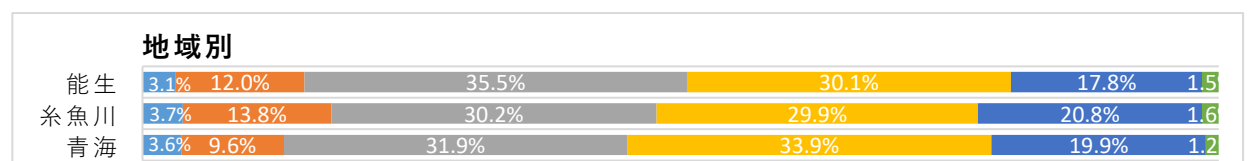
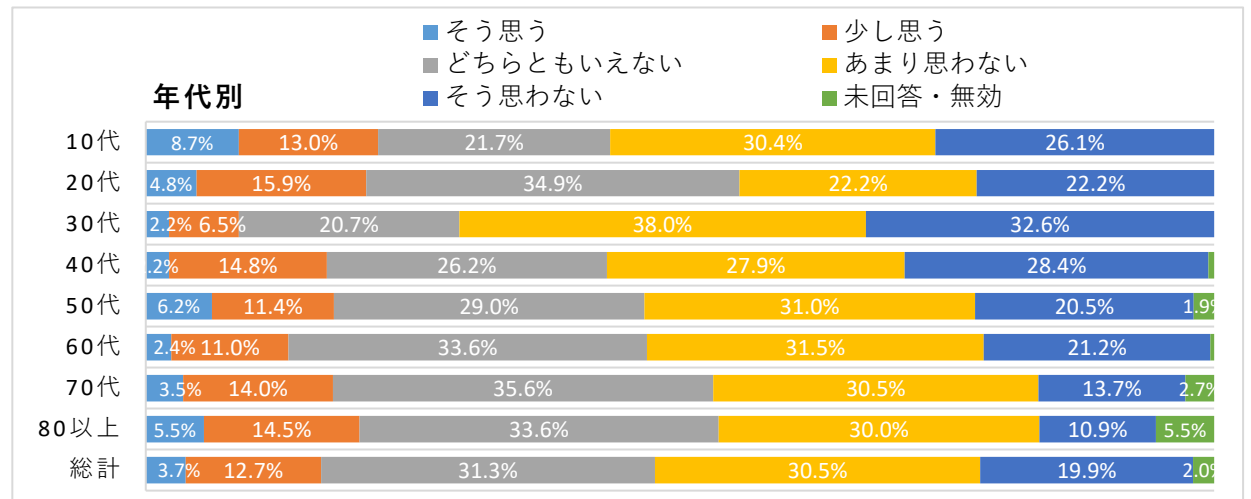
15. 防災体制が整い災害に強い



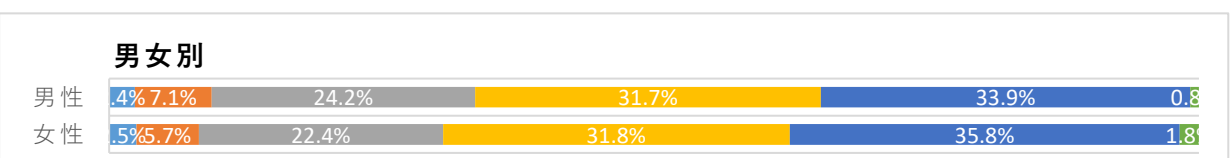
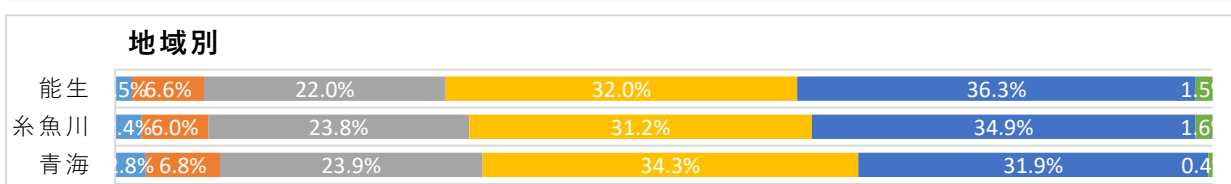
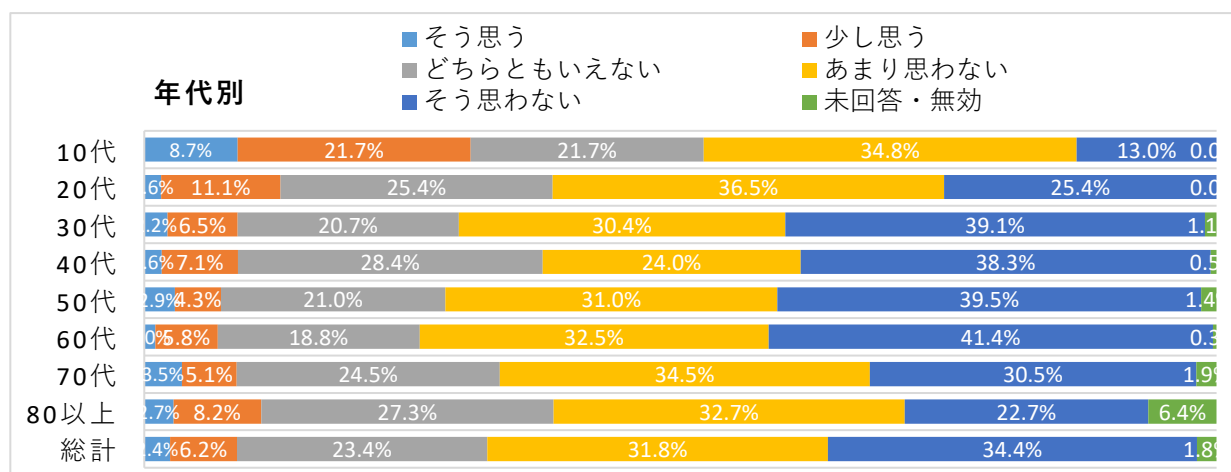
16. 道路や鉄道など交通の便がよい



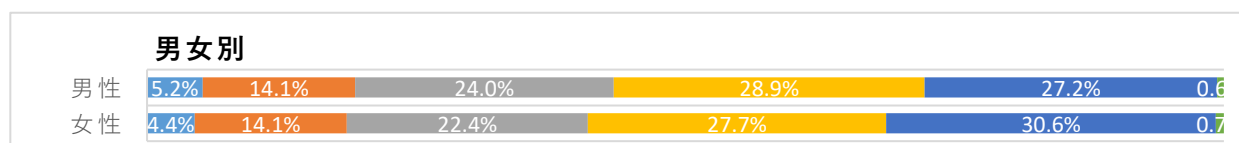
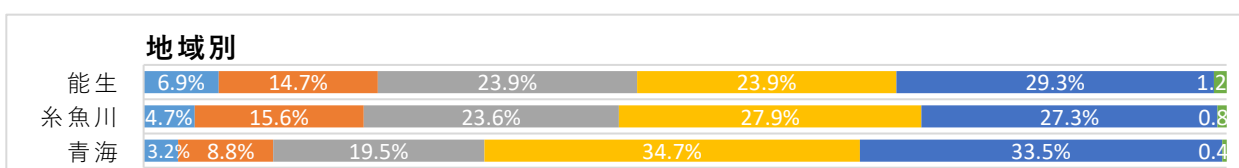
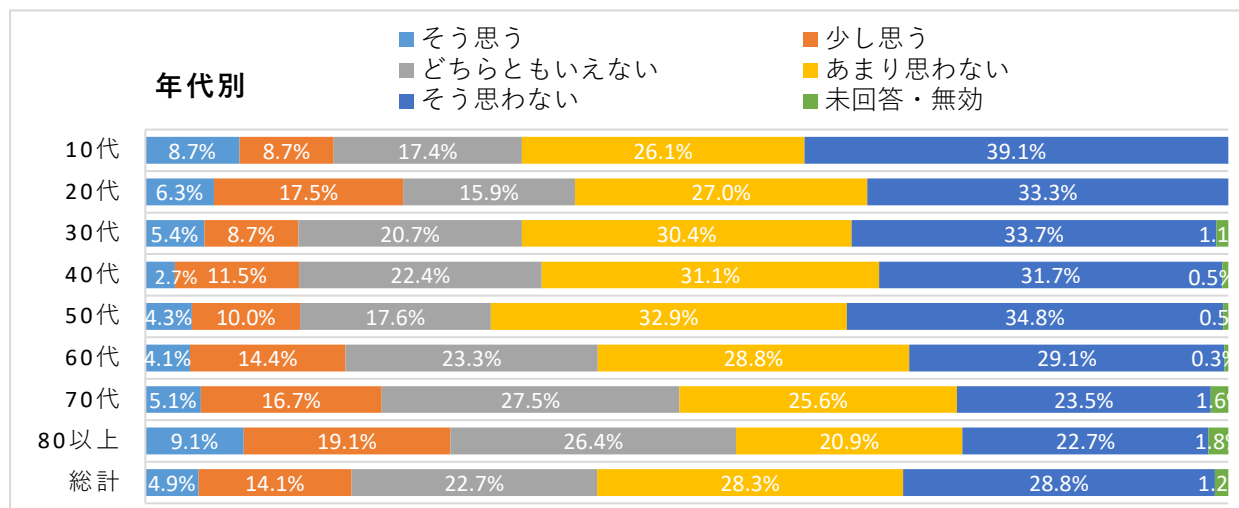
17. 観光施設が整備されている



18. 働く場に恵まれている



19. 買い物が便利である



20. 物価が安い

